

京都の自然
200選

KYOTO

京都の自然 200選

発行にあたって



かつて、人々は自然と共生して、自然の恵みに感謝し、四季のうつろいに感動する豊かな心を培ってきました。そして、時にはその圧倒的な力を見せつけられ、自然をおそれ、崇敬の対象ともしてきました。

しかし、現在、私たちは、自分たちに都合良く自然を利用することを考えるあまり、自然に感謝し、懲しむ気持ちをだんだん薄くしてきたように思われます。

京都では、先人達が長い歴史の中で、豊かな自然環境を暮らしや文化に反映させて特長ある風土を各地域で育んできました。大きな土木事業や建築を行うときにも、人々の日常の生活の中にも、さりげなく知恵と工夫を取り入れて、自然と共生した京都らしさを引き継いできました。

原生的な自然と人の手を加えつつ保全されてきた自然が、うまく混在した京都の自然。この先人から受け継がれてきた自然環境を、府民の財産として次の世代へ引き継いでいかなければなりません。

こうした思いで、京都府では平成2年度に緑と文化の基金を設置し、京都の美しい自然や文化遺産を保全するための継続的な事業や、府民の方々の環境保全の取組に対する支援を行ってきました。

京都の自然200選選定事業も、こうした基金事業の一環として、地域の優れた自然環境を府民の皆様や市町村から推薦していただき、その中から特に京都にふさわしいものを選定し、皆で守っていこうと実施したものです。

いずれも人々に親しまれ、地域の象徴とされているもので、地域の自慢の自然環境となっているものです。

この冊子は、200選に選定されたすべての自然環境について、その多彩な表情を紹介したものです。この冊子を通して、府内の北から南まで広がっている豊かな自然環境に思いをはせていただくとともに、自然に親しみ、自然とふれあうきっかけづくりや、自然を保全することの大切さについて理解を深めていただく一助となれば幸いです。

京都府知事

巻頭一

発行によせて

パキスタンからの留学生が、初めて日本（京都）に来た時、山に樹が生い茂っていることが大変不思議だったと感想を話してくれたことがある。

日本のたいがいの都市は見渡せば、どこかに樹が見え、また、遠くとも樹林に覆われた山を見つけることができる。

山に木があることは当然のことだと私たちは思っている。私たちが生まれるずっと以前から山は存在し、そこは常に緑の樹木で覆われ、私たちは樹や森とともに暮らしている森の人である事に思い至る。

京都の緑を強く実感するものとして、特に京都市内の三方を囲む低山帯の二次林、川沿いの緑地、古都京都に多い社寺林の三種の緑がある。京都の自然を象徴するものとしてよく取り上げられるのが、山の緑と社寺の緑である。

山の緑は往時の農用林で、農家に多用されてアカマツ林や、クヌギ、コナラ等の落葉広葉樹林として活用され、京都の景観を彩りのあるものとしてきた。山ろくの社寺林は、華麗な霧雨気を醸しだす照葉樹林として維持され、平地部にある社寺林は落葉広葉樹を主体として、明るい林相を呈し、人々の憩いの場所ともなっている。

このように、山の緑を思うとき、先人が固らずも生業の場として活用してきたことも、ひいてはその地域の自然環境を保全し、今の私たちにかけがえのない恩恵を与えてくれているのである。

京都の自然200選は、植物、動物、地形・地質、歴史的自然環境の4部門で、それぞれ地域を代表する自然環境を選んでいる。

ここに選定した自然をとりまとめて紹介する冊子の発行に当たり、緑豊かな京都をこれから生まれてくる府民が享受できるよう、府内のあらゆる地域に残されている身近な自然環境の保全に一層の努力と取組を続けることが、現在の私たちに課せられた責務であると、改めて思うものである。

京都の自然200選選定委員会委員長

四手井 綱英

京都の自然200選について

京都の自然200選選定事業は、平成2年7月に設置しました「京都府縁と文化の基金」推進事業の一環として京都府内に所在する優れた自然環境を紹介し、これらをはじめとする自然環境の保全について府民の方々の関心を高めるために取り組んだものです。平成3年6月に植物部門50点を選定し、順次、平成4年9月に動物部門45点、植物部門(植物群落)5点、平成5年8月に地形・地質部門46点、平成7年3月に歴史的自然環境部門56点の計202点を選定しました。

これらはいずれも市町村及び府民の方々から推薦いただいた自然環境について、「京都の自然200選選定委員会(委員長:四手井綱英京都大学名誉教授)」の審議を経て選定したものです。

これからも地域の象徴的存在として人々に親しまれているこれらの京都の優れた自然環境を、みんなの手で守り育て、次代に引き継いでいきましょう。



「京都の自然200選選定委員会」委員名簿

府民代表

京都府自然環境保全審議会会長
四手井 綱英 (委 員 長)

京都日本画協会顧問
島頭尾 精

京都文化短期大学教授
辻 ミチ子

自然観察指導員京都連絡会代表
西川 忠樹

(社)日本工芸会参与
羽田 登喜男

京都新聞社論説委員長
山下 修

学識経験者

武庫川女子大学生活環境学部教授
木幡 放一 (植 物 部 門)

(社)京都府造園建設業協会相談役
佐野藤右衛門 (植物部門2,3年度)

京都造形芸術大学芸術学部教授
中村 一 (植物部門2,3年度)

京都府立大学農学部助教授
本城 尚正 (植 物 部 門)

京都府立大学名誉教授
篠川 満廣 (動 物 部 門)

京都大学名誉教授
日高 鎮隆 (動 物 部 門)

(社)淡水生物研究所長
森下 郁子 (動 物 部 門)

京都大学名誉教授
繁澤 和夫 (地 形・地 質 部 門)

京都大学名誉教授
中澤 圭二 (地 形・地 質 部 門)

京都大学大学院人間環境学研究科教授
足利 健亮 (歴史的自然環境部門)

京都府立大学文学部教授
藤井 学 (歴史的自然環境部門)

(各部門ごとに五十音順)

(歴史的自然環境部門の選定時における職業または職歴等)

もくじ

丹後

峰山町	10
大宮町	12
網野町	13
丹後町	16
弥栄町	19
久美浜町	20
宮津市	22
加悦町	26
岩滝町	28
伊根町	29
野田川町	32

中丹

舞鶴市	34
福知山市	37
三和町	38
夜久野町	39
大江町	40
稲部市	43

中部

園部町	48
八木町	50
丹波町	52
日吉町	53
瑞穂町	54
和知町	56
京北町	58

京都市

美山町	61
亀岡市	64

南部

京都市	70
向日市	80
長岡京市	81
大山崎町	82
宇治市	84
久御山町	87
城陽市	88
八幡市	90
京田辺市	92
井手町	94
宇治田原町	96

相楽

山城町	98
木津町	99
加茂町	100
笠置町	102
和束町	104
精華町	105
南山城村	106
解説	109
部門別選定一覧	122





峰山町
Mineyama

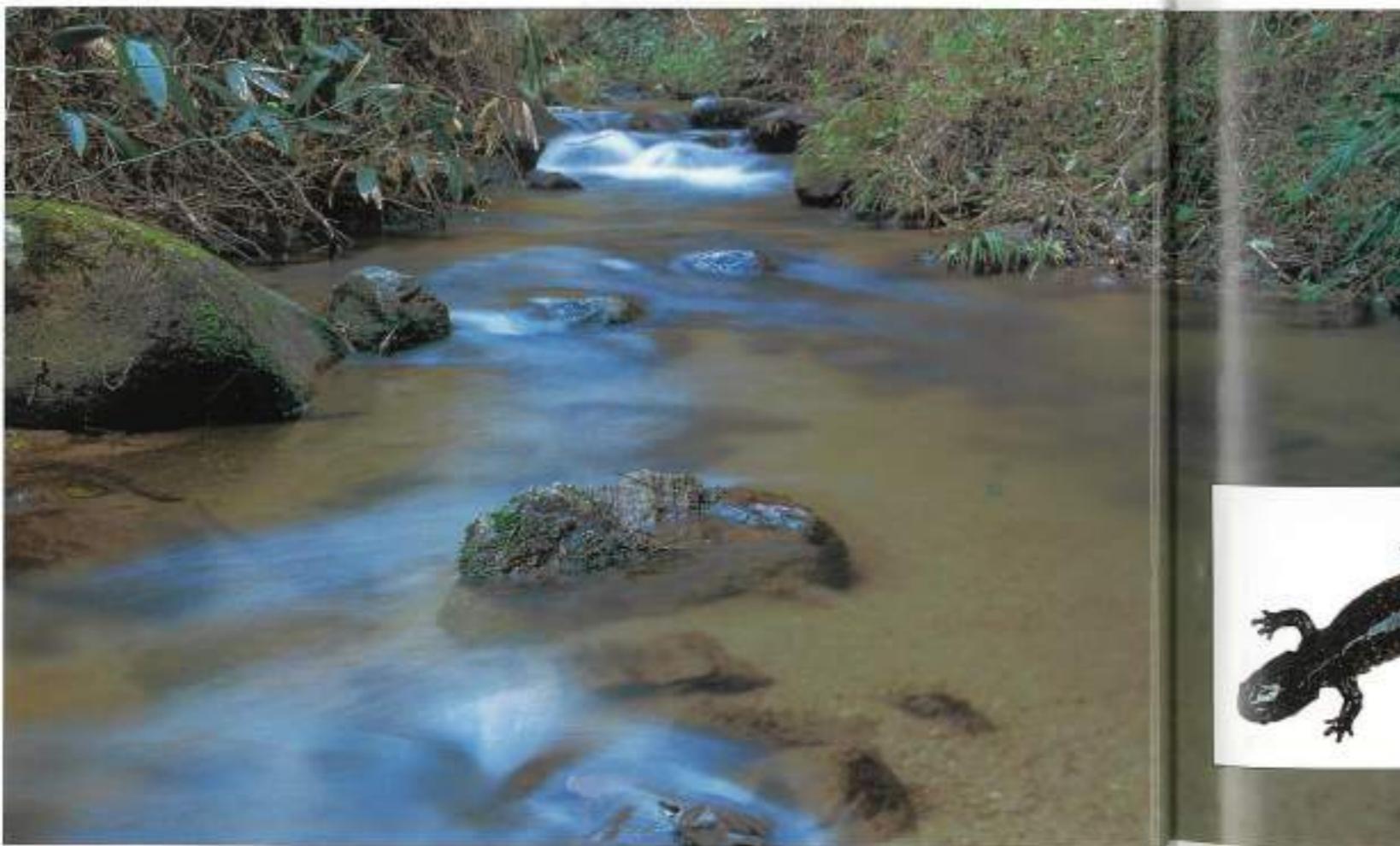


城妙山



権現山

(二の丸跡)



ヒダサンショウウオ等の生息する城妙山系の河川上流及びその周辺の湿地帯



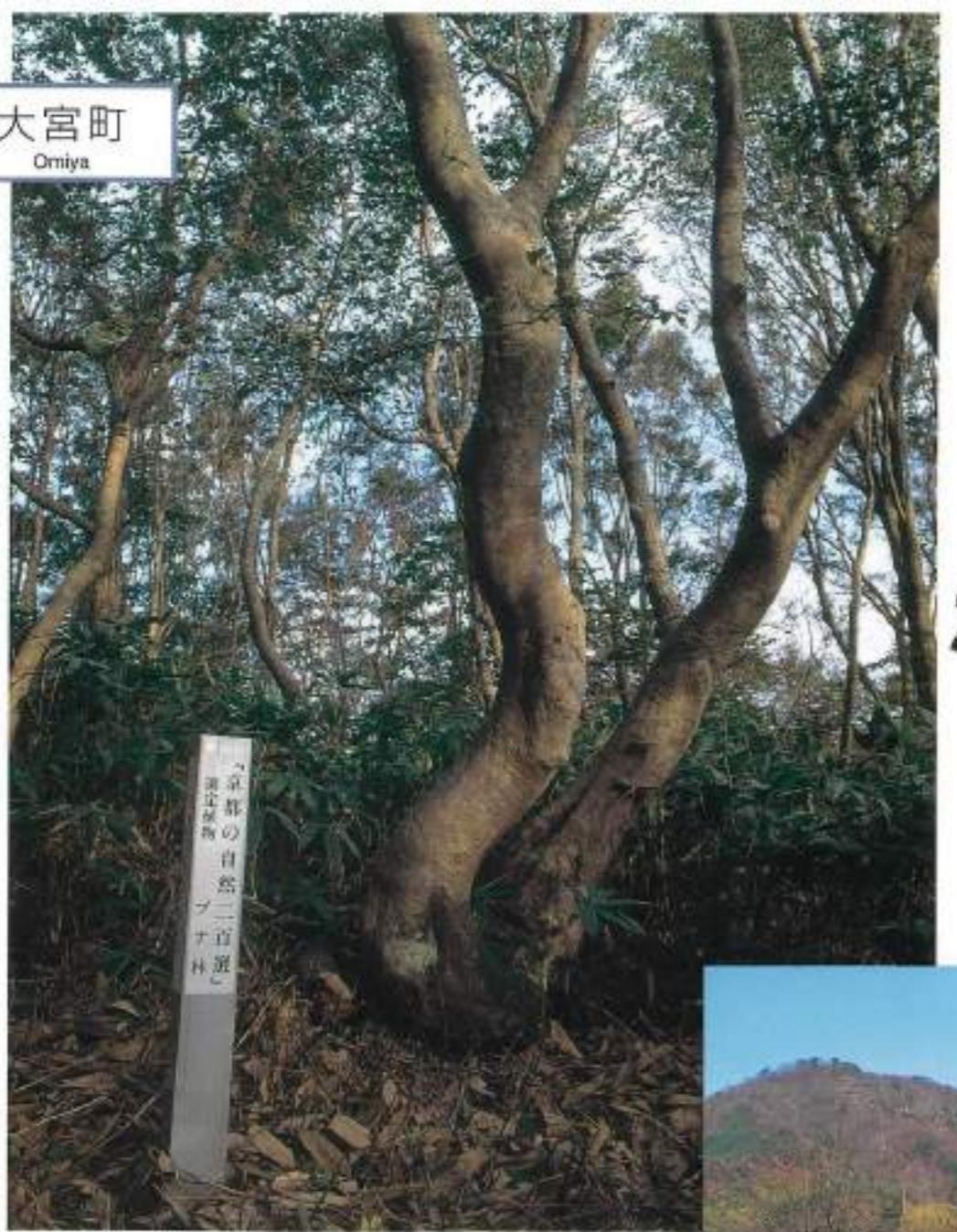
ヒダサンショウウオ



縁城寺の「シイ株」

大宮町

Omiya



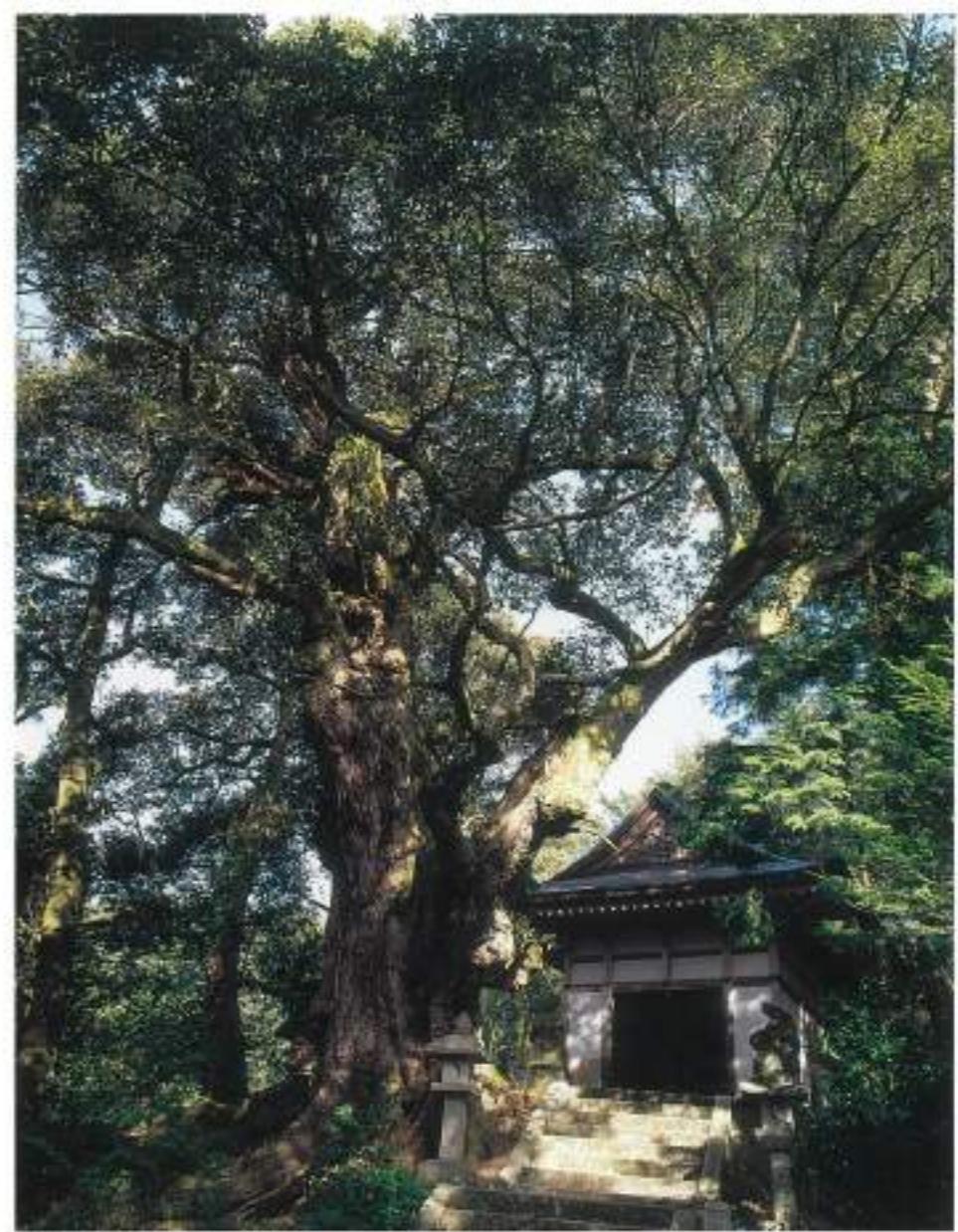
五十河の「内山ブナ林」



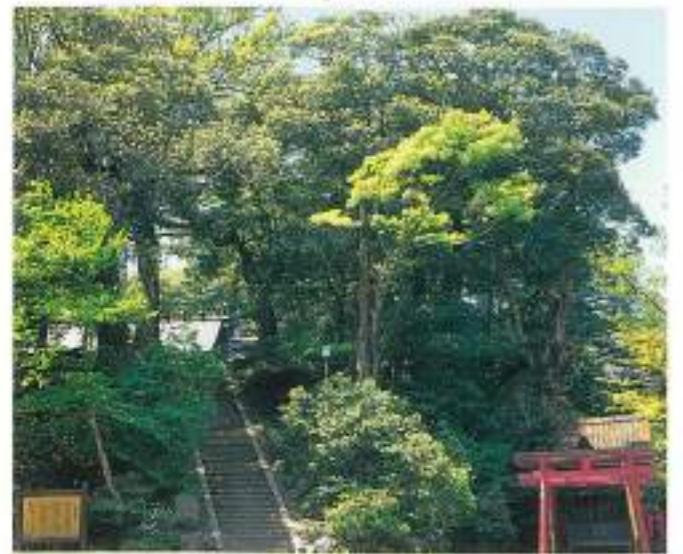
クマタカ

網野町

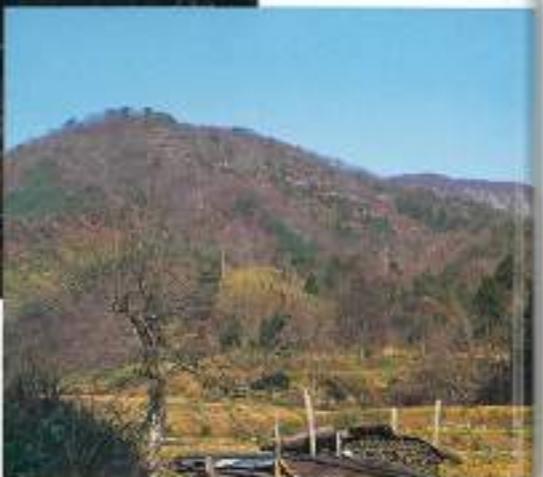
Amino



生玉郡神社の「スタジイ」



大野城跡(大野神社)



クマタカの生息する内山山系

峰山町／大宮町／網野町



アベサンショウウオの
生息する丹後半島



關湖

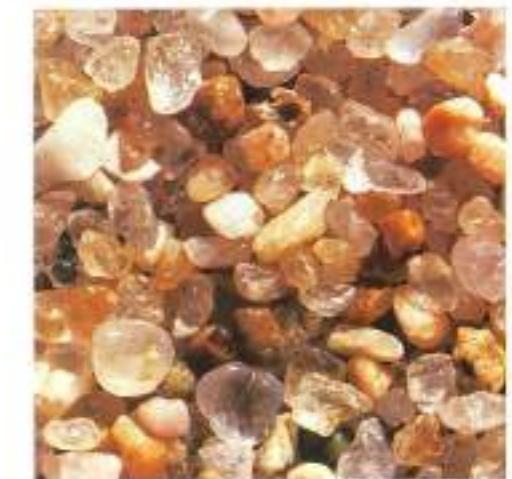


藤村新居

(生野内斎居)



チドリ類が飛来し、微小貝類の生息する琴引浜



琴引浜の鳴き砂（拡大）



シロチドリ

丹後町
Tango.



屏風岩

丹後の海岸地形



丹後松島



経ヶ岬



城島



立岩

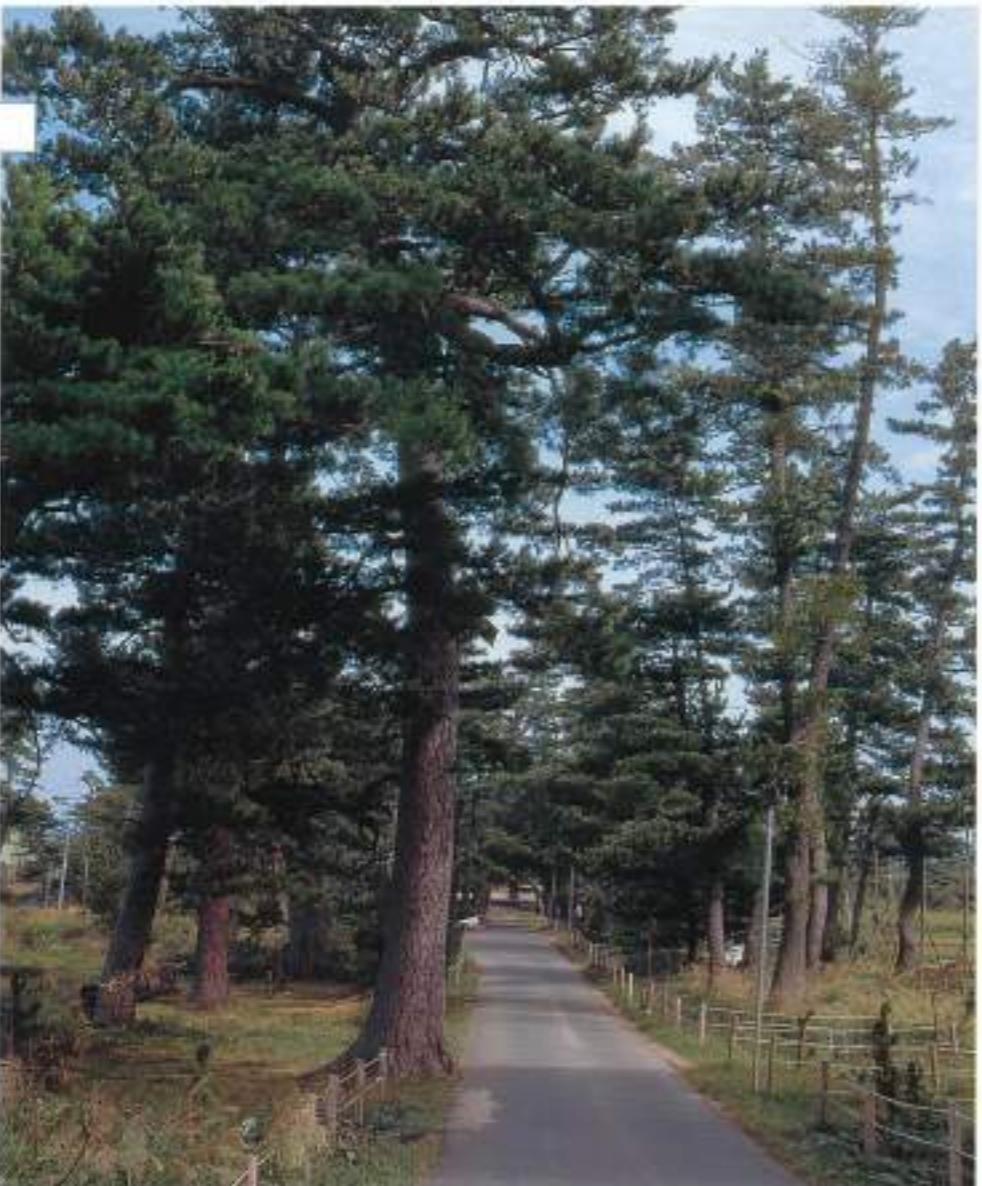


筆石海岸段丘



犬ヶ岬

丹後町



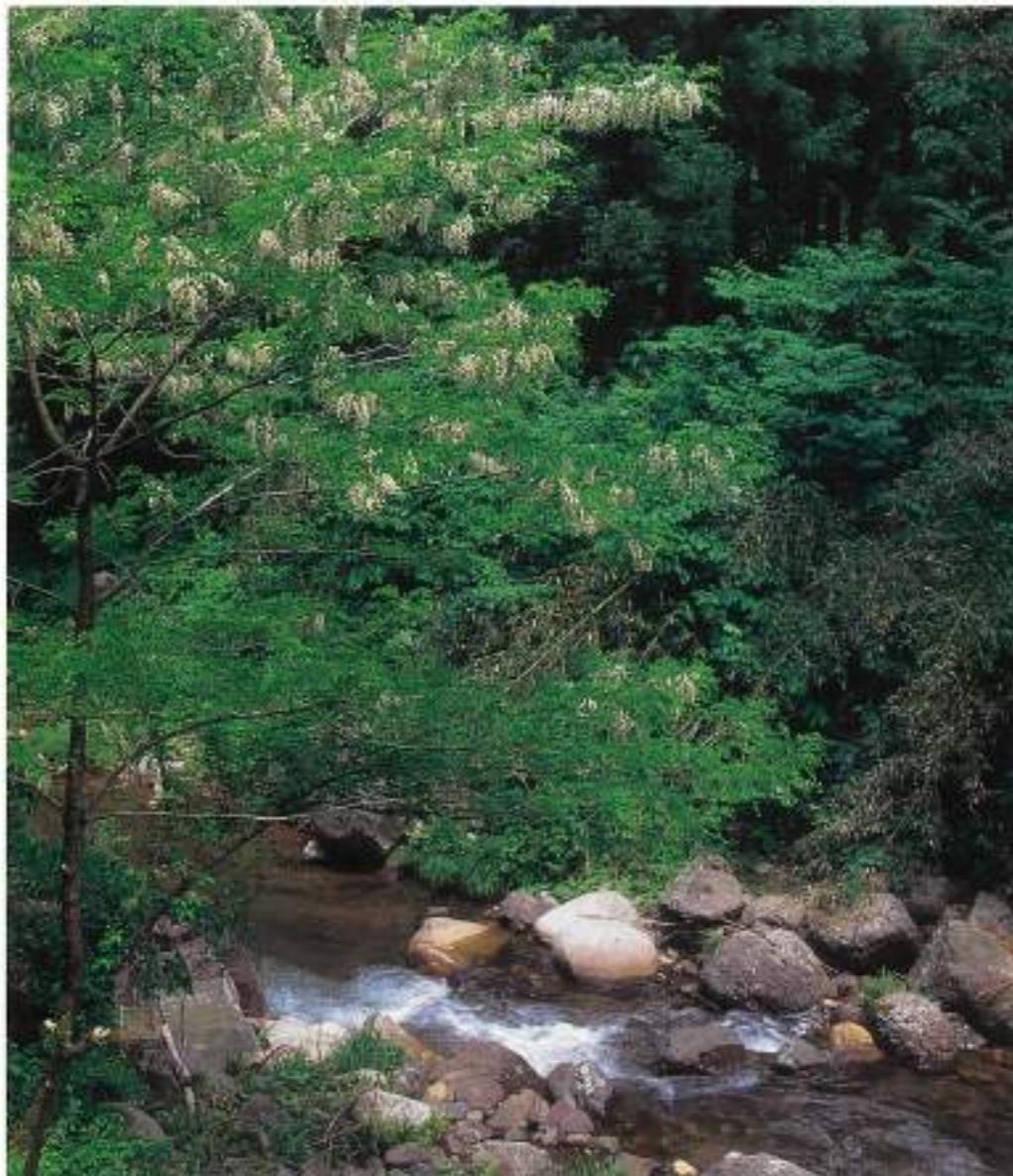
萬福寺の「文殊のマツ」

弥栄町

Yasaka



カジカガエル

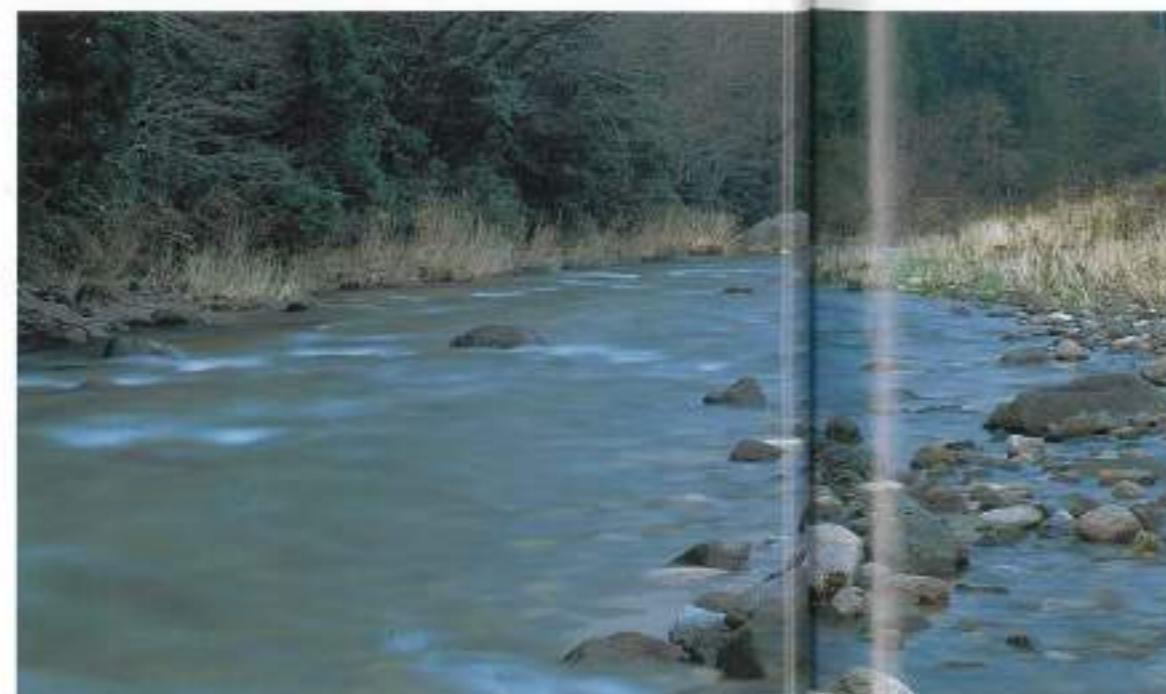


野間谷峡谷／小動物（トンボ類、カジカガエル等）や野鳥（カッコウ、オオルリ等）の生息する味土野
〔ガラシャの里〕

丹後町／弥栄町



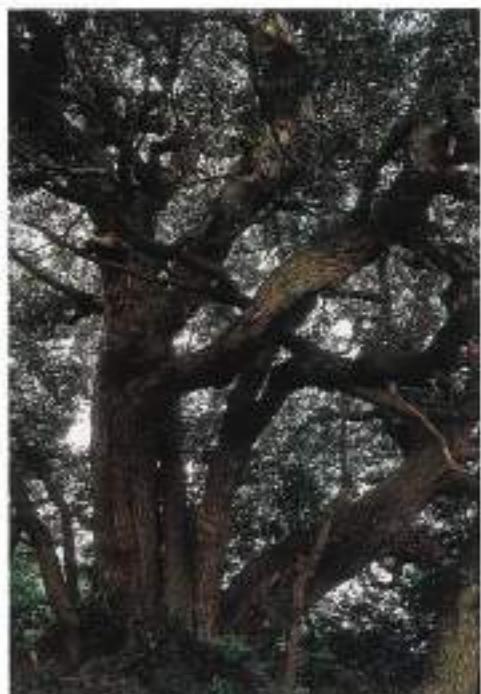
上山寺



アユ、ヤマメ、アユカケ、カジカガエルなどの生息する宇川流域

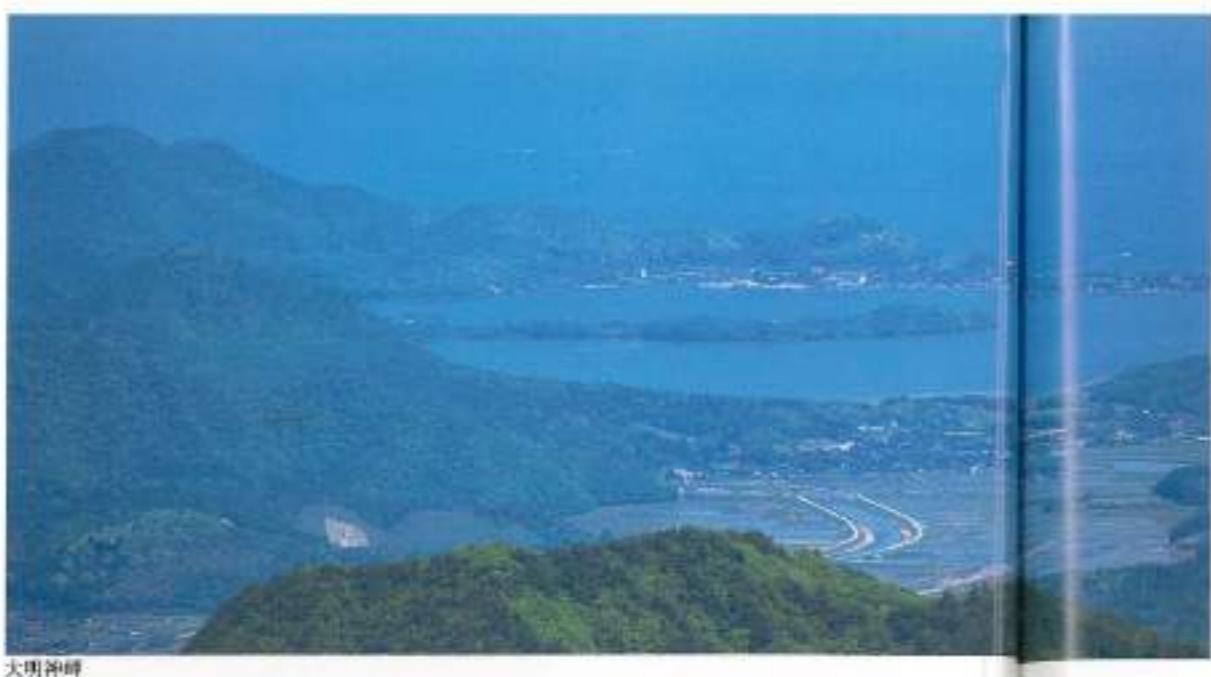


ヤマメ



木橋の「スグジイ（龍神さん）」

久美浜町
Kumihama



大明神峰



オオハクチョウ



オオハクチョウ、コハクチョウの飛来する久美浜湾



箱石砂丘のトウテイラン、ハイネス群落
(写真はトウテイラン)



小天橋

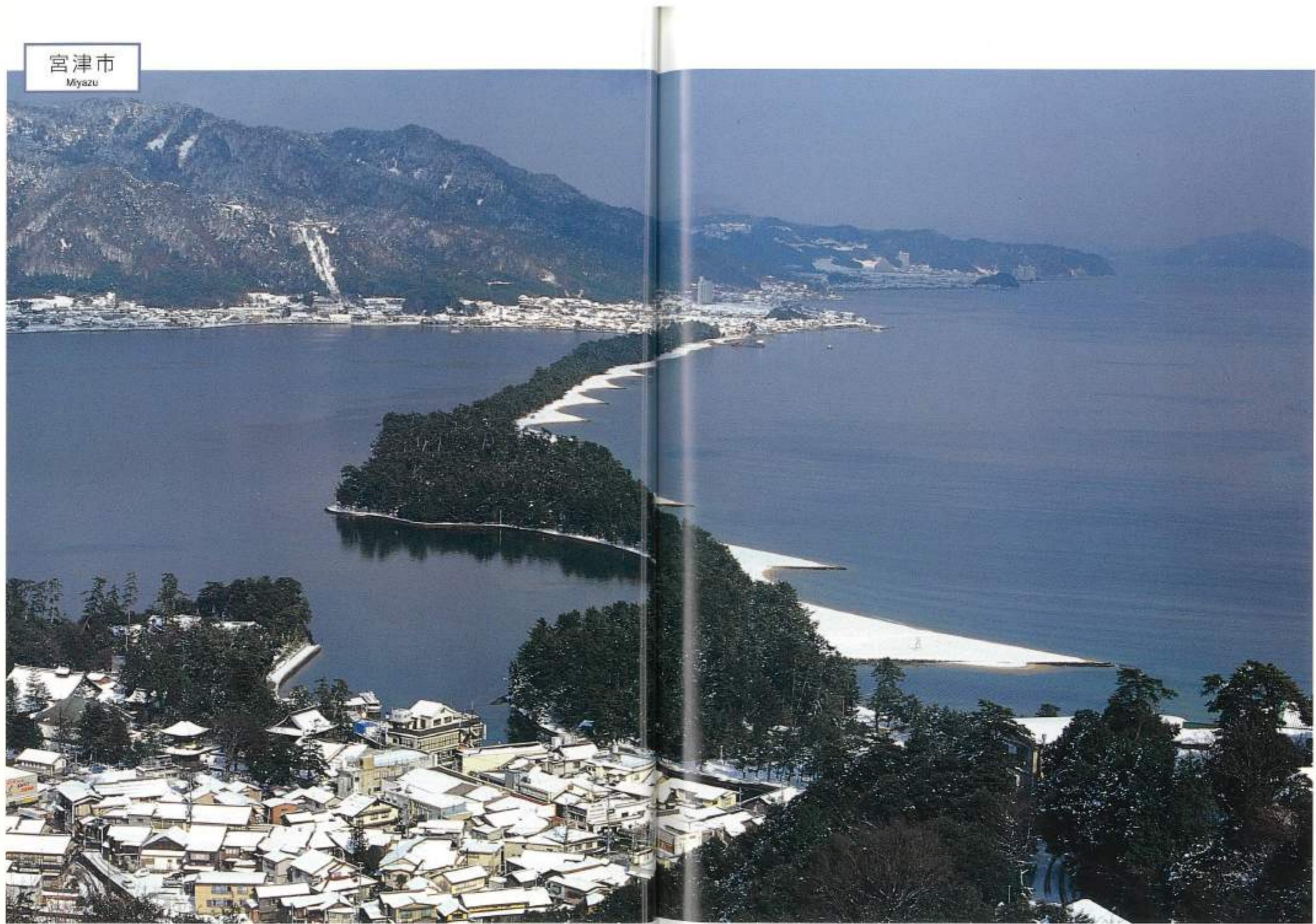
兜山のそろばん玉石



兜山(甲山)



甲山の「ヒシ(おーくのフシ)」



宮津市



金引の滝



菅原神社の石提道



或相寺の「送スギ」

宮津市／舞鶴市



由良の門（丹）



大ヶ瀬原

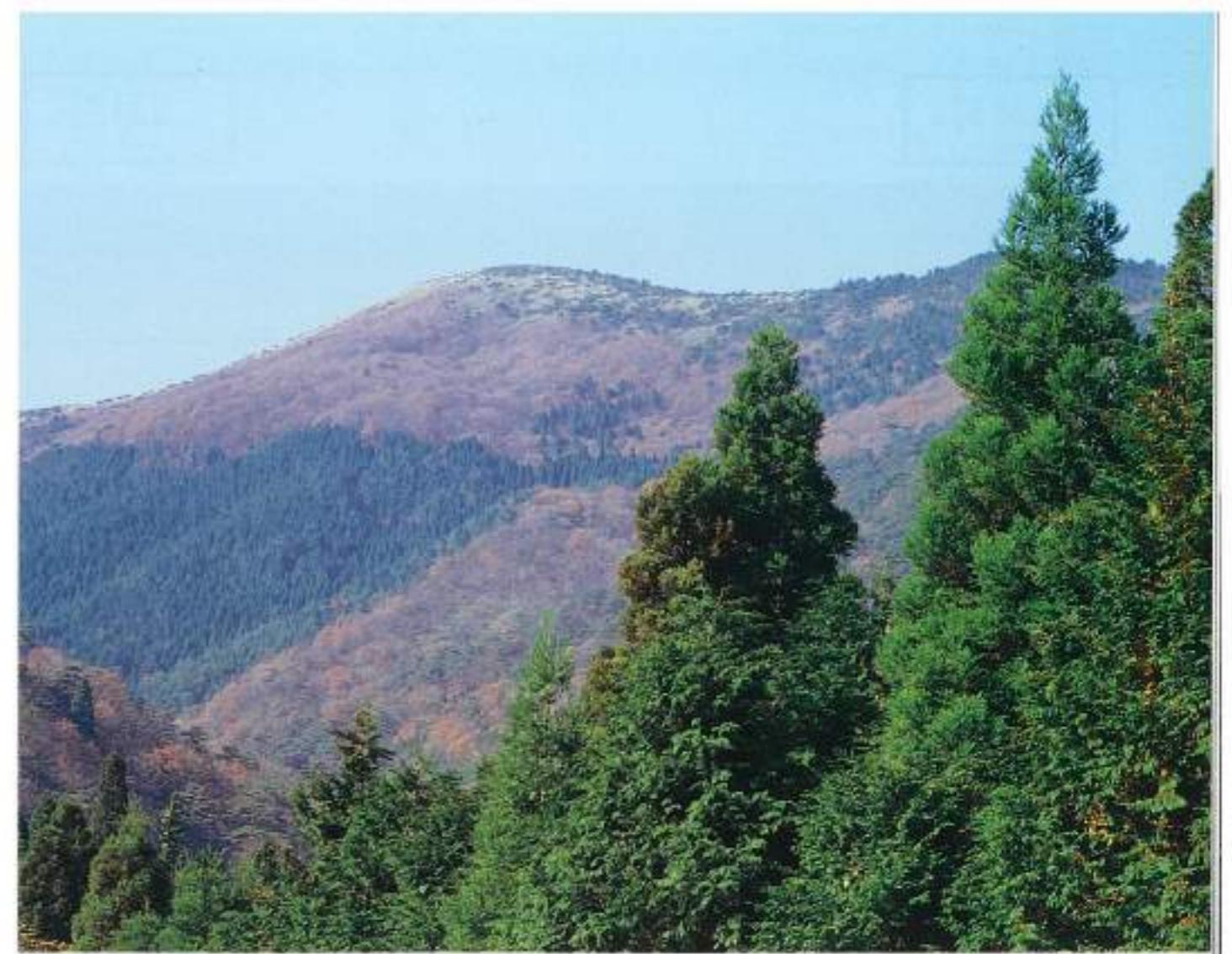


加悦町

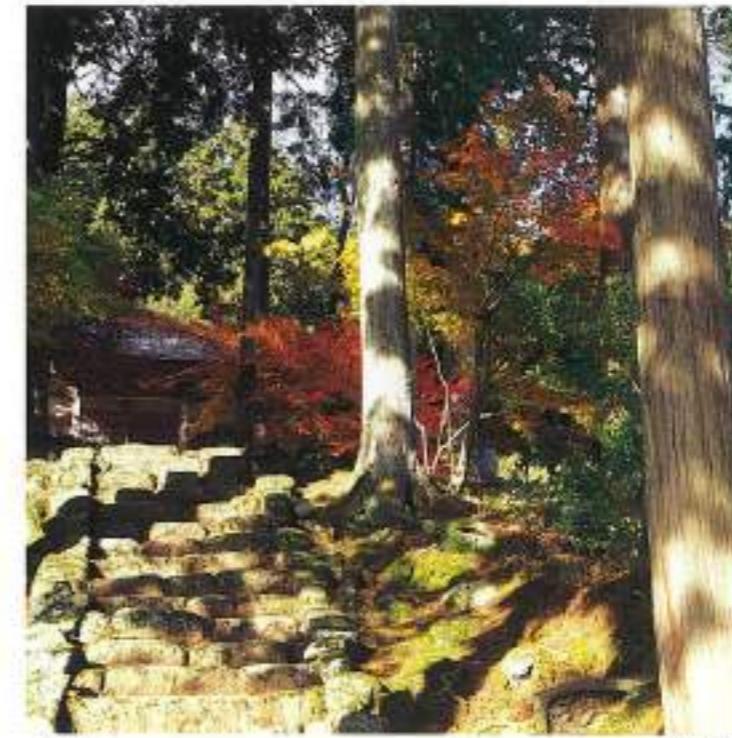
Kaya



鏡の「千年ツバキ」



大峰山



大峰山

(施茶寺)

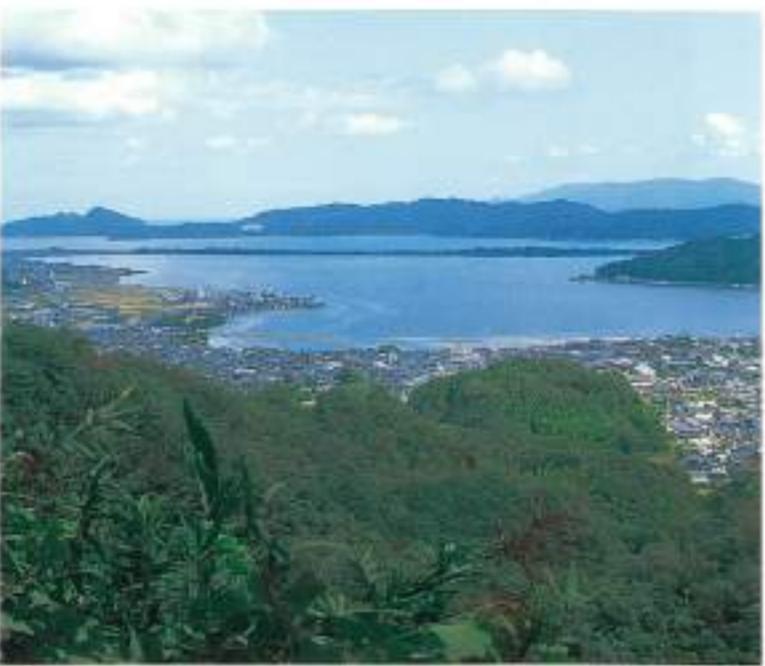
岩滝町
Iwataki



コハクチュウの飛来する阿波海



椎原山の「大シイ」



大内岬

(大内岬から見る天橋立)

伊根町
Ine



津母海蝕洞の鍾乳石

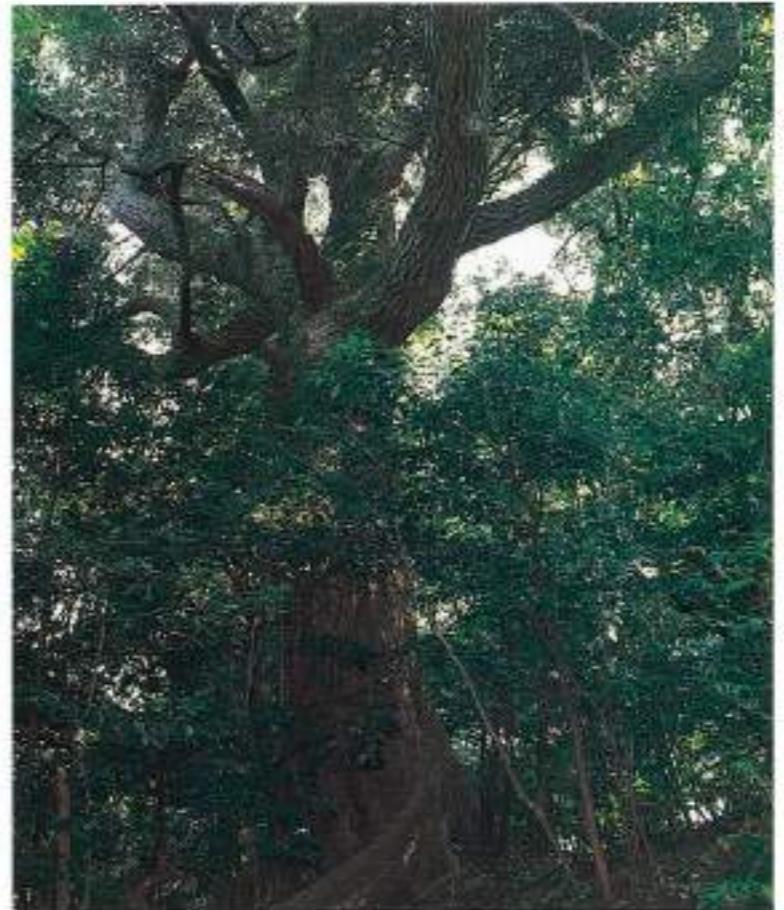


カマゲ海岸

伊根町



布引の滝



青森の「シイ林」



徐福伝説の地（新井崎神社）



野田川町

Nodagawa



オオサンショウウオの生息する岩尾川

オオサンショウウオ



神宮寺の「コウヤマキ」



雲岩寺跡（雲岩公園）





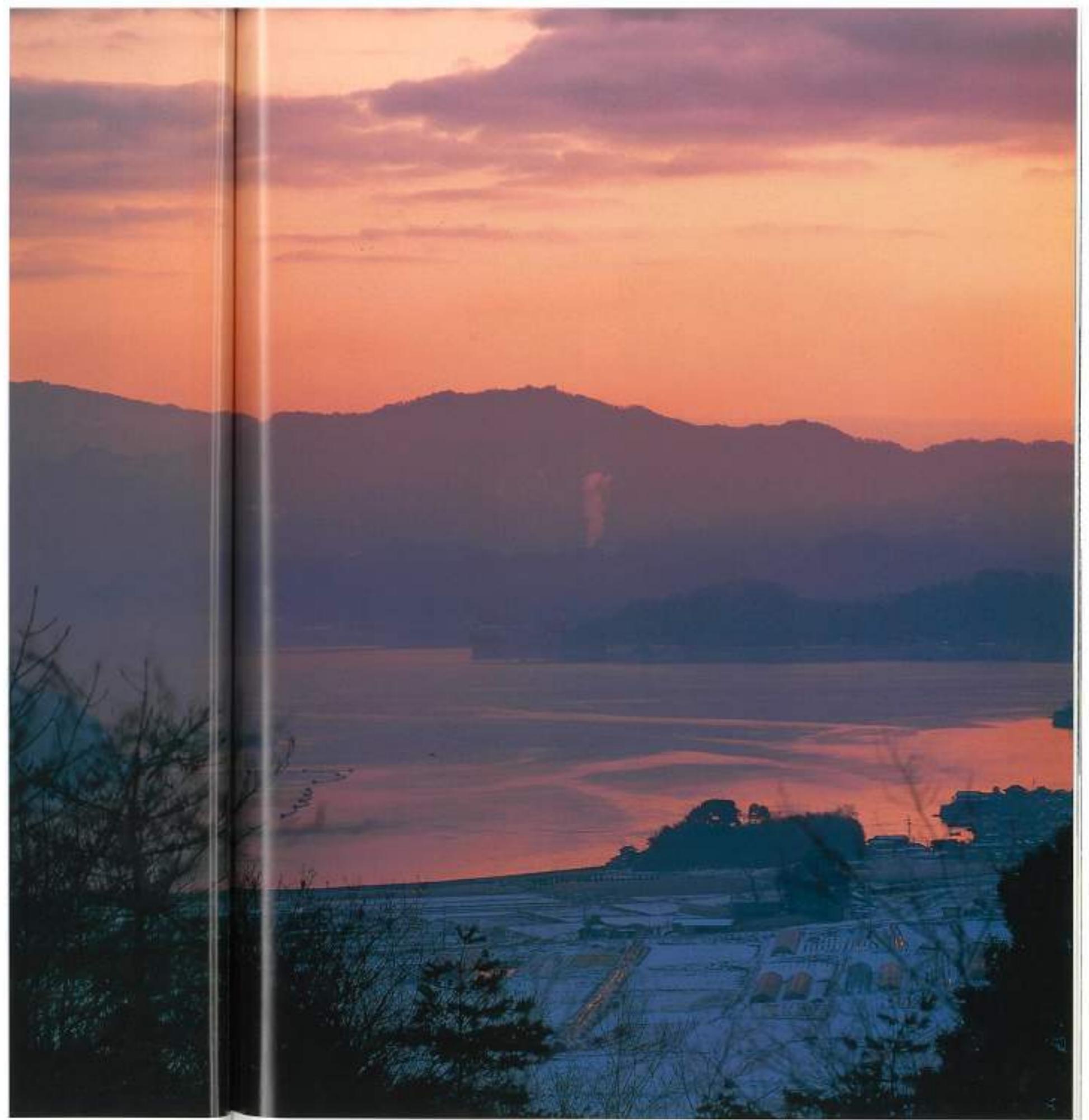
オオミズナギドリの生息する宍島



オオミズナギドリ

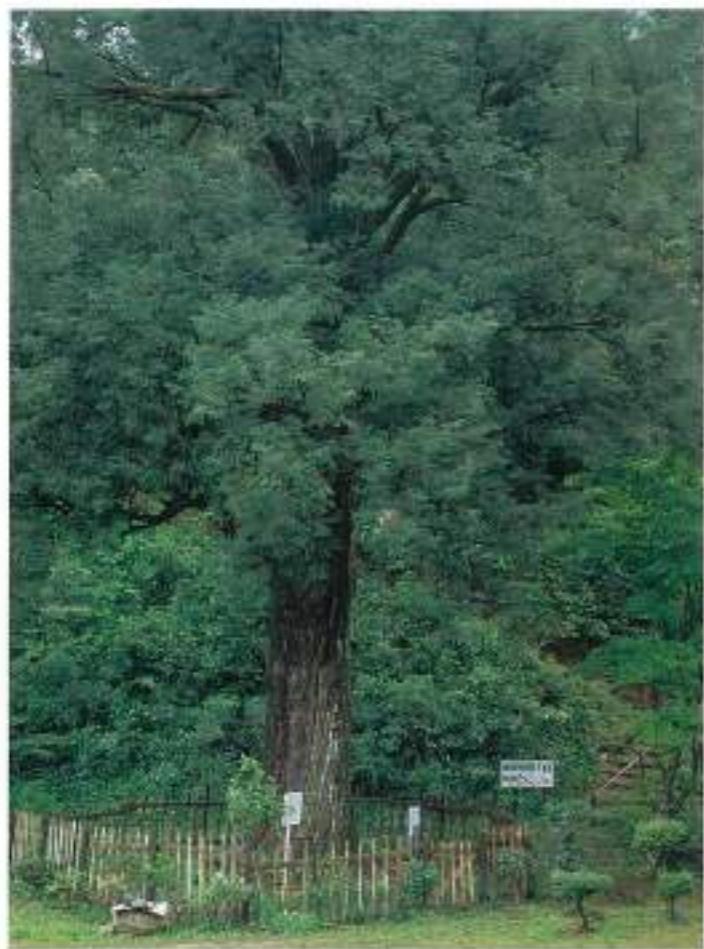


ウミネコ



ウミネコの生息する宍島及び舞鶴湾一帯

舞鶴市



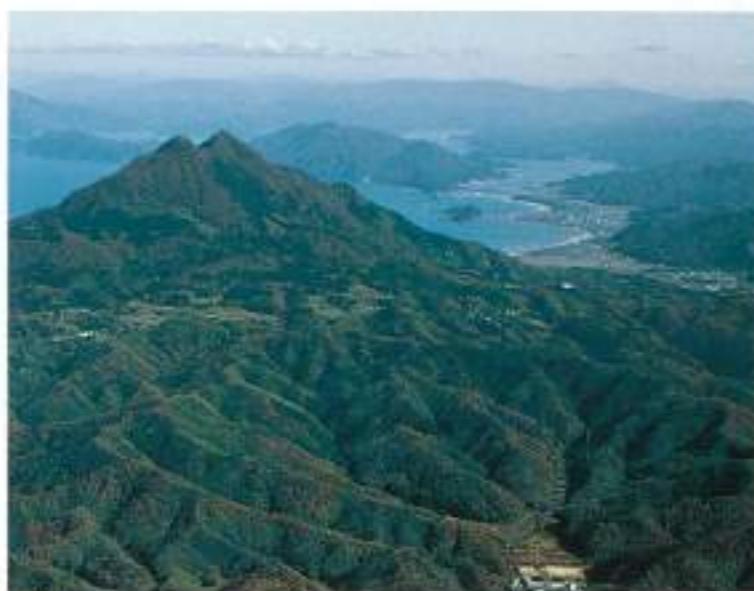
金閣院の「千年ガヤ」



金閣院
(三重塔)



真名井の清水



青葉山

福知山市

Fukuchiyama



サケの遡上する由良川



サケ



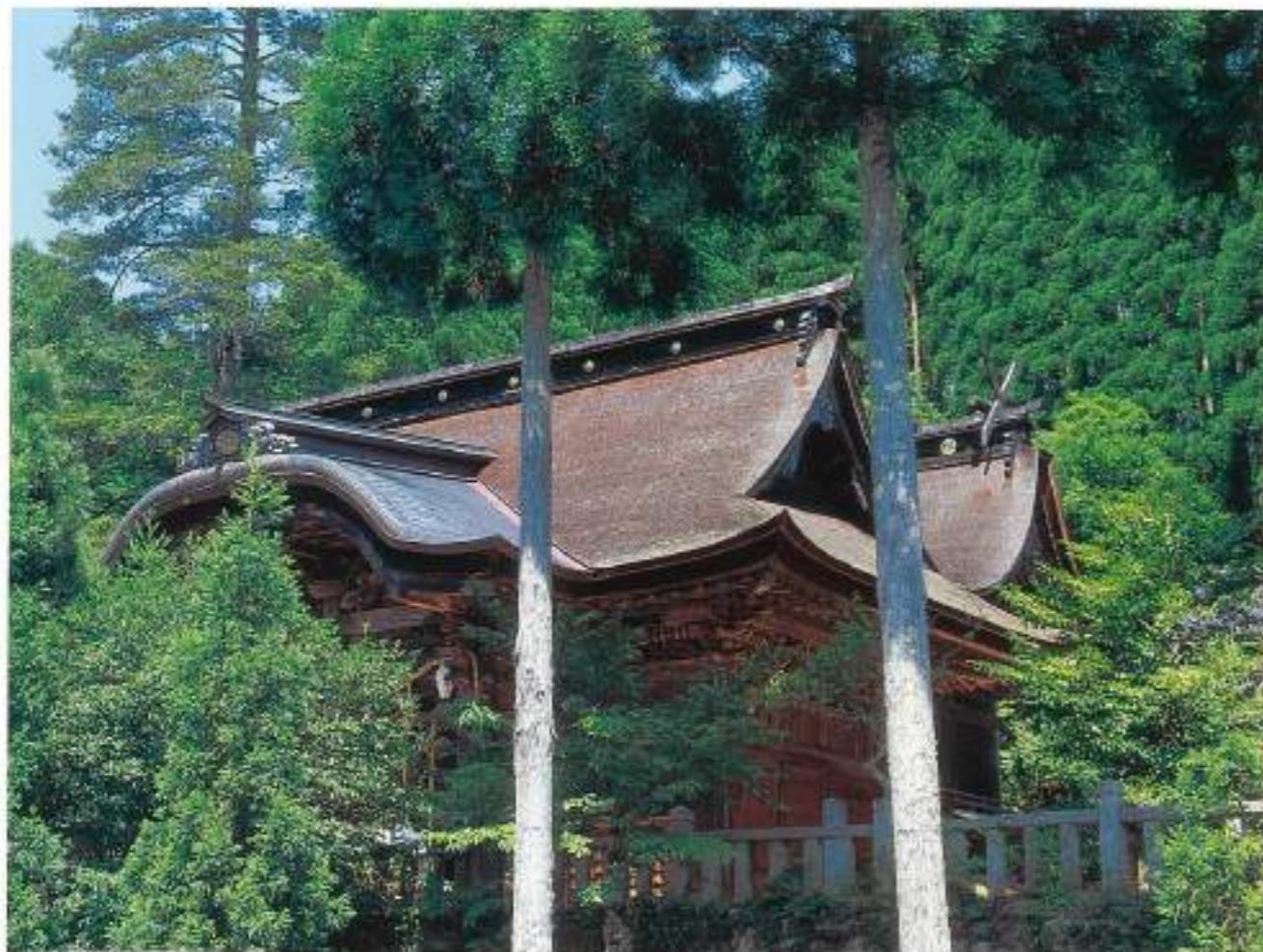
天寧寺



長安寺の「薬師如来御墨木（授乳のイチョウ）」

三和町

Miwa



大原神社



森木渓谷の「モミ」



ヤマセミの生息する川合川周辺



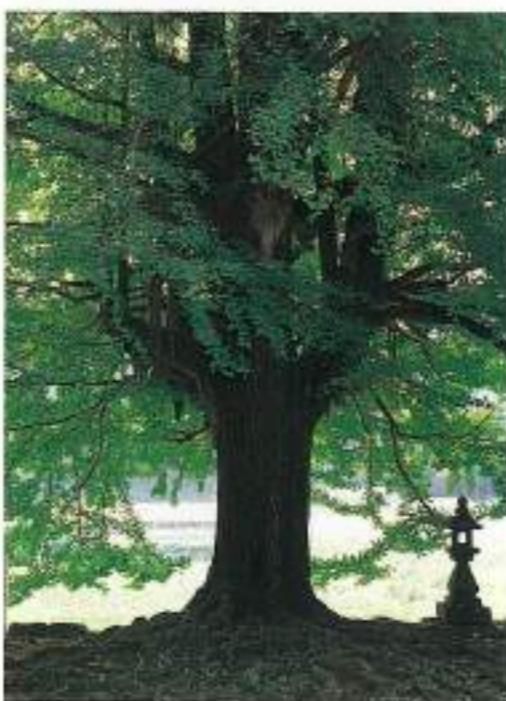
ヤマセミ

夜久野町

Yakuno



小倉安武岩



大原神社の「イチヨウ」



チョウ類（イチモンジチョウ、ゴミスジ等）の生息する円満院付近



イチモンジチョウ

大江町

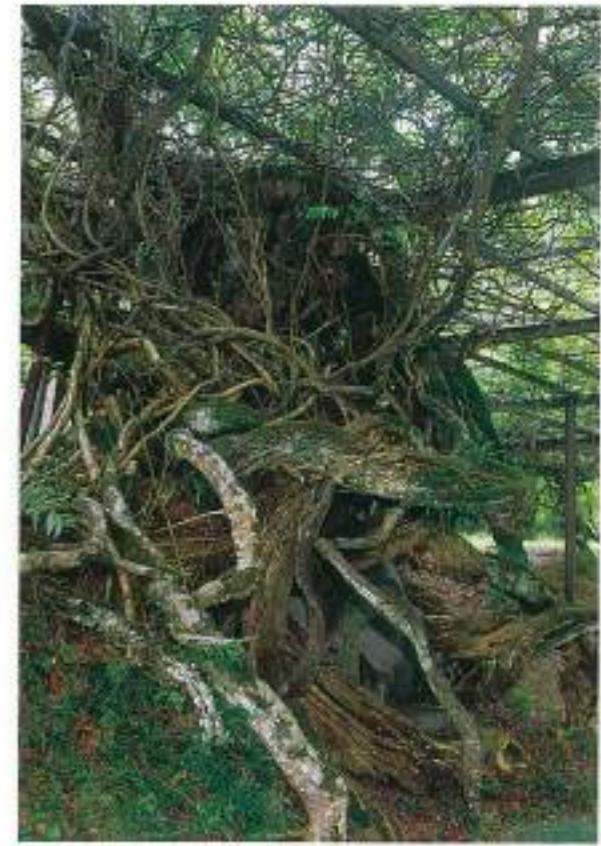
Oe



二瀬川渓流



天岩戸神社の「暖湯毒植物群」



苗羽路の「才ノ神のフジ」



元伊勢三社（皇大神社、熊野大神社、天岩戸神社）



大江町



シジミチョウ類（エゾミドリシジミ、フジミドリシジミ、ウラクロシジミ）の生息する大江山



ウラクロシジミ

綾部市

Ayabe

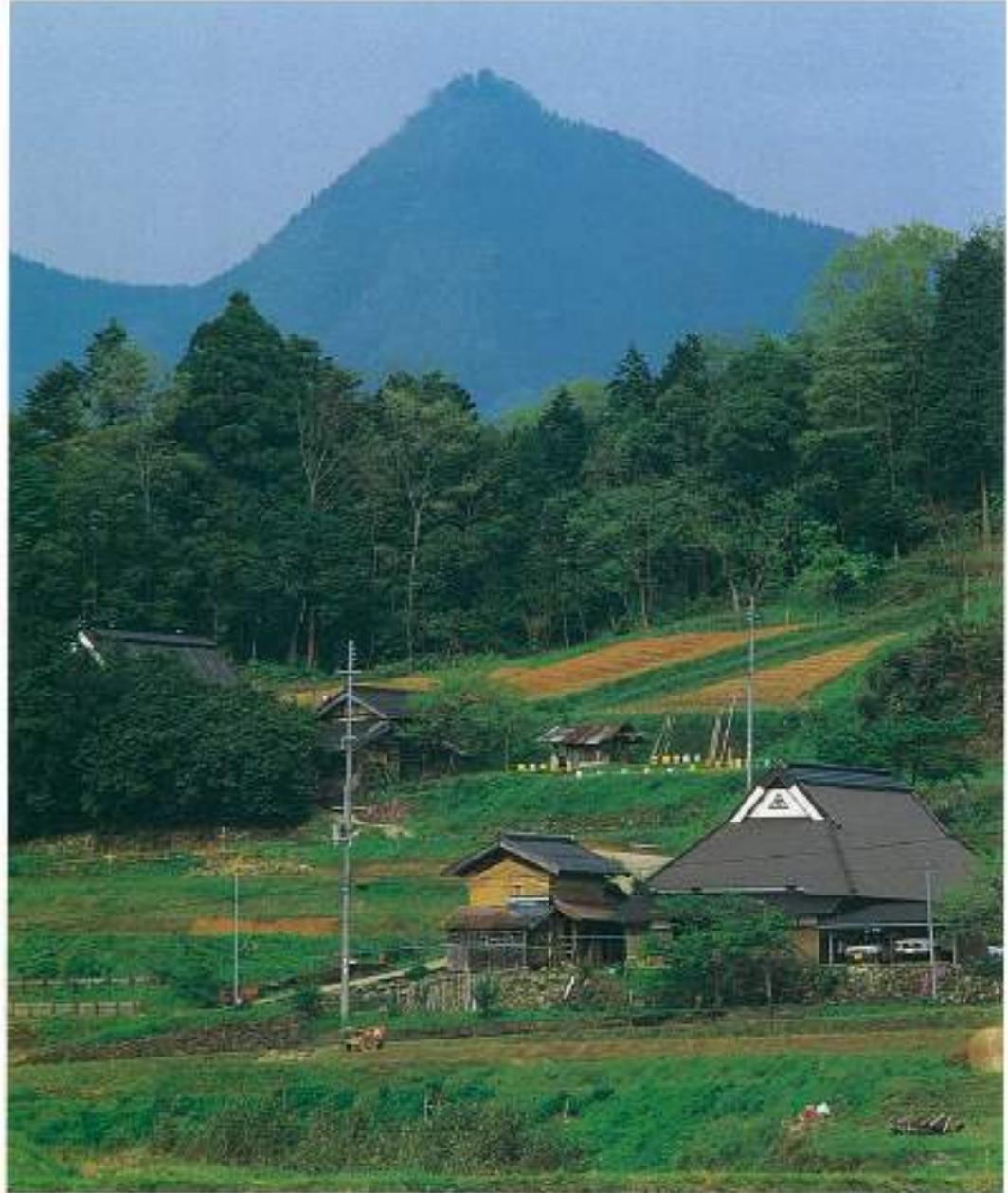


光明寺の「幻の大トチ」

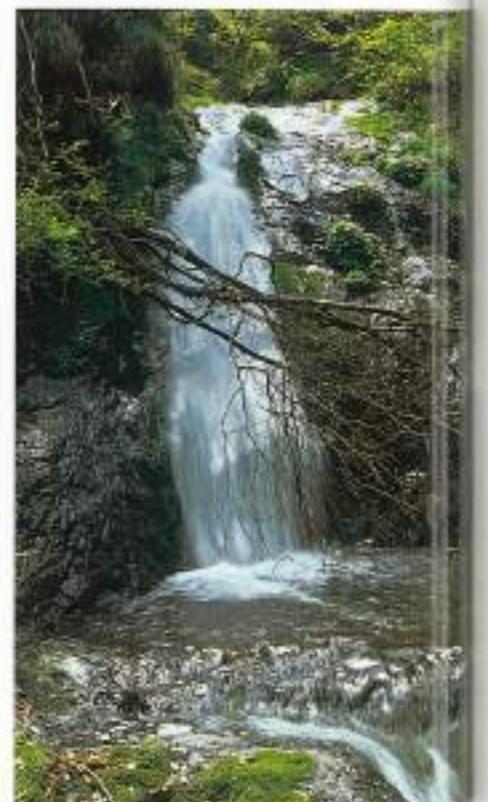
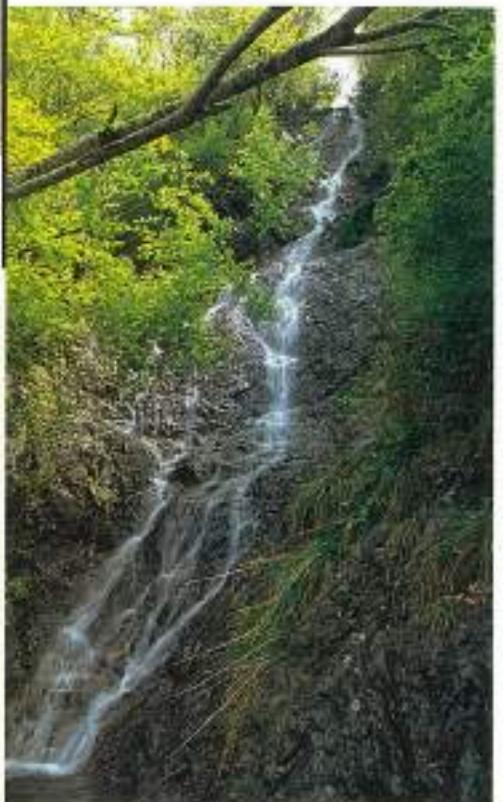
綾部市



八幡山（高津八幡宮・高津城跡）



弥仙山

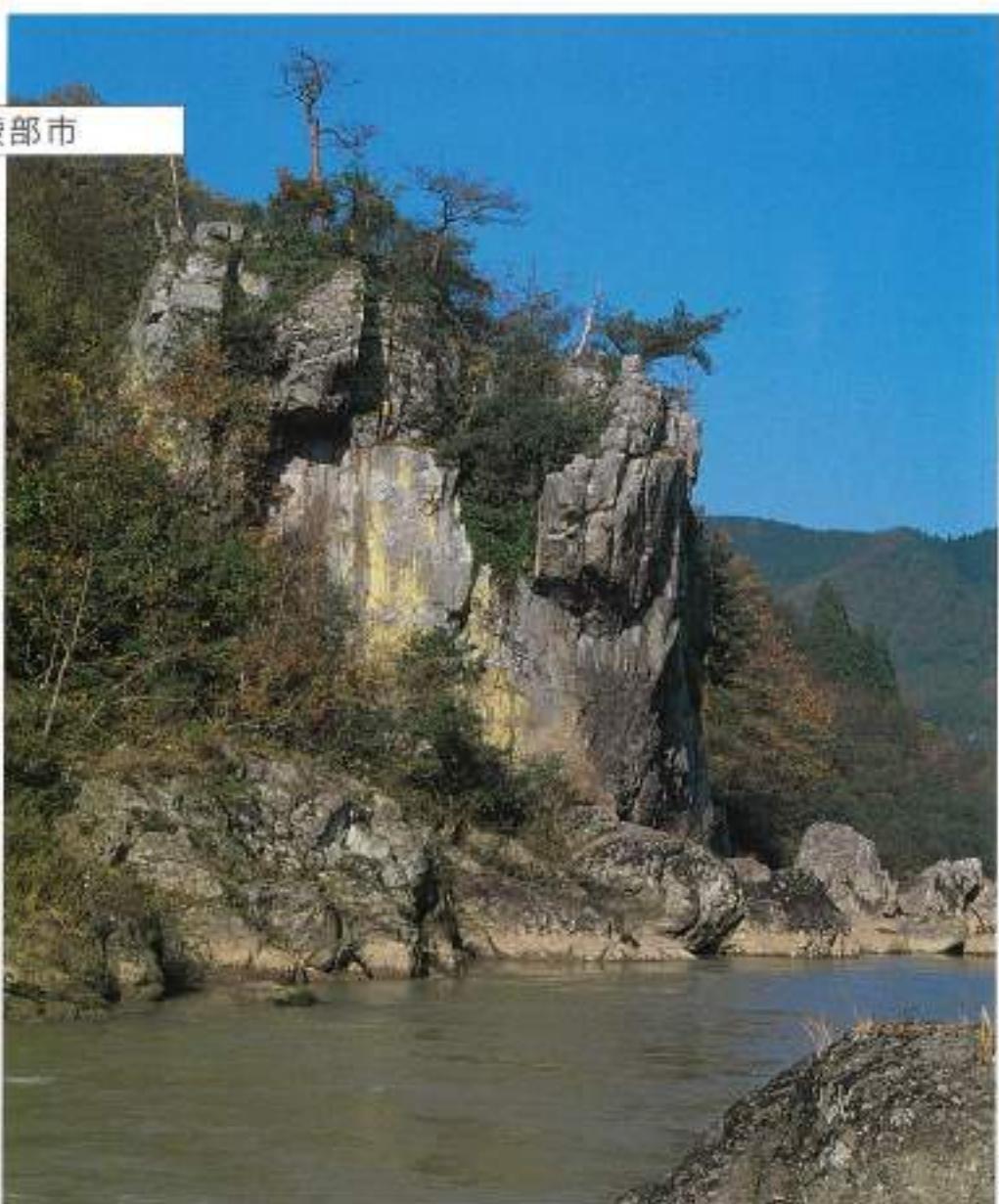


早稻谷川上流域の滝群（八反の滝・裏八反の滝・弁天の滝）



丹波安国寺

綾部市



立岩



綾市山の「ブナ林」



山家城址

中部

Tyubu



園部町

Sonobe



るり渓



小向山と園部城跡



朝倉神社の「千歳の大スギ」



カワセミの生息する園部川流域(仁江地区)



カワセミ

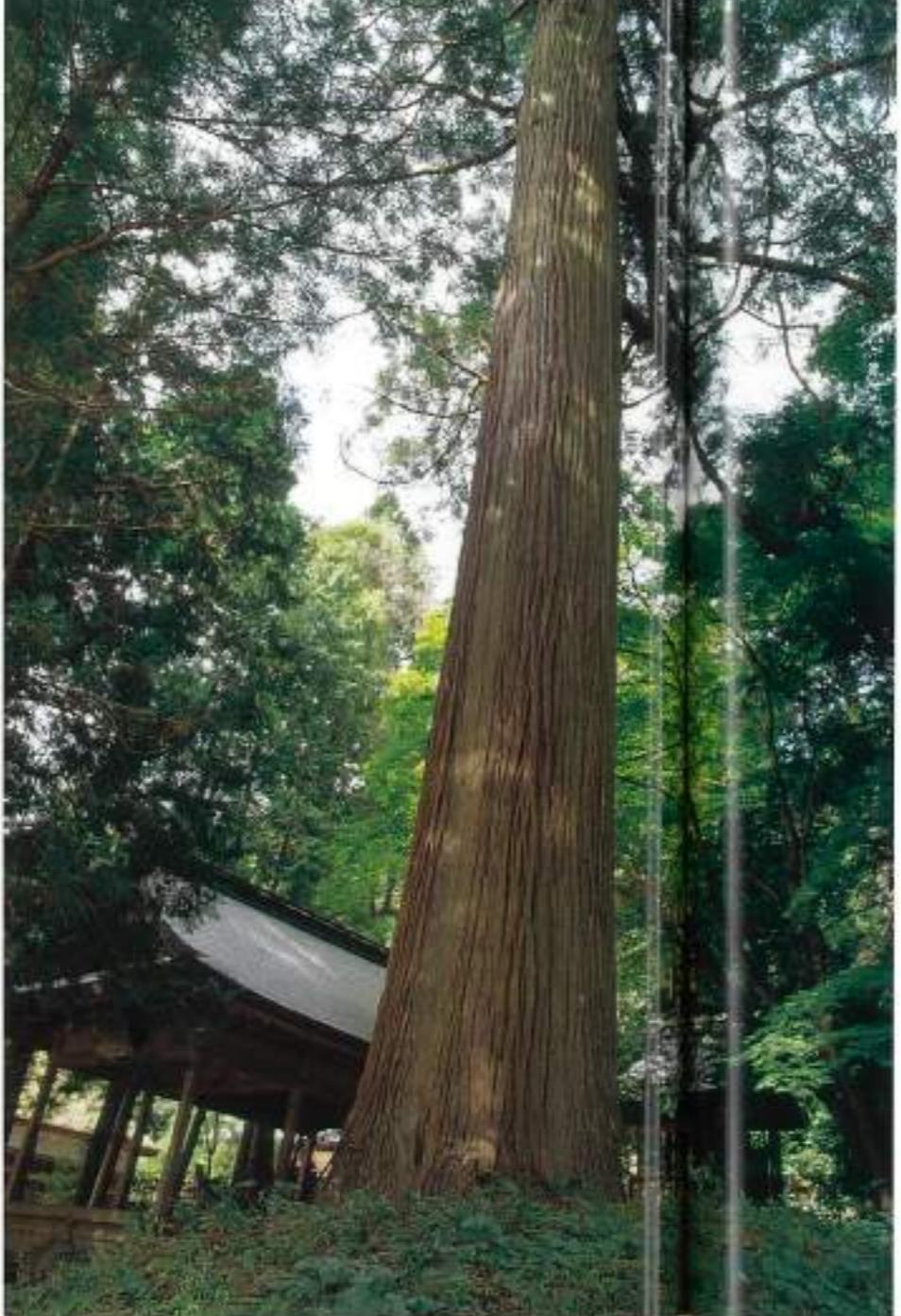
八木町
Yagi



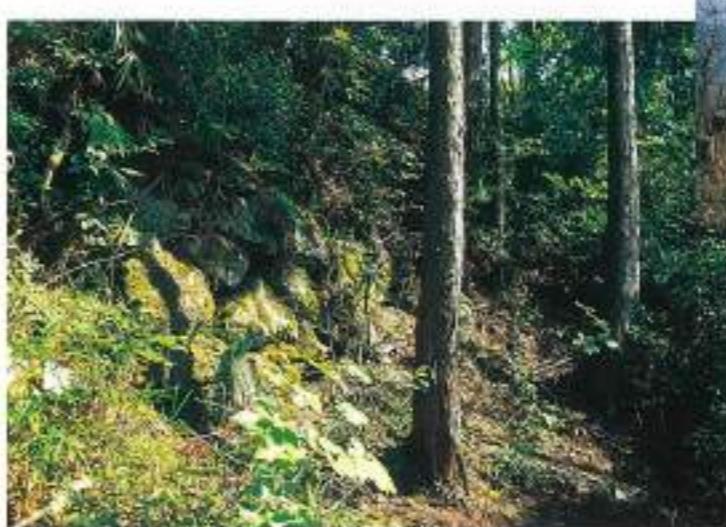
八木の「里住の大ケヤキ」



文覚池



日吉神社の「タネスギ」



城山（八木城跡）



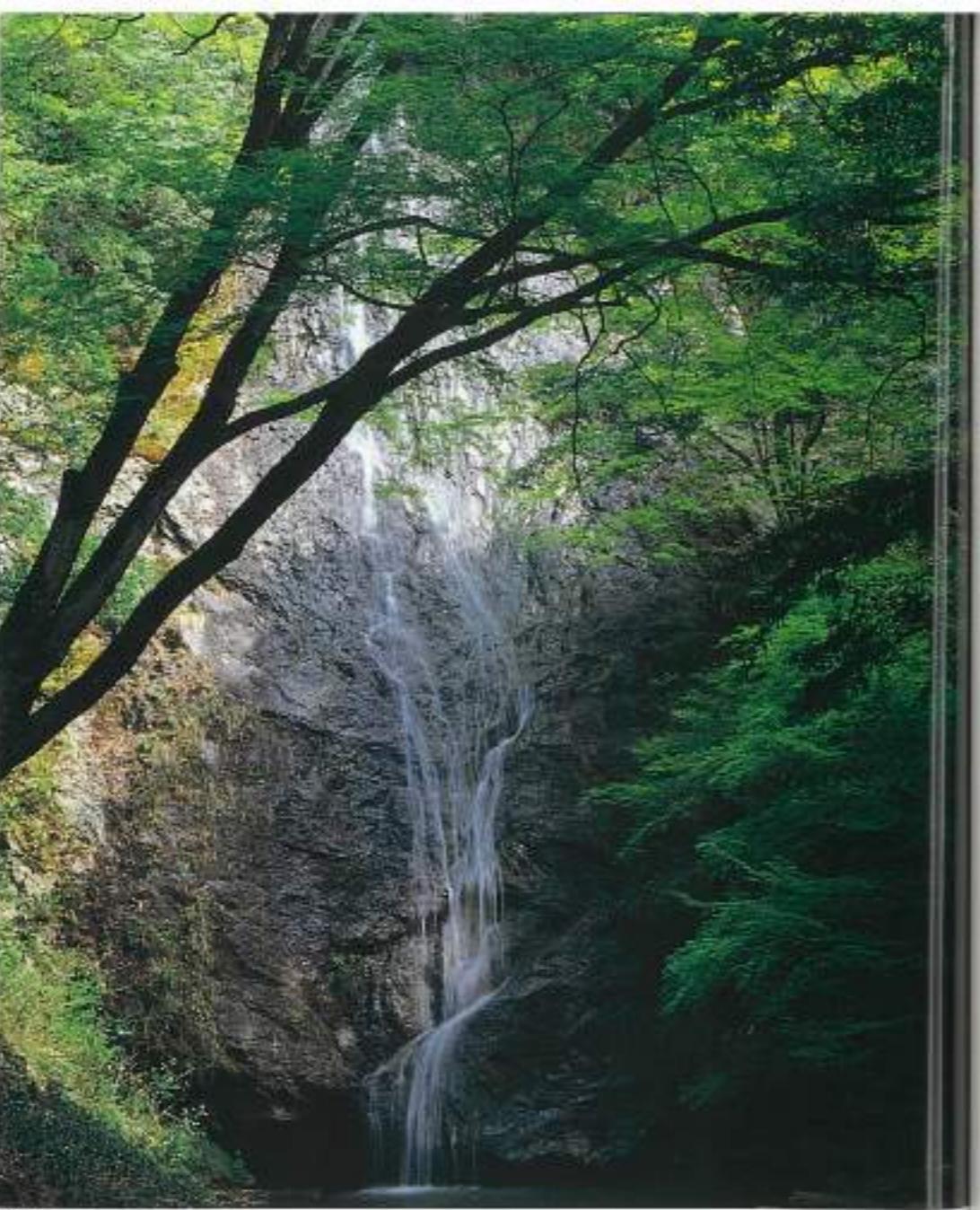
アユモドキの生息する灌漑用水路（西田地区）



アユモドキ

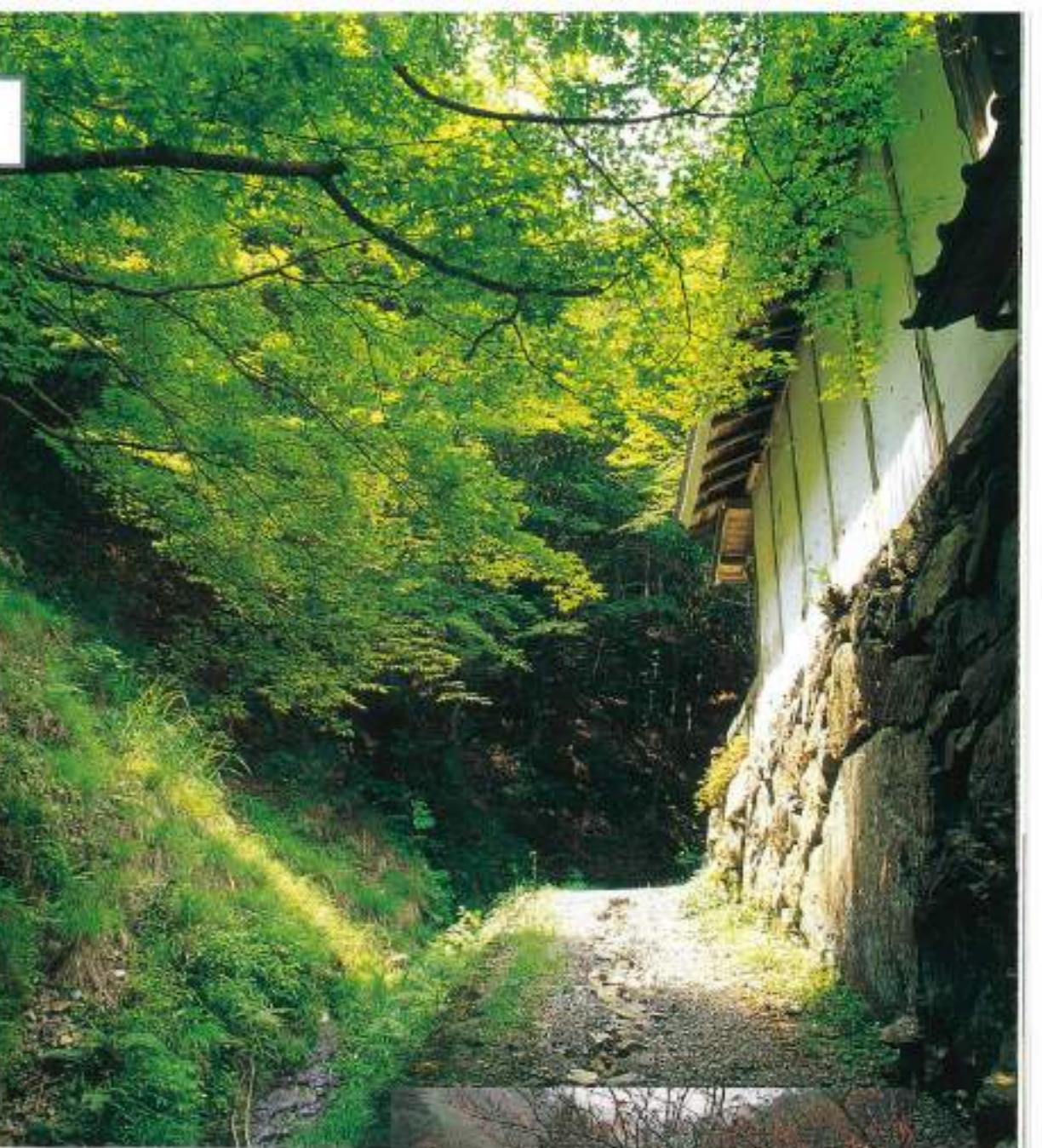


丹波町
Tanba



琴浦

日吉町
Hiyoshi



海老谷



丸手神社の「アラカシ」



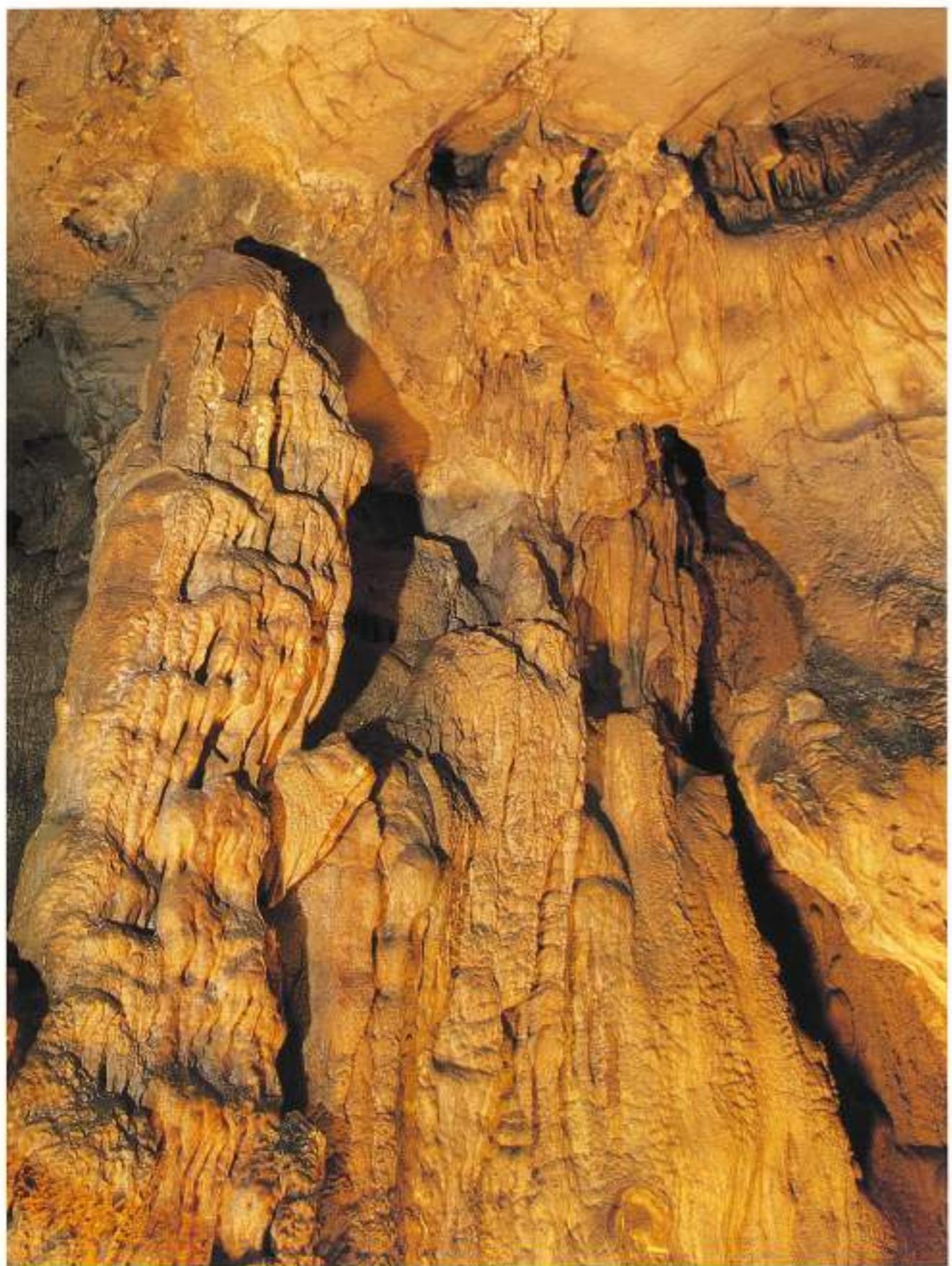
頬知の「源木の大スギ」



笛吹神社の「スギ」



瑞穂町
Mizuho



蜜柑洞窟



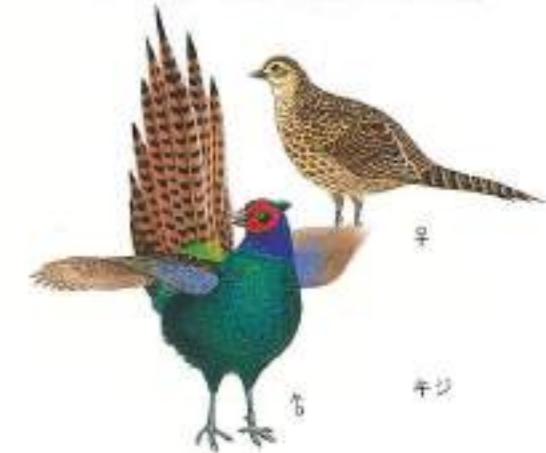
酒治志神社



賀美八幡宮の「スギ・ヒノキ並木」



野鳥（シジュウカラ、キジ等）の生息する中台、八田区の山林



和知町
Wachi



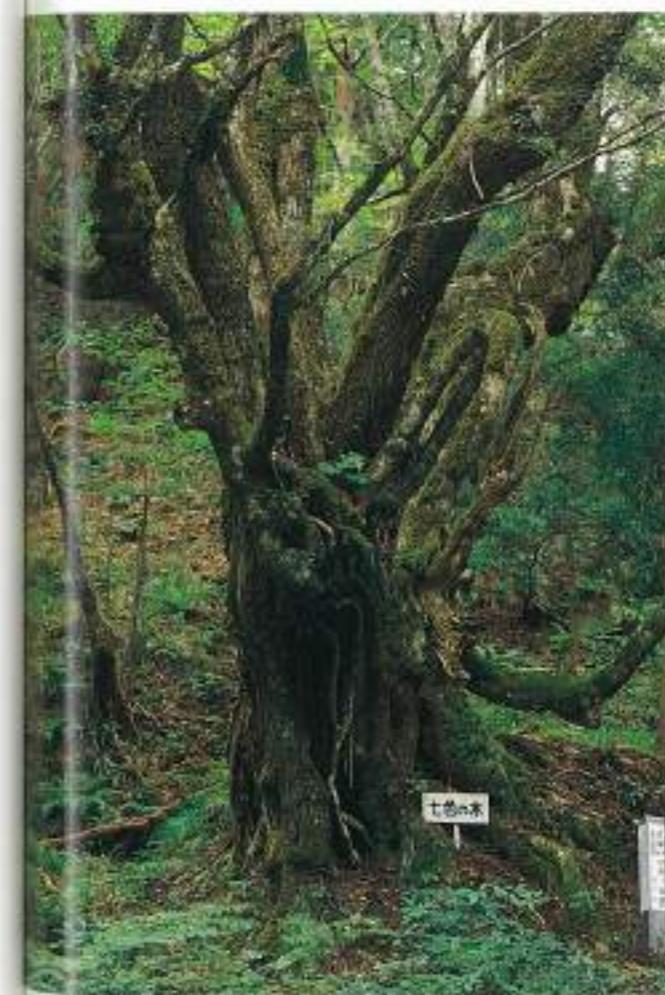
由良川の河岸段丘



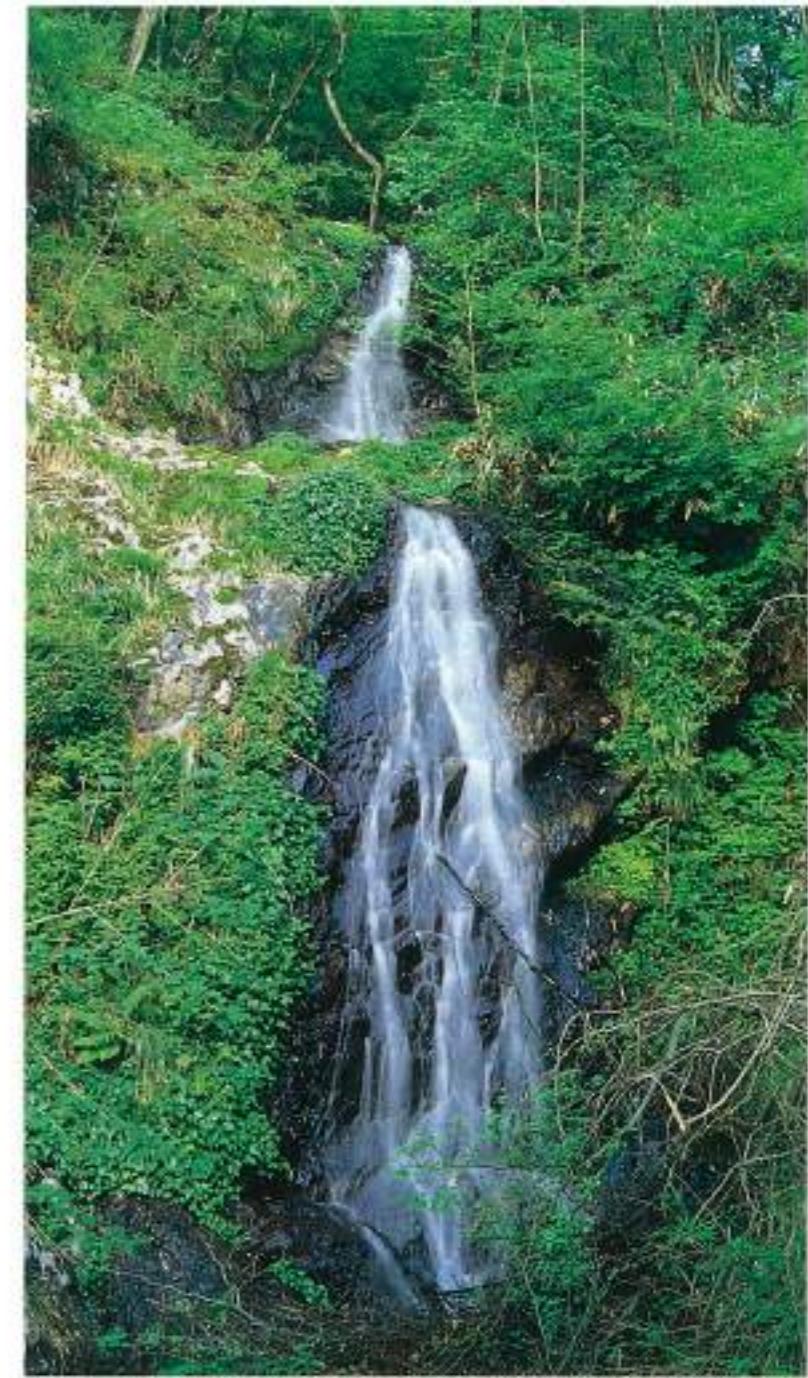
拝書亭



長老山の「イワカガミ群落」



仏主の「6種の木が宿るカツラ（七色の木）」



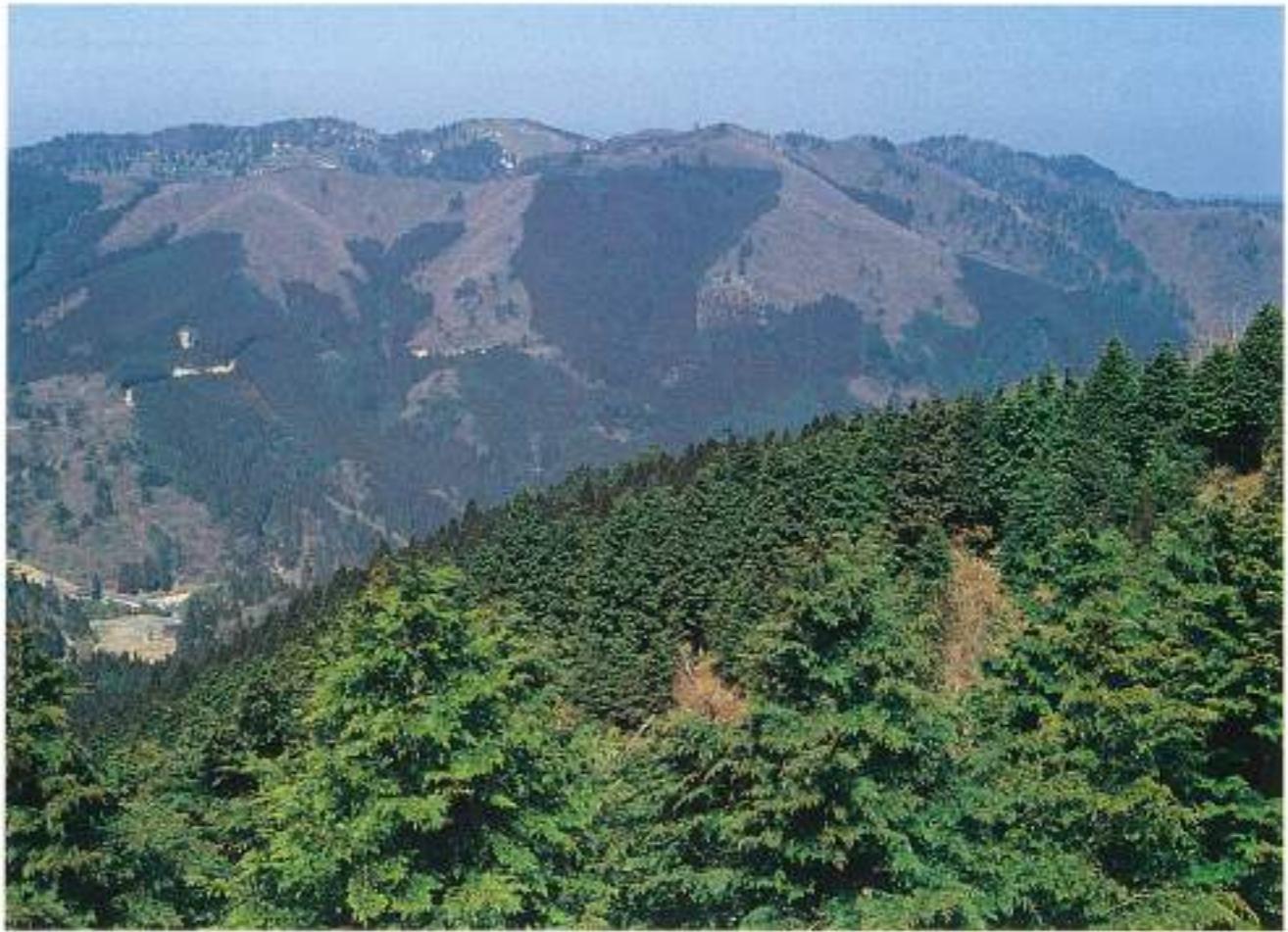
稚児の滝

京北町

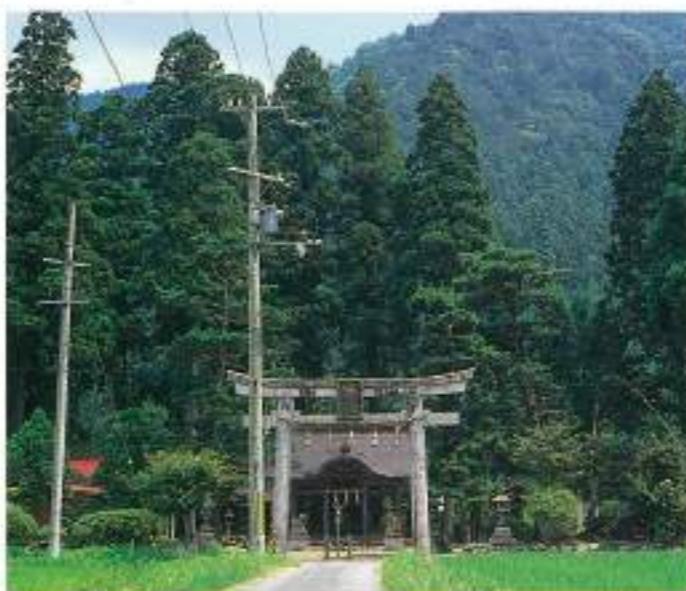
Keihoku



滝又の滝



雲取山



山国神社



八丁の「シャクナゲ群落」

京北町



常照堂寺



白山神社の「ツクバネガシ」

美山町

Miyama



由良川上流（美山町）

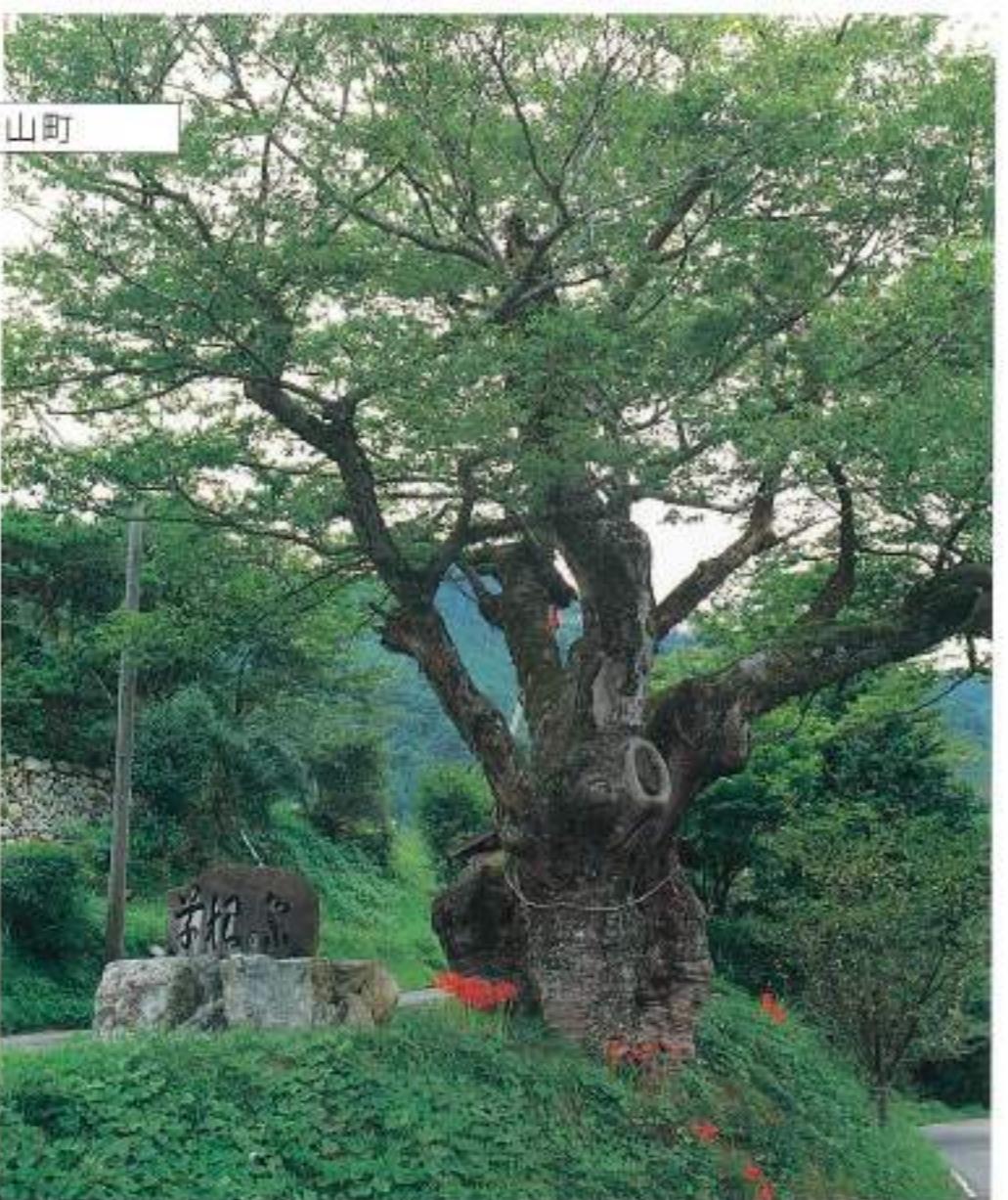


鳥類（ヤマガラ、アカゲラ等）や魚類（オヤニラミ等）の生息する由良川源流域



オヤニラミ

美山町



大原神社の「ケヤキ」

美山町／綾部市



筆中山



オオサンショウウオ



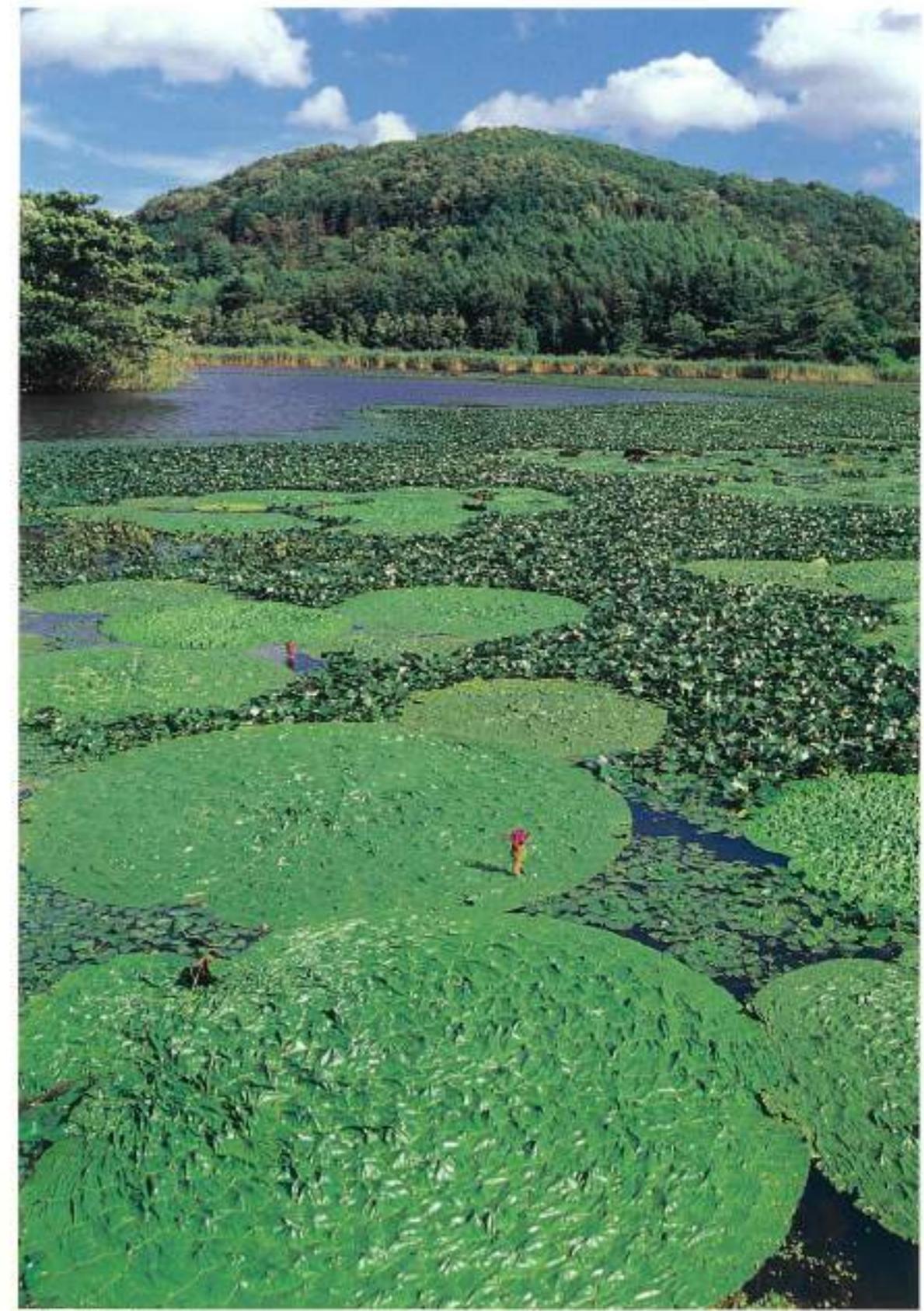
ニホンカモシカ



ツキノワグマ、ニホンカモシカ、オオタカ、タマタカ等の生息する芦生原生林

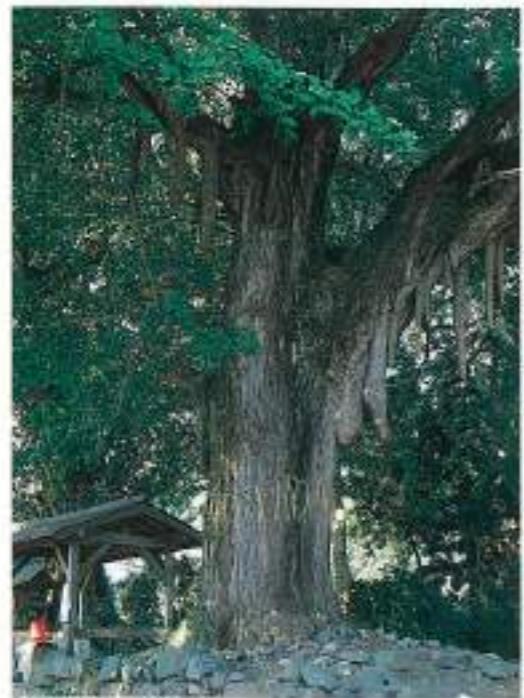


オオサンショウウオ、カジカガエル等の生息する櫛觸川流域

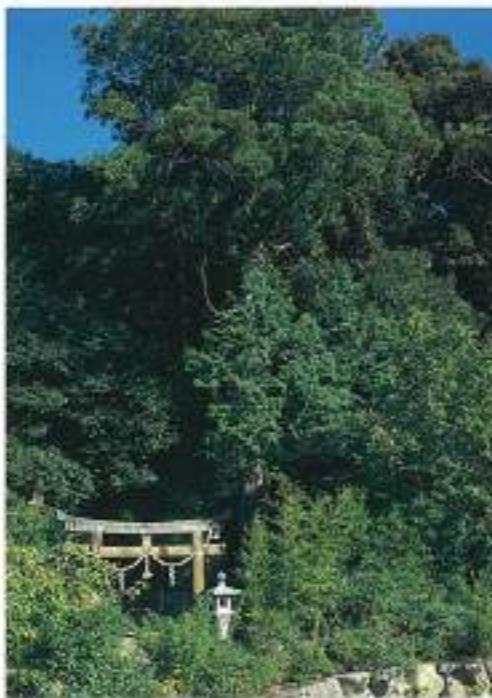




出雲大神宮



国分寺の「乳イチョウ」



貴能神社の「社叢林」



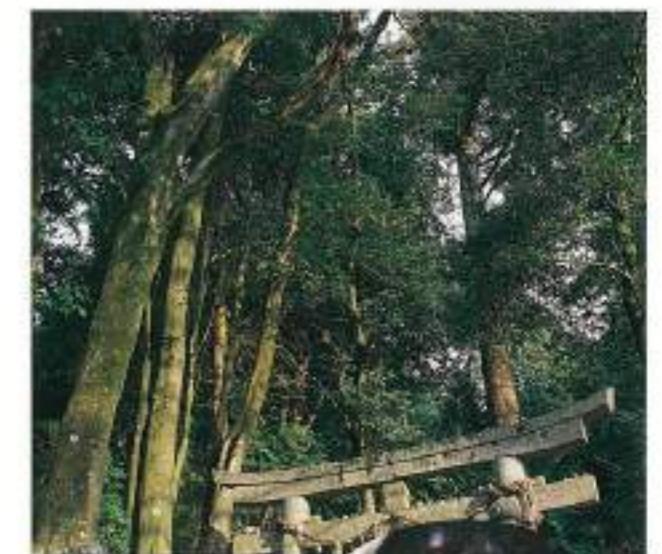
アユモドキの生息する
灌漑用水路（保津地区）



ホトケドジョウの生息す
る小清（神田野地区）



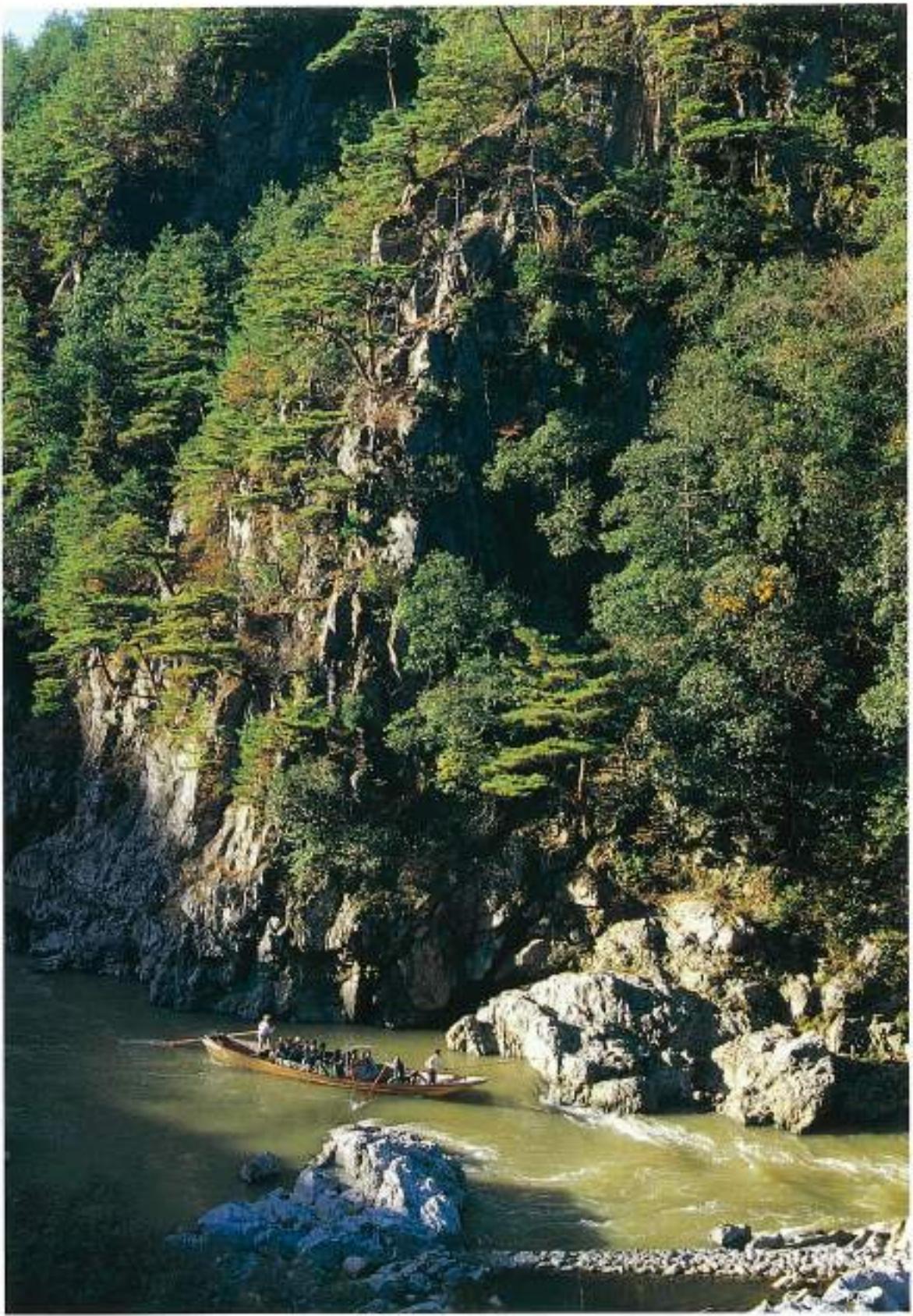
オオサンショウウオの
生息する大綱川流域



ムササビの生息する愛宕
神社の森



亀岡市／京都市



保津峡

京都市

Kyoto





船岡山 北区



水生生物（ミズグモ、水生植物等）が群生し、カモ等の本鳥の飛来する深泥池 北区



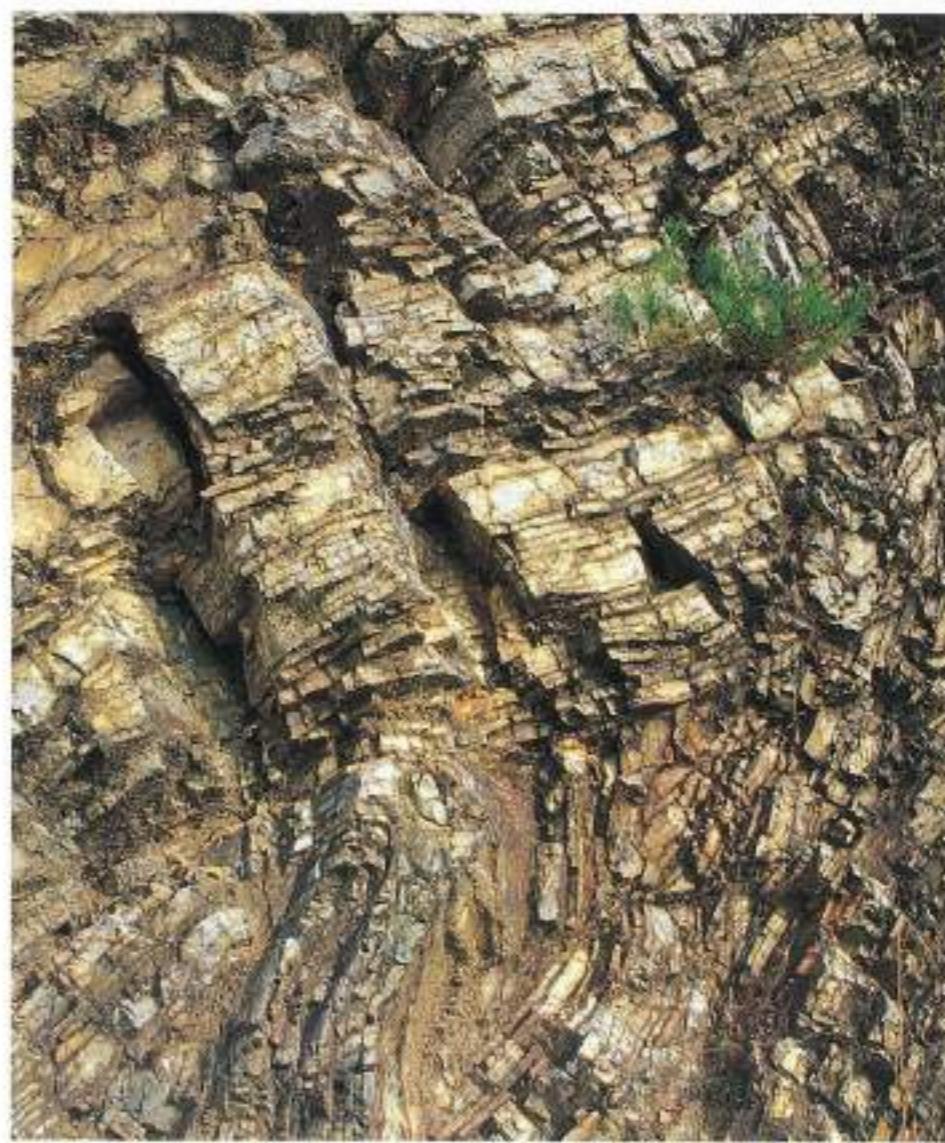
ミズグモ



アオバズクが営巣している宗像神社の森 上京区



アオバズク



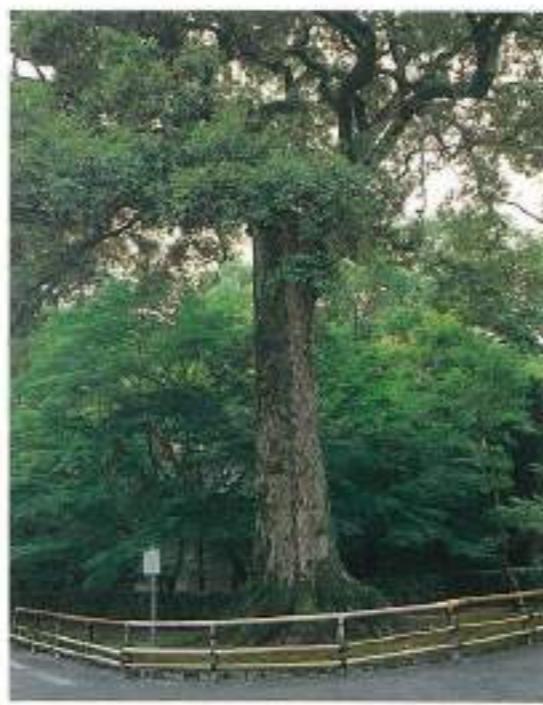
「京見峠道」切削の場所チャートの標柱 北区



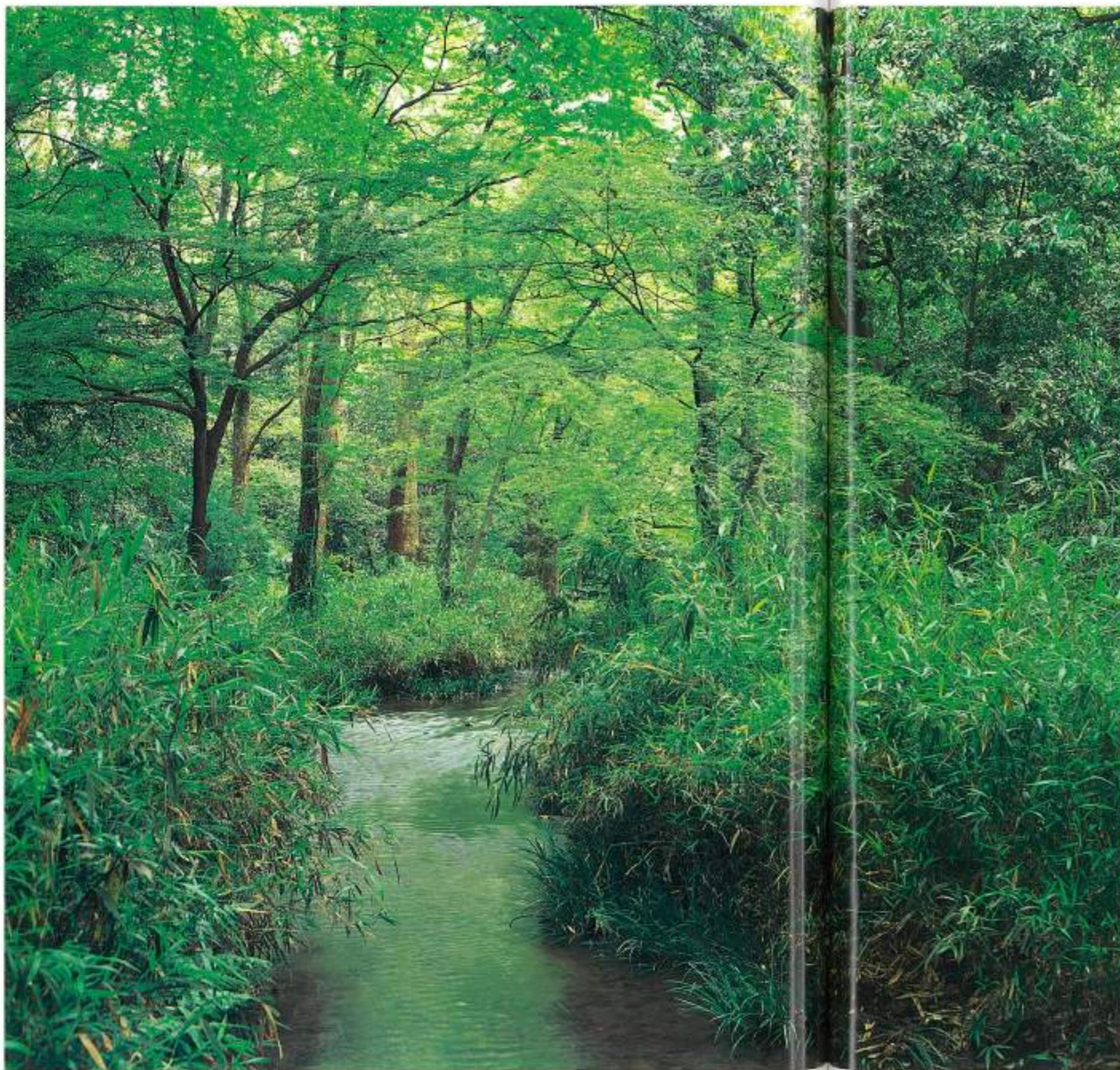
ユリカモメの飛来する鴨川流域 北区、左京区



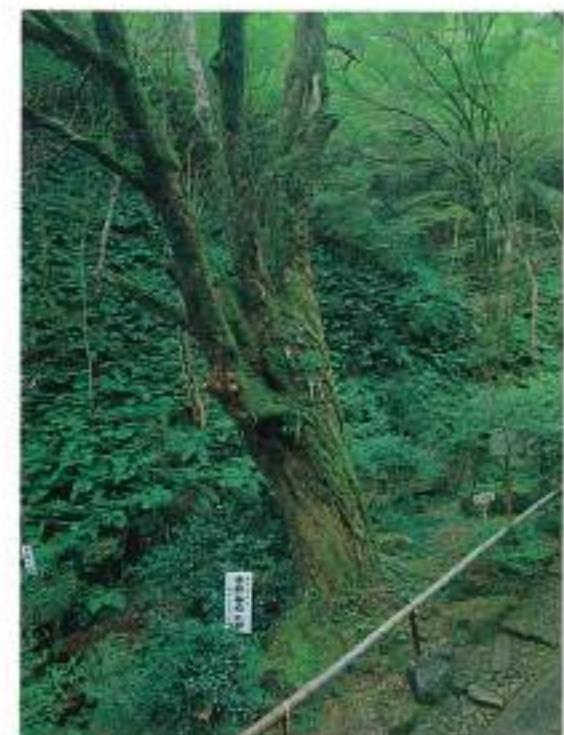
ユリカモメ



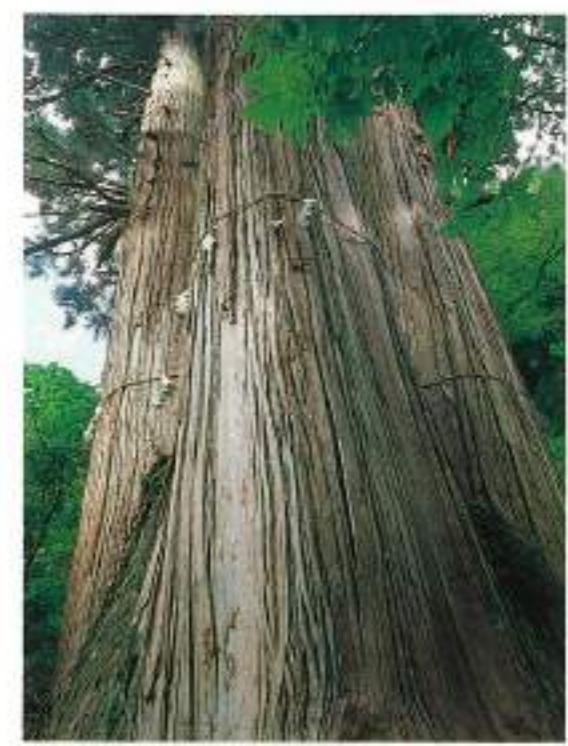
金閣寺の「イチイガシ」 北区



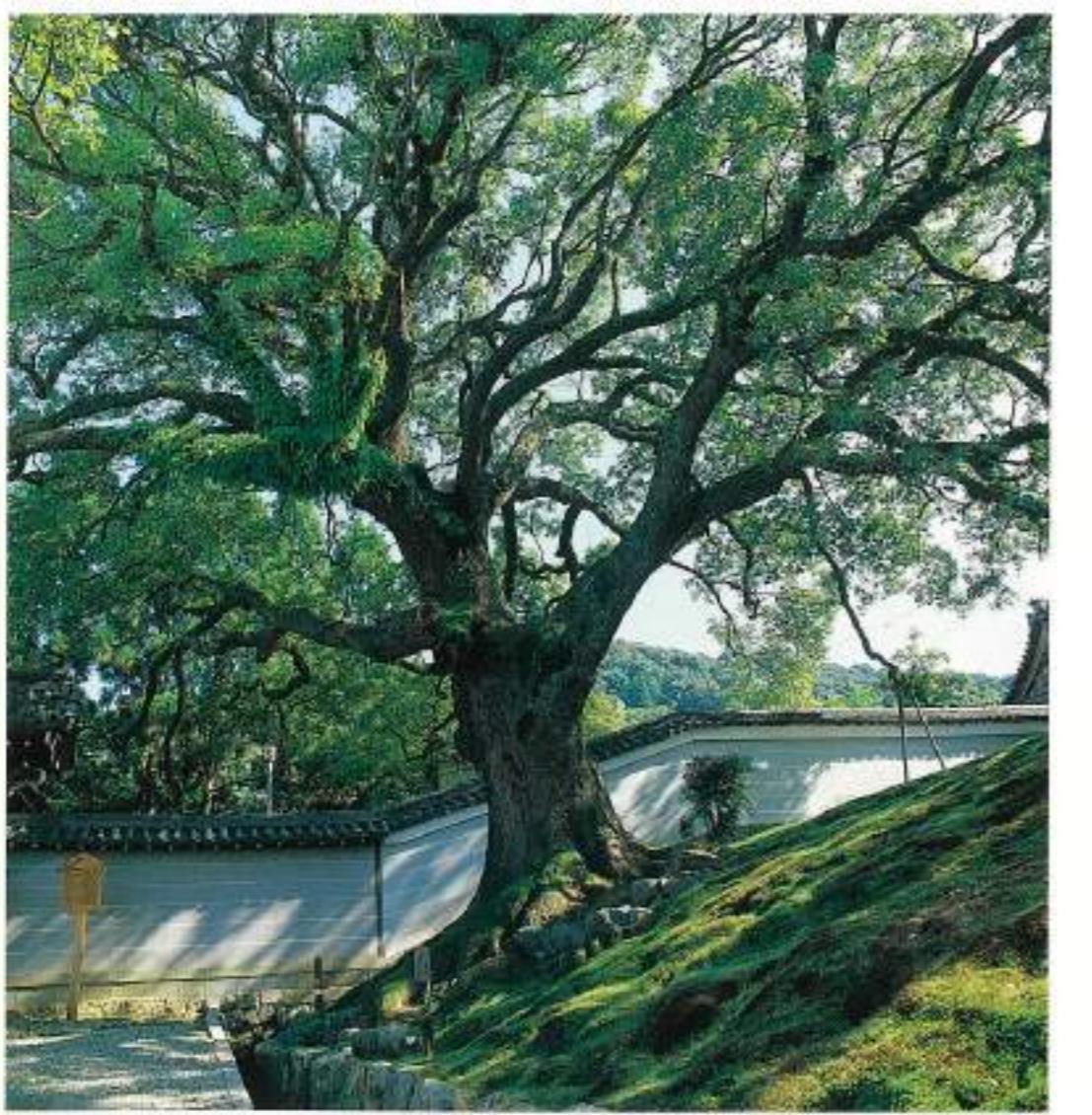
札の森 左京区



阿蘇陀寺の「古知谷のカエデ」 左京区



峰定寺の「花背の三本スギ」 左京区



青蓮院の「クスノキ」 東山区



モリアオガエル



モリアオガエル、ムカシトンボの生息する北山(駒馬、貴船一帯) 左京区



ツバメ



ツバメの生息する向島鐵橋下流(宇治川) 左岸のヨシ原 伏見区



ヒサマツミドリシジミの生息する久多オグロ森 左京区



ヒサマツミドリシジミ



チョウ類(チフチョウ、オオムラサキ)の生息する岩倉一帯 左京区



オオムラサキ



キマダラルリツバメやゲンジボタルの生息する魂木(哲学の道) 左京区



キマダラルリツバメ



花背大悲山 左京区

(峰定寺)



八丁平 左京区



豐ヶ岡 右京区



嵯峨野〔大覺寺周辺〕 右京区



小塩山 西京区



(乙沼池)



醍醐山 伏見区



琵琶湖疏水(山科城) 山科区

南部

Nanbu



向日市

Muko



西ノ門丘陵の「竹林（孟宗竹）」



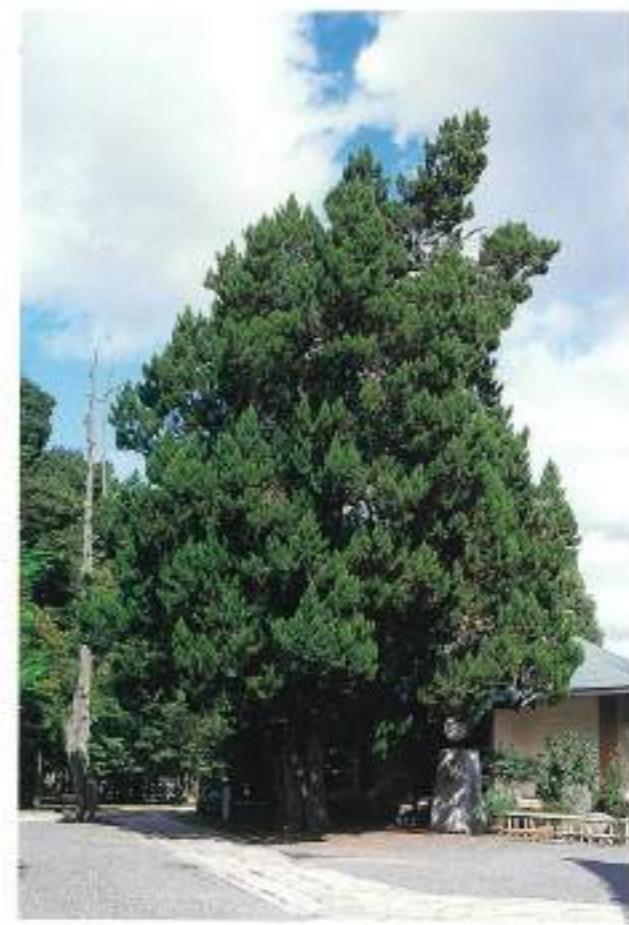
向日神社

長岡京市

Nagaokakyo



ゲンジボタルの生息する小屋川



光明寺の「ビャクシン」



長岡天満宮



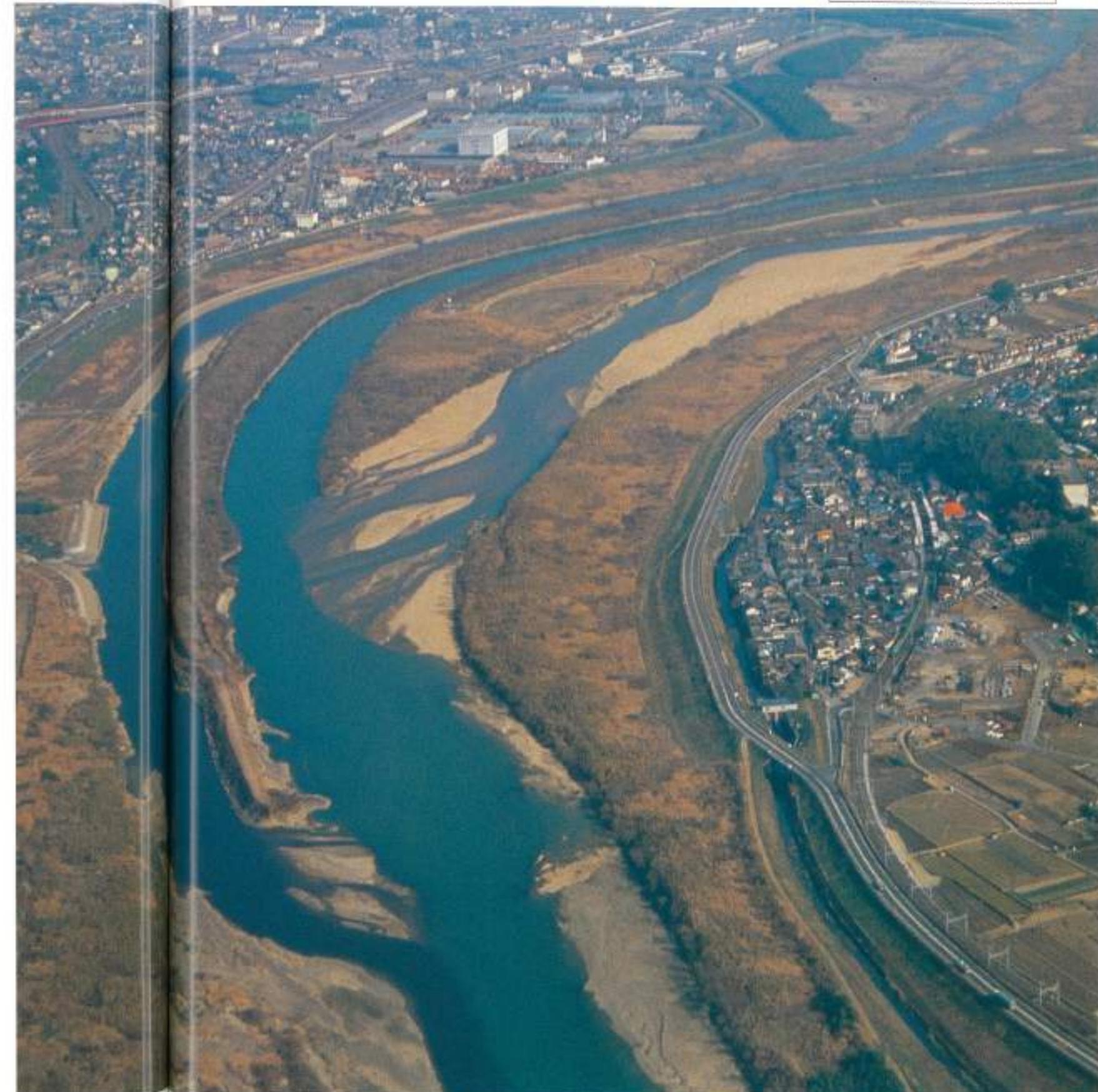
（八条ヶ池）

大山崎町
Oyamazaki



(観音寺)

大山崎町／八幡市



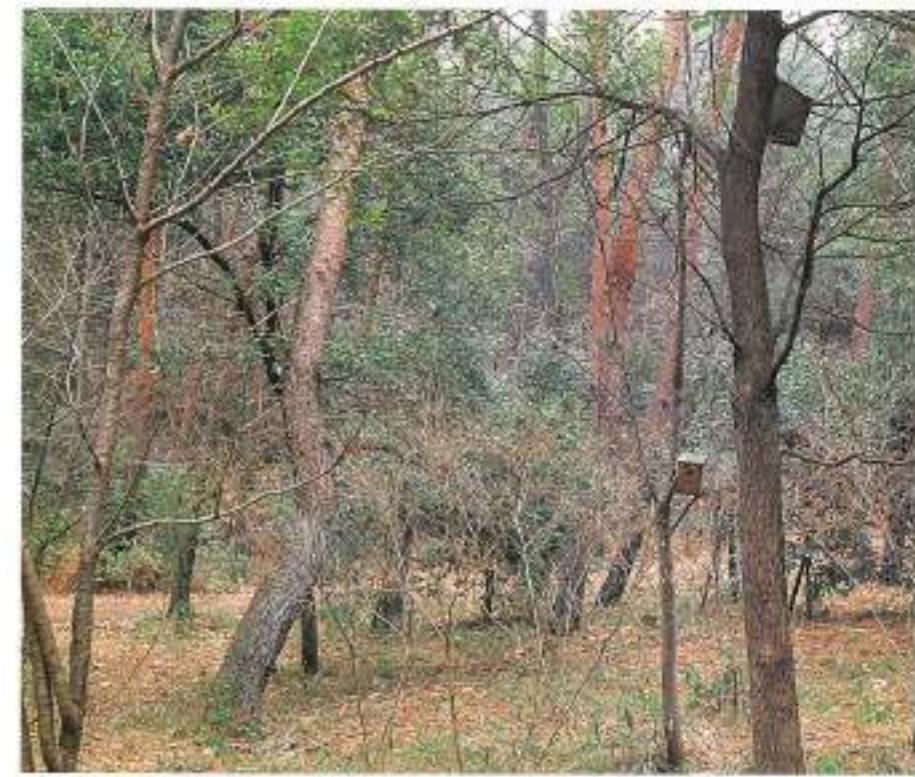
桂川・木津川・宇治川三川合流地



カワセミの生息する天ヶ瀬ダム湖（鳳鳴湖）



カワセミ

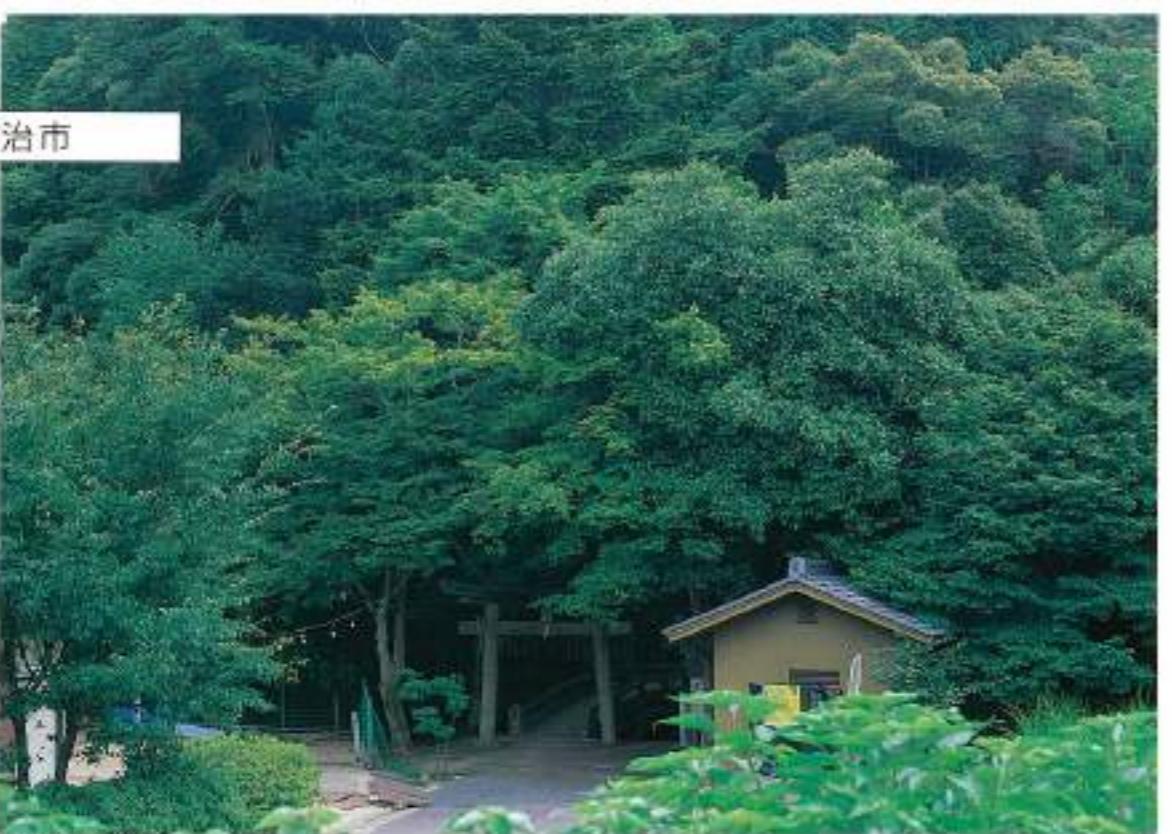


フクロウ、ミミズクの生息する山城総合運動公園野鳥の森及びその周辺域



フクロウ

宇治市



白山神社



東笠原の「カヤ」



興聖寺

宇治市／久御山町



野鳥(コミズク、ケリ等)の生息する巨椋池干拓地

久御山町

Kumiyama



前川堤の桜並木(東一丁目)



ケリ

コミズク



斐葉神社の「クスノキ」

城陽市

Joyo



幽谷の滝



寺田小学校の「クスギ」



本生動物（イタセンバラ、ヌッポン等）の生息する木津川右岸域



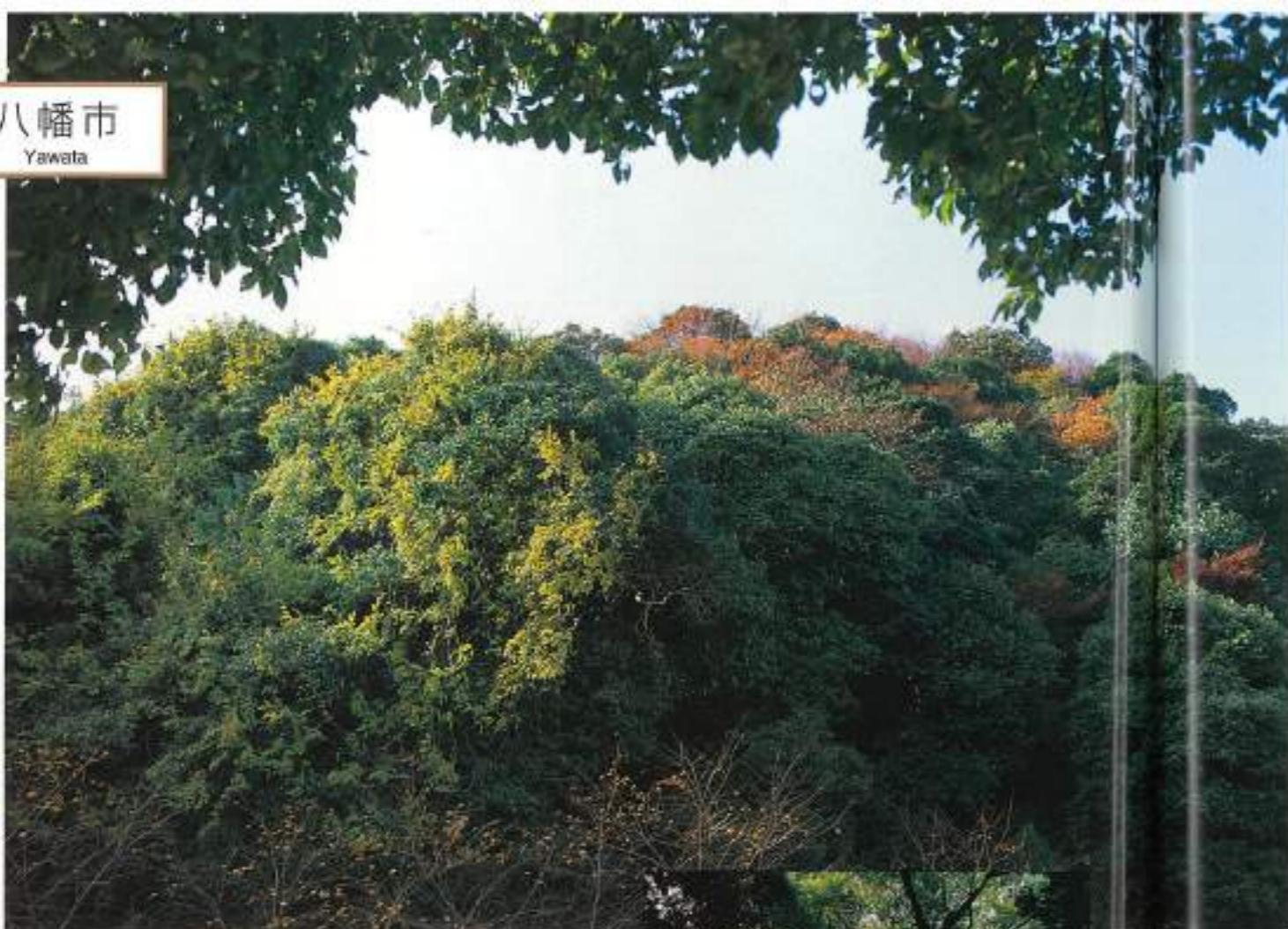
イタセンバラ



水度神社と参道の松並木



八幡市
Yawata



チョウ類（ミスジチョウ、ホシミスジ等）の
生息する男山周辺域



男山

(石清水八幡宮)

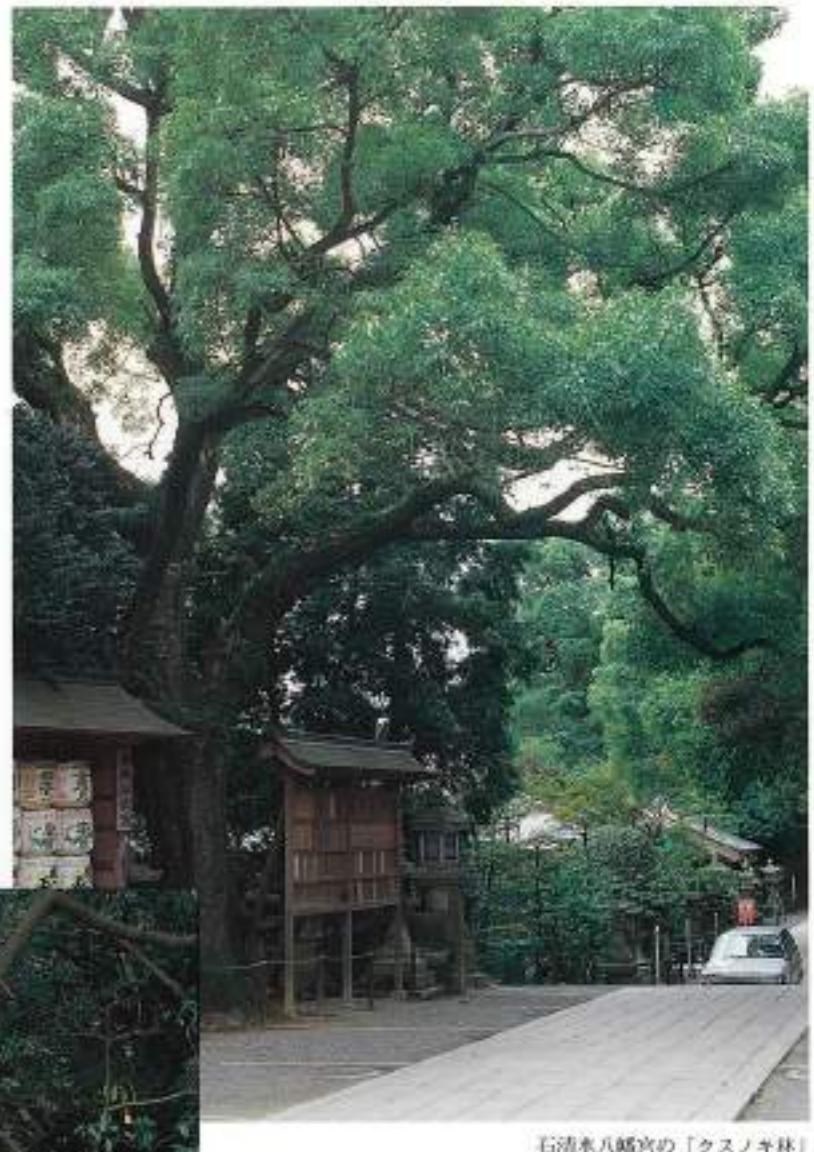
八幡市／城陽市／久御山町



上津屋の道し跡（上津屋橋周辺）



石清水八幡宮の「タブノキ」



石清水八幡宮の「クスノキ林」

京田辺市
Kyotanabe



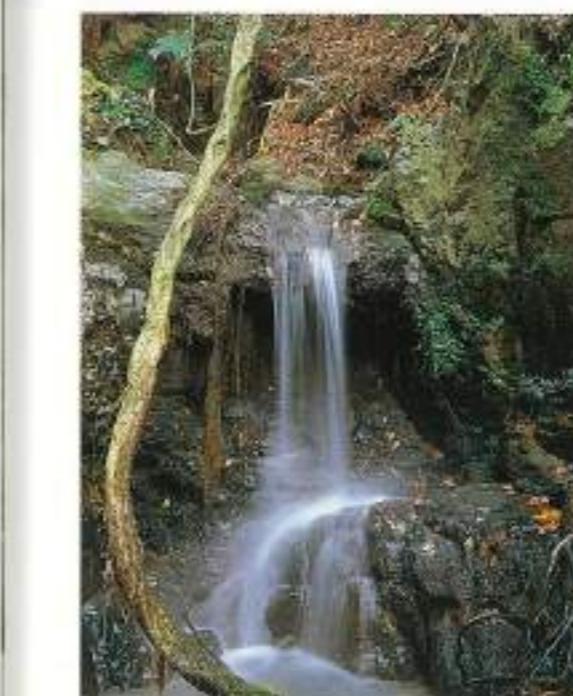
小動物（タヌキ、ウサギ等）や野鳥（キジ、ヒヨドリ等）の生息する甘南錦山



坂岡丘陵



タヌキ



虚空蔵谷の滝



（一の滝）



（二の滝）

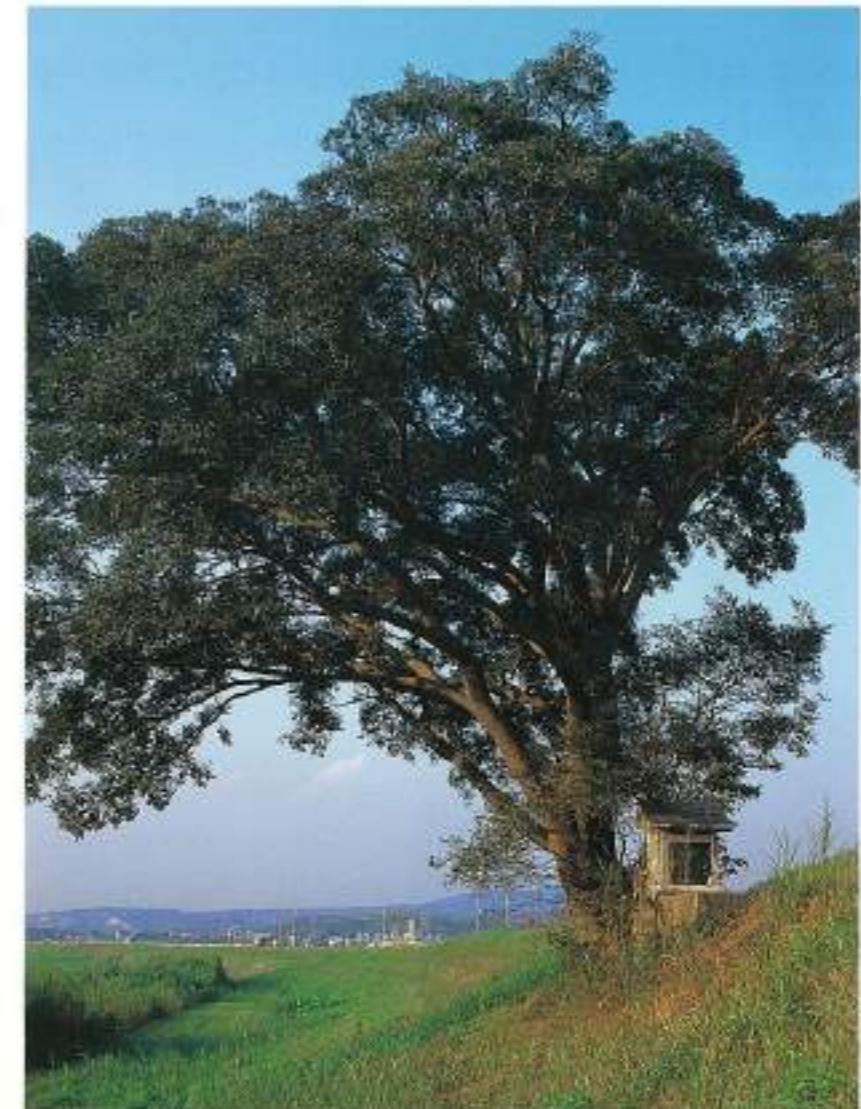


草路城跡（草内の坂岡神社）

井手町
Ide



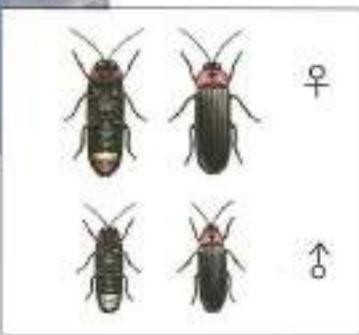
龍王の滝



木津川堤防沿の「国道のエノキ」



高神社



宇治田原町

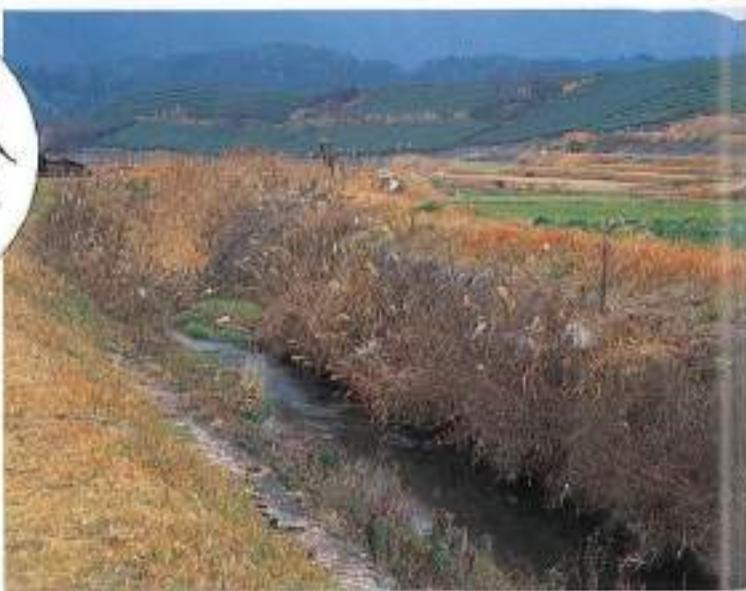
Ujitarawa



押定寺の「焼緑・落葉広葉樹混交林」



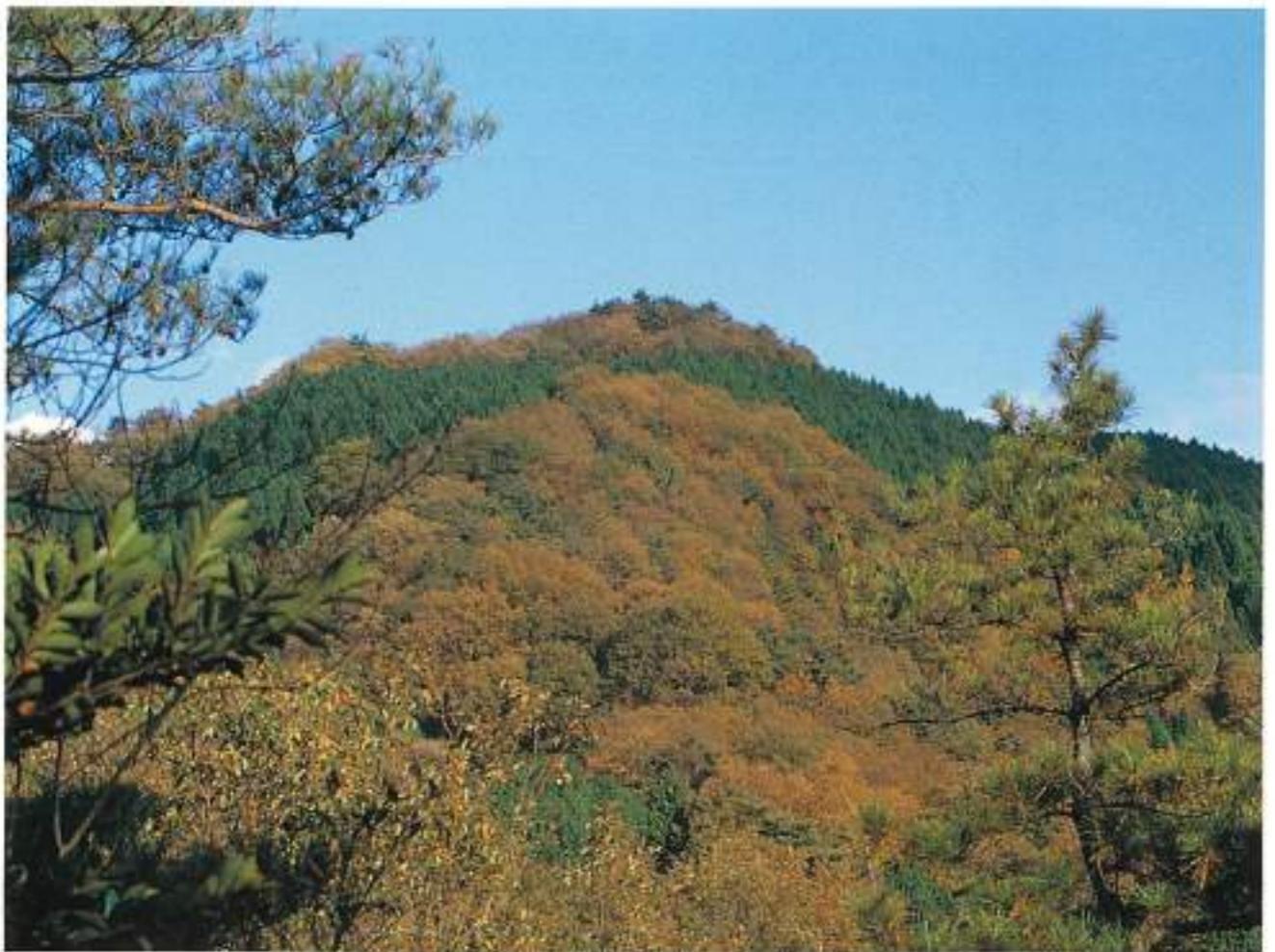
宇治田原の貝化石層



ゲンジボタルの生息する田原川



山城町
Yamashiro



三上山



サワガニの生息する轟子川、不動川等中・上流域

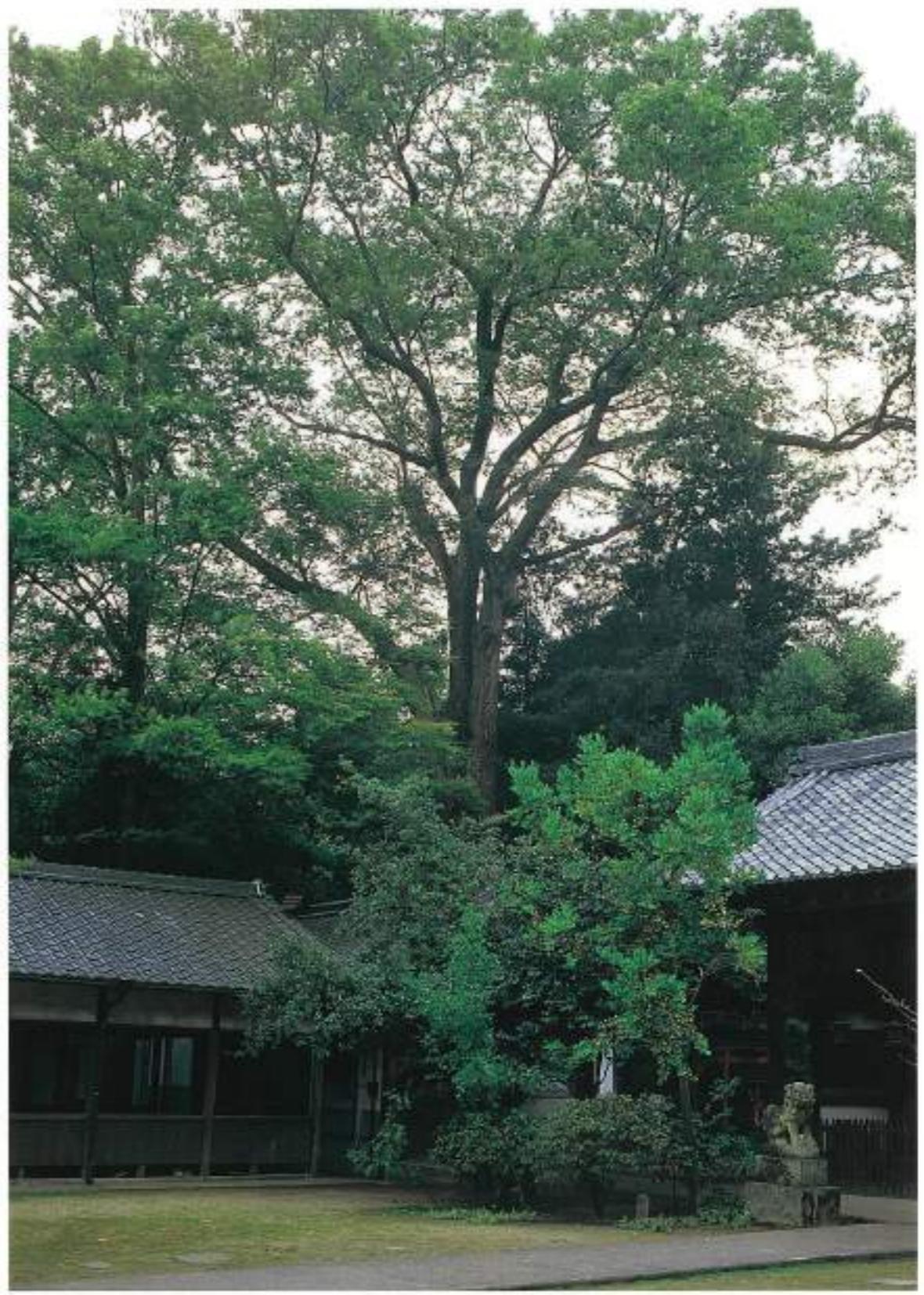


光明台（光明山寺跡）



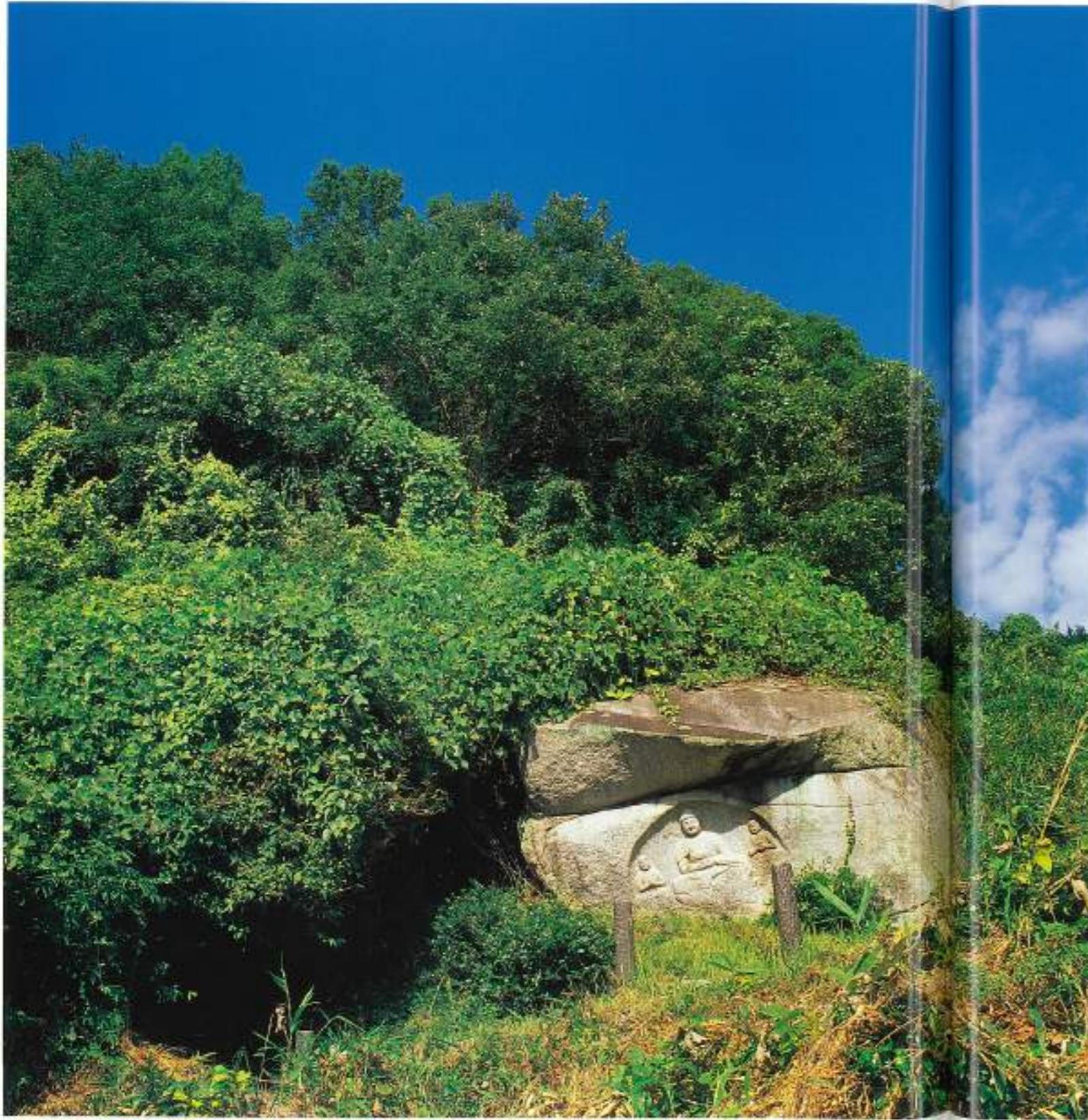
サワガニ

木津町
Kizu



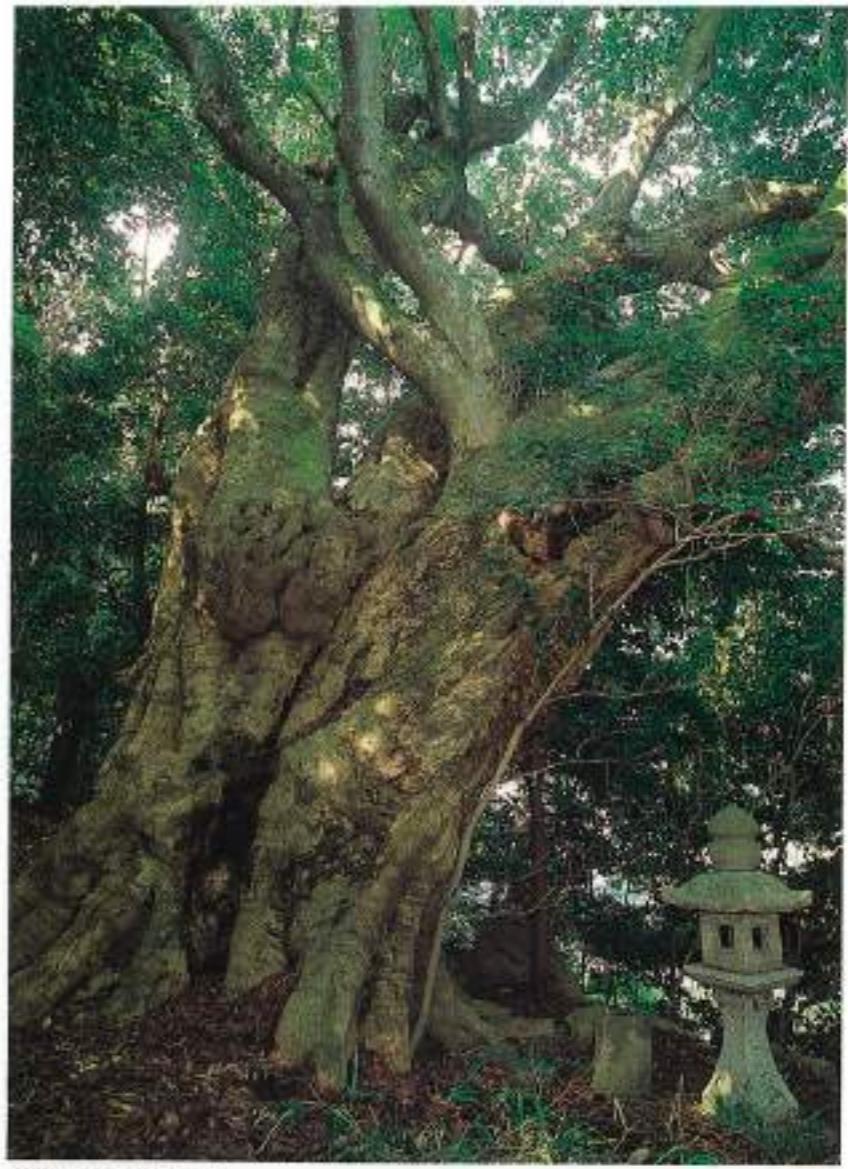
相楽神社の「ケヤキ」

加茂町
Kamo



当尾

(わらい仮)

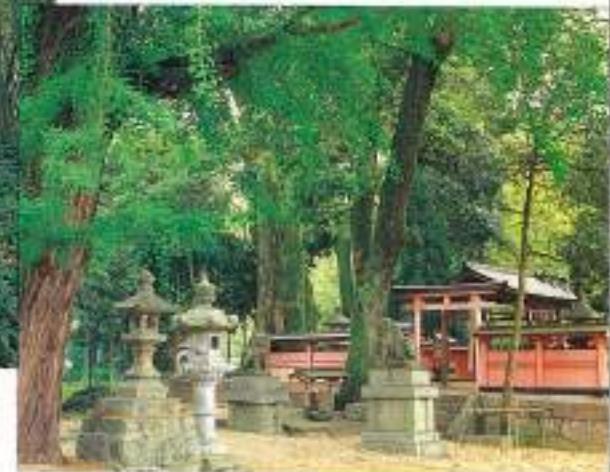


海住山寺の「ヤマモモ」



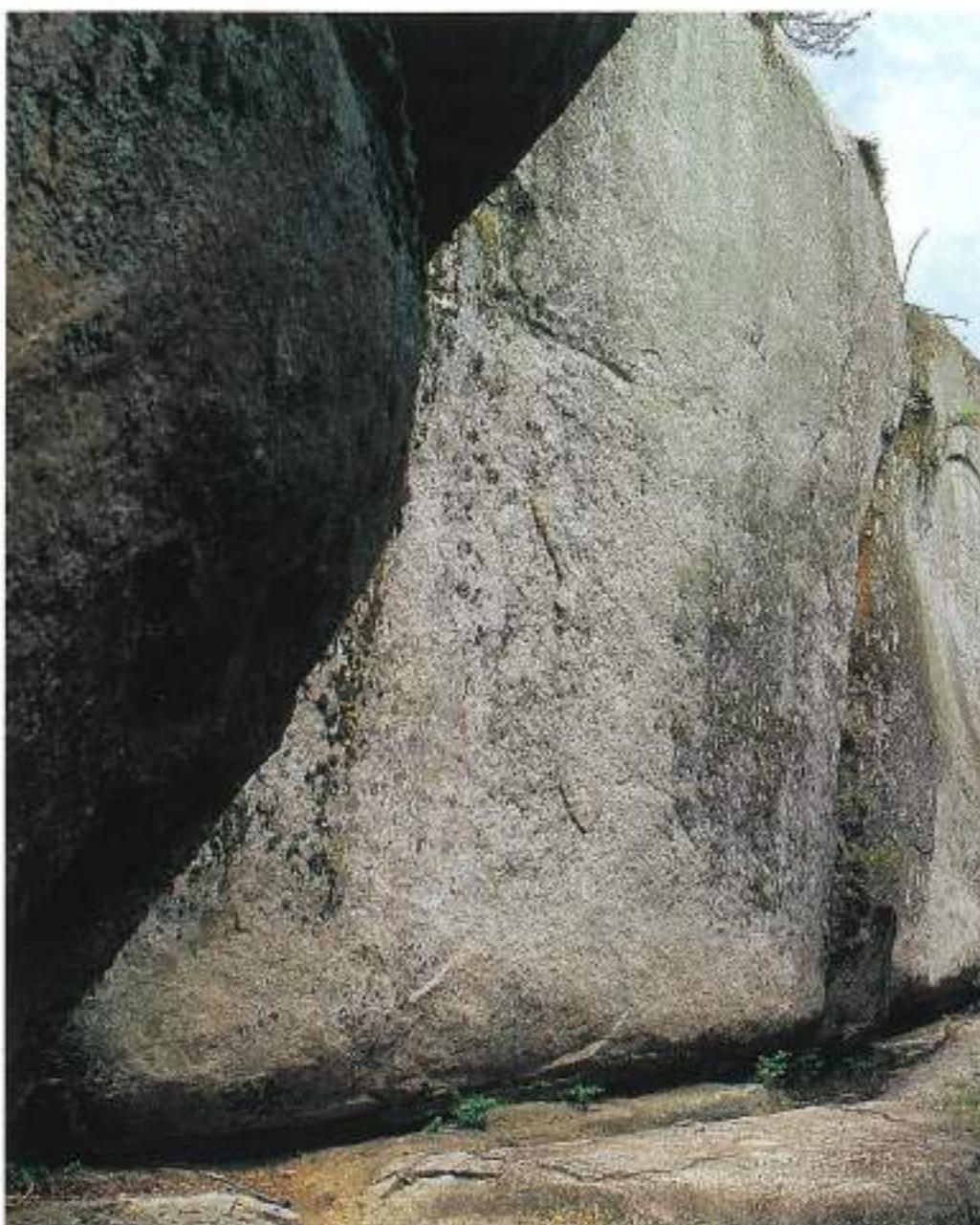
井平尾

(二ツ井)



(春日神社)

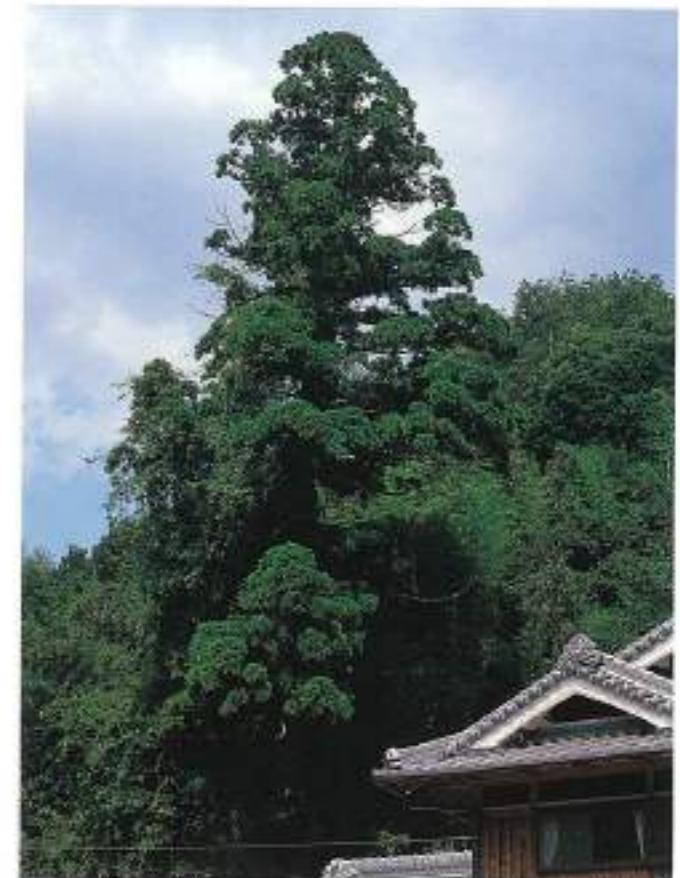
笠置町
Kasagi



笠置山



(御座仏)



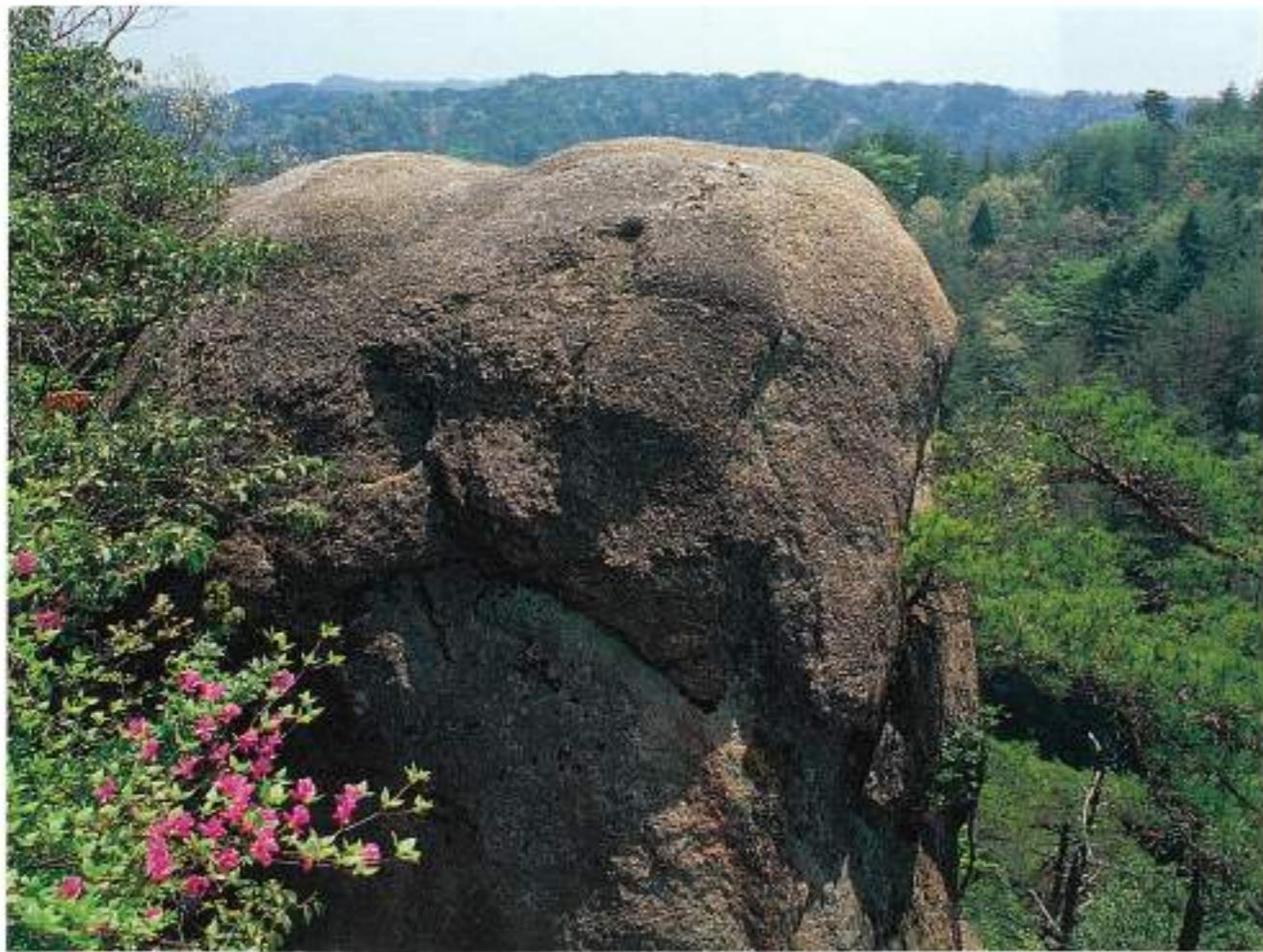
有市「神のスギ」



布目川

和束町

Wazuka



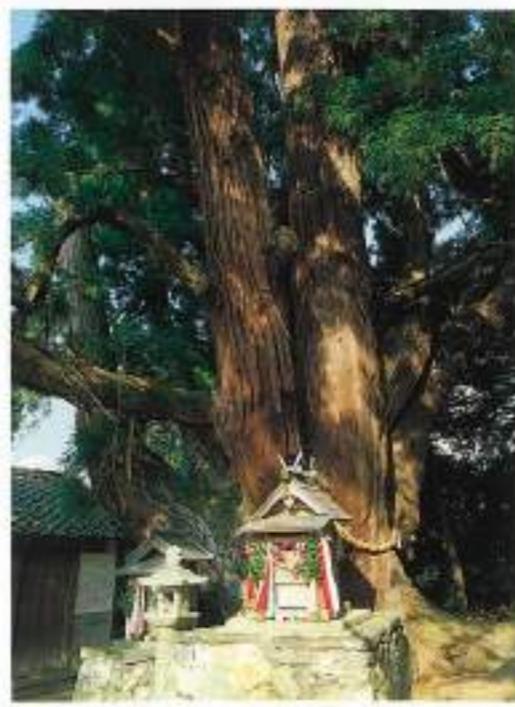
百丈岩



鷲峰山 (御(五)光の滝)



[金閣寺]



八坂神社の「大スギさん」

精華町

Saika



米迎寺の「クスノキ」



折殿神社

南山城村

Minamiyamashiro



夢結城



六所神社



ヤマセミの生息する高山ダム右岸域



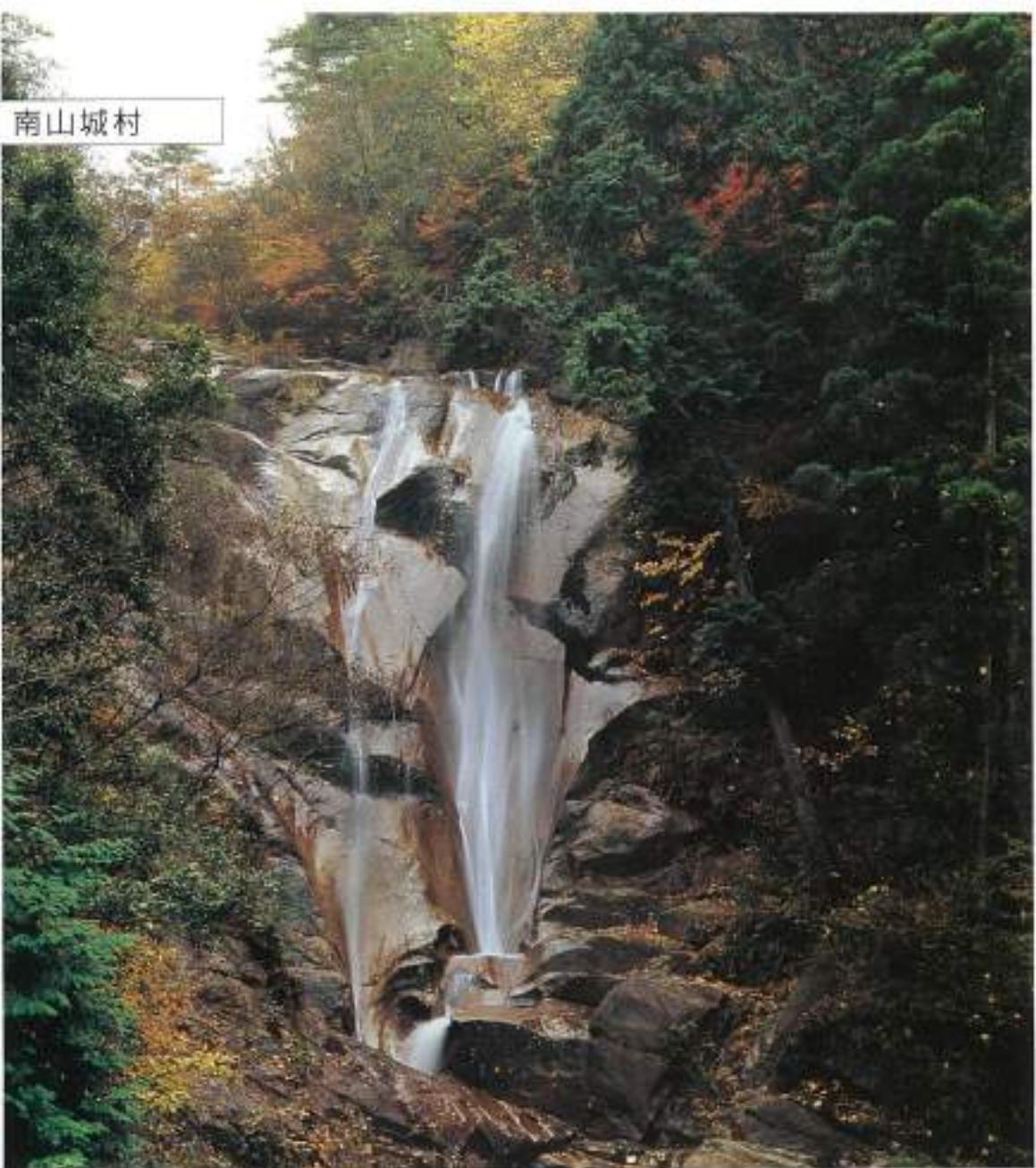
ヤマセミ



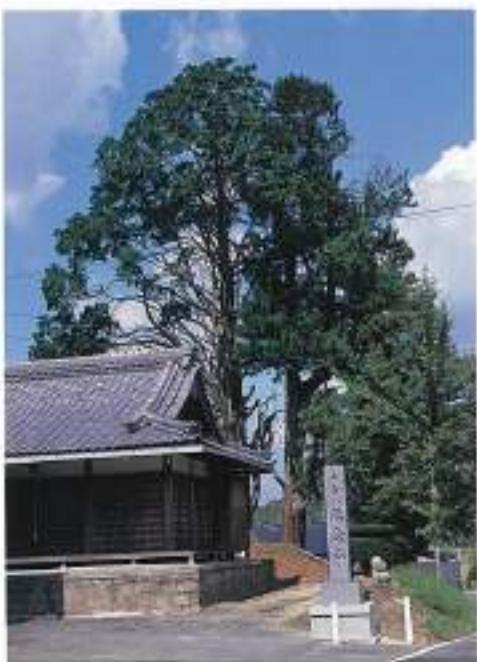
ハッショウトンボ

ハッショウトンボの生息する湿地（田山地区）

南山城村



不動の滝



福常寺の「ヒノキ」

解 説

□は選定部門を示す

■…植物部門

■…動物部門

■…地形・地質部門

■…歴史的自然環境部門

中丹

大江山——■(P27)
■所在地／日出町字宇賀 大江町宇佐性寺・北面ほか

古来、利根に詠まれ、また、酒呑童子や数々の見伝説に彩られた大江山は、山全体が御笠岩やかんらん岩から成り、また、暖温性と冷温性の植物群が交じりあう地帯であるため、豊富な植物相が見られる。最高峰の千ヶ岳から鳩ヶ峰、鬼の岩屋に至るコースは変化に富み、眺めも雄大で、登山をする人々の人気を集めている。

大崩山——■(P27)
■所在地／加悦町宇賀

大崩山は、山中の道沿いに88ヶ所の石仏があり、この中には巨岩も数多くあることで知られている巨佛の山である。

山麓には、与謝野村ゆかりの藤原寺があり、歴史的自然環境が保持されている。

岩尾町

コハクチョウの飛来する阿蘇海——■(P28)
■所在地／岩尾町

天橋立で阿蘇海と分けられた阿蘇海は、波が静かな内海で、冬にはコハクチョウをはじめカモ類、カモ類など多くの鳥類の姿が見られる。地域の人々の手により保護され、鳥類保護区にも指定されており、豊かな自然に恵まれている。

梅原山の「大シイ」——■(P28)

■所在地／岩瀬町字宇木
■所有者（管理者）／石田区
■測定値／幹周：580cm 樹高：25m

岩瀬町宇木の石田地区の山すそ、標高70mの所に生育するスグジイの大木。樹齢1800年を数え、幹周5.8mという巨樹であることから町指定の天然記念物となっている。「梅原山の大シイ」と呼称されて何代にもわたって親しまれ、町の象徴的存在である。

大内跡——■(P28)
■所在地／岩瀬町字宇木

大内跡は大宮町へと至る時で、天橋立を横一文字に眺望できる屈指の屈指地として、古来、多くの文人や墨客に親しまれている。山頂には長命いっぷく名水や一字觀公園等があり、跡の面影を今に残している。

現在も地域の人々による保全活動が行われ、沿道にはサクラ並木やアヤサイ、カエデ等が生息し、四季を通じて人々に親しまれている。

伊根町

津母海白浜の鐘乳石——■(P29)
■所在地／伊根町字津母

丹後半島の北部半島に位置する伊根町津母の通称マナ板御前には安山岩、飛地岩の岩盤が日本海の波浪に浸食されてできた大小無数の海蝕洞があり、独特の海岸美が見られる。海蝕洞内の洞門には、飛地岩中の岩盤石天井下水で溶かされて固まつた20~40cmの鈍石が見られる。

カマヤ海岸——■(P29)
■所在地／伊根町字瀬入

カマヤ海岸は丹後半島北端の断崖絶壁のアス式海岸で、付近の岩は海底が見えるほど水が澄んでいる。崖の中腹を通る丹後半島一周道路からは、この美しい海岸美を見ることできる。

布引の滝——■(P30)
■所在地／伊根町字本庄上

筑島太郎伝説で知られる宇良神社（源氏神社）の情景となる滝を素直に南下する布引の滝は、水量の多いときは落差約100mに達する名瀑である。

岩盤を水流で洗う流れ落ちる姿は遠方からも望むことができ、滝の名は白糸をかけたように美しく流れ落ちる様子から付けられたといわれている。

青島の「シイ林」——■(P31)
■所在地／伊根町字鬼頭小字青島

■所有者（管理者）／鬼頭区、平田区

伊根町の入口に位置する青島、東西1.5km、面積5ha、標高20mのこの斜面には207種の植物が確認されている。現在では木本類88種、草本類94種、シダ類23種、ササ類2種となっており、シイの巨木の大群落が森の歩道を形成している。幹周6~8m級のものが5本あり、4~5m級が21本、3m級が9本。明治31年に急き保護林に指定され、自然林が保全されている。

修福伝説の地（新井崎神社）——■(P31)
■所在地／伊根町字新井小字松川

新井崎には、昔、中禪の修福という人が、秦の始皇帝に命じられて、不老長寿の薬草を探しに旅に出て、滞留した地であると伝えられる。ここ新井一帯は、御崎伝説が発達し、当時の景観を呈している。

岬の周囲は、海陸並んで、その先端に新井崎神社がある。神社は餘羅を祭神とし、地域の人々に親しまれており、海と神社が歴史的自然環境を形成している。

野田川町

オオサンショウウオの生息する岩屋川——■(P32)
■所在地／野田川町字岩屋

岩屋川は、市の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオの生息する清流であり、地域の人々の手によってその潔浄らしい自然環境を保全しようと、保全活動が進められている。

神宮寺の「コウヤマキ」——■(P32)
■所在地／野田川町字石川小字姫路谷

■所有者（管理者）／神宮寺
■測定値／幹周：410cm 樹高：27m

胸高幹径4.1m、樹高27mのコウヤマキの巨木。神宮寺の本堂東南、石垣脇をほどこした飛鳥大明神の前に、杜跡を守護するかのように聳立している。この巨木の歴史的起源は古く、史料によれば1310年頃に近江石山寺の僧が石川神官守として再興して以来、地元では信仰の木としてあがめられてきた。寺の本尊が女性という言い伝えから、例祭ではコウヤマキに手を触れて子宝の恵みを願っている。

う。府の天然記念物に指定されている。

鶴岩寺跡（雪岩公園）——■(P32)
■所在地／野田川町字岩屋小字天王

鶴岩寺跡は、小高い山にあり、中世には「岩屋山」の山号をもち、大勢の僧が修行する寺であつたと考えられている。山頂には磐岩という巨岩があり、そのかたわらには金堂跡の礎石や丹後地方最大の宝鏡臼塔が残っている。

古くから丹後の名所に数えられているタツジの繁殖地で、現在は磐岩公園として豊かな緑が保全され、静かなたたずまいをみせている。

真名井の清水——■(P36)
■所在地／貴船市字公文名・七日市

真名井の清水は、治内川や真倉川の伏流水が、公文名や七日市地区で湧き出しているものといわれる。江戸時代には汲水道と称されて田辺宿場に引かれ、湯の生活用水として利用されていた。

湧水池深10.5m、幅13.5m、深さ0.5m)や180m下流の野水池には、今もこんこんと水が湧き出しており、水路周辺には田園風景が残されている。

青葉山——■(P36)
■所在地／舞鶴市字松尾

青葉山は相模原上の境に位置する標高699mの死火山で、全山が安山岩の溶岩及び角砾岩からなる孤立山塊である。美しい山容から「若狭富士」として人々に親しまれ、南西麓には観音滝や有名な松尾寺がある。7~8月にかけて山脚周囲植物であるオミナエシ科のオオキンレイカの黄色い花が美しく咲き、オムラサキが生息する等豊かな自然が残されている。

福知山市

サケの遡上する由良川——■(P37)
■所在地／福知山市猪崎・下原ほか（音羽越掛川沿）

由良川は、サケの遡上する京都府では数少ない河川であり、地域の人々の誇り得る貴重な自然資源となっている。

天寧寺——■(P37)
■所在地／福知山市字大日

福知山市の北側の山間にある天寧寺は、室町時代（1363年）に創建されたと伝えられる律宗寺院である。今も江戸時代後期に建立された門柱や奥門をはじめ、歴史的遺構が数多く残されている。

境内はシラカシ、トウカエデ、ツバキ等の大木が生育し、周辺は市内でも有数の自然林があり、静寂な環境が保全されている。

長安寺の「英蔵如来御靈木（授乳のイチョウ）

■所在地／福知山市字奥野原
■所有者（管理者）／長安寺
■測定値／幹周：530cm 樹高：22m

金剛院の名遊な歴史とともに育まれてきたカヤの大木。カヤとしては府内唯一の巨木であり、昭和52年に市の天然記念物に認定を受けている。樹齢はおよそ1000年と言われ、市を代表する寺院であるこの寺の生き証人としても貴重な木である。周辺の自然環境とともに生息良好。地元の人々にも信仰対象として、また、シンボルとして親しまれている。

三和町

二瀬川渓流——■(P40)
■所在地／大江町字仙住寺

大原神社——■(P38)
■所在地／三和町字大原小字ウラ山

大原神社は、町並みを一望する山腹にあり、安産、養蚕、五穀豊穣の神として古くから人々の信仰を集めてきた。

境内には本殿や茅葺屋根の詫馬堂が配置され、

歴史的風土が堅持されている。近くには廃屋が保存されている。

霧水溝宮の「モミ」——■(P38)
■所在地／三和町字菟原下小字渓山

霧水溝宮は、伊勢神宮の元宮といわれ、古い歴史を有し、本殿とともに周囲の森林も深い間接的印象とされた。

歴史的自然環境保全地域である天忍戸神社周辺とともに元伊勢三社として豊かな自然林が現在も大切に保全されている。

元伊勢三社（鹽大神社、鹽受大神社、大岩戸神社）——■(P40)
■所在地／大江町字内室・天田内・仙住寺

鹽大神社（元伊勢内宮）と鹽受大神社（元伊勢外宮）は、伊勢神宮の元宮といわれ、古い歴史を有し、本殿とともに周囲の森林も深い間接的印象とされた。

歴史的自然環境保全地域である天忍戸神社周辺とともに元伊勢三社として豊かな自然林が現在も大切に保全されている。

天岩戸神社の「暖温帶植物群」——■(P41)
■所在地／大江町字仙住寺日向ヶ森

元伊勢の森林であることから人の入山がなく、自然のままに残されているという大江町の森林。ここは暖温帯から温帯への移行帶であり、暖温帶植物の比翼又は北界に近い植物が数々生育している。また、暖温・温帯の入り混じった植物群は貴重で、岩戸山京都府歴史的自然環境保全地域に指定されている。

南有路の「才ノ木のフジ」——■(P41)
■所在地／大江町字南有路古地

■所有者（管理者）／南有路三小屋
■測定値／根茎幹周：180cm 樹大幹周：3m

一边約8m四方の樅にからまる大小6株のフジ。四方に枝を伸ばして5月の開花時期にはたわわな花房を盛り、壯觀を呈する。この大江町南有路の「才ノ木のフジ」と呼び親しまれているフジは、古くから信仰・觀光の対象になっていたり、府の天然記念物の指定を受けている。毎年5月に例祭がとり行われて観光シーズンはピークとなり、数多くの人々によって青紫色の見事な花姿が愛でられている。

シジミチョウ類（エゾミドリシジミ、フジミドリシジミ、ウラクロシジミ）の生息する大江山——■(P42)
■所在地／大江町字仙住寺ほか

ミズナラ原生林、ブナ原生林等の所在する豊かな自然を有する大江山は、シジミチョウ類の幼虫の食糧の生息地でもあり、その生息地として貴重である。

綾部市

光明寺の「幻の大トチ」——■(P43)
■所在地／綾部市吉津合町大ヒシリ

■所有者（管理者）／光明寺
■測定値／幹周：1,040cm 根高：23m

綾部市の君尾山山腹にある光明寺は、森林浴のための休憩施設や公園、キャンプ場として広く市民に親しまれている。ここには府の天然記念物の指定を受けるトチノキが生息している。樹幹は1000~2000年とも言われ、白沢郡選定保全基準調査（巨樹・巨木林調査）では主幹が10.4m、樹高は23mもあった。樹幹部で直径第1位の巨木とされている。林道から山道にそれてしばらく進み、急斜面のけの道を下らないとその姿を見ることができないところから、「幻」と形容されたのだろうか。

美山町

由良川上流（美山川）——■圖(P61)

■所在地／美山町大学芦生ほか
(芦生原生林～大野ダム)

由良川は芦生原生林を源流域とし、上流は発達した河岸段丘や自然堤防が良く残り、雨附河川の面影を今に残している流域である。岡界にはアシやネコヤナギ等が群生し、ヤマメやカジカが生息する豊かな自然が残されている。

鳥類（ヤマガラ、アカゲラ等）、魚類（オヤニラミ等）の生息する由良川源流域——■圖(P61)

■所在地／美山町大学芦生ほか (知井地区)・安根ほか (平屋地区)

由良川源流域は、多種類の鳥類や約40の天然記念物に登録されているオヤニラミなどの類似が生息する自然豊かな流域である。

大原神社の「ケヤキ」——■圖(P62)

■所在地／美山町大学城原小字中野田

■所有者（管理者）／大原神社

■測定値／幹周：780cm 高さ：12.6m

樹齢約600年超の古木がある。大原神社近くに生育し、古くから神木として地元の人々にあがめられてきた。樹齢300年以上の木が奥山でなく、経済的に生育するのは珍しく、神体の自覚となっている。

ツキノワグマ、ニホンカモシカ、オオタカ、クマタカ等の生息する芦生原生林——■圖(P62)

■所在地／美山町大学芦生・佐々木・田畠

芦生原生林は、今も広い地域にわたって人間の手が入ることなく原生林の姿を守り続けており、多種の植物の宝庫として、学術的にも貴重な地域である。

御巾山——■圖(P63)

■所在地／美山町大学福能 緑町市役所前町

御巾山は、美山町と綾部市と鴨川町名田庄村にまたがる標高871mの山である。弘法大師の附ごいの折よりも行われた古くからの水の守り神で、水不足のおりには近所から寄宿する人があとを絶たない。毎年4月には山麓の3市町村から多くの人が参拝し、共同で祭をおこなっている。

山中には府内有数のブナ林、シャクナゲの古木等が生育し、カモシカ等の大形哺乳類も生息する等貴重な自然を有している。

オオサンショウウオ、カジカガエル等の生息する鶴野川流域——■圖(P63)

■所在地／美山町大学鶴ヶ岡ほか (鶴ヶ岡地区)

鶴野川は源の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオ、源流に生息するカジカガエル等貴重な動植物が生息している流域である。

龜岡市

鶴野田の蘿青石坂晶——■圖(P64)

■所在地／龜岡市鶴野田町

蘿青石坂晶とは粘板岩が花崗岩との接触帶に近いところにできた変成鉱物の一一種である蘿青石が変質して、蘿青石と隕石の集合体になったもの

で、断面が六角形の花崗岩をしているので、桜石とも言われる。丹波野町の桜花地区のものは特に結晶の状態が良い。「後天荷苔」(頃古寺)の裏山の天狗山のものは、古くから有名で、国の天然記念物に指定されている。

老ノ坂跡（山陰道）——■圖(P64)

■所在地／鶴岡市藤岡王子

鶴岡市から京都市西京区へ通じる山陰道は、古代から近世にわたり山陰道と側面をむすぶ幹線道であった。中でも、老ノ坂跡は、ツバキ、コナラなどがうっそうと繁るなかに因襲の道標や西行童子の首塚、茶屋跡などがあり、昔から多くの人々が行き交った山陰の御用街道で残っている。

歴史の変遷にはその名がしばしば登場する場所であり、歴史的自然環境を保証している。

平の沢公園の「オニバス」——■圖(P65)

■所在地／龜岡市馬鹿池平野澤中池及び下池

■所有者（管理者）／龜岡市

全國的にも數少ないオニバスの自生地として著名な龜岡市の平の沢公園。京都府自然観察路の一つであり、野鳥の宝庫としても知られている。上池、中池、下池という池はもともと農業用利水のための溜め池。中池と下池にはオニバスのほかヒシやコオホネなどの水生植物も繁殖している。

出雲大神宮——■圖(P66)

■所在地／龜岡市千歳町千歳出雲

保津駅——■圖(P68)

■所在地／龜岡市保津町・後町 京都市右京区保津

龜岡市保津橋付近より右京区嵐山渡月橋付近に

至る保津川沿いの峡谷である保津峡。長年にわたる河岸の浸食作用により大峡谷になったもので、高さ25mもの大岩壁や奇石を纏めたような見事な断崖チャートの奇勝が見られ、6月にはイワツヅジの可憐な花が咲く。約13kmの急流奇岩が連続する中を船で下る「保津川下り」は有名で、一帯は府立自然公園になっている。

國分寺の「乳イチヨウ」——■圖(P68)

■所在地／鶴岡市千歳町国分久保

■所有者（管理者）／國分寺

■測定値／幹周：418cm 高さ：81m

牛山川、三郎ヶ岳から西へゆるやかに延びる龜岡市役所。北側に七谷川を挟むこの段丘中央部に建つ国分寺の境内地にイチヨウが自生している。気根ができるところから「乳イチヨウ」と呼ばれて古くから女性の信頼が厚く、また葉に実を付けるものと認められることから「お葉付イチヨウ」とも称される。周辺は丹波國分寺跡として国の史跡指定を受け、イチヨウは市の天然記念物に指定されている。

與熊神社の「杜姫林」——■圖(P68)

■所在地／龜岡市鶴野町寺鎧谷

■所有者（管理者）／與熊神社

與熊神社は、地域の祖土神として多くの参詣者が訪れる。龍ヶ尾山西麓の丘陵先端部にあり、古来、神社の祭事として保護されてきたといふ林が広がっている。文化財保護全般地区となっており、市域における最も古い自然林である。樹林の中には巨木が多く存在し、主なものはスダジイ(幹周8m)、アカガシ(幹周4.6m)、スギ(幹周3m)などがある。

アユモドキの生息する灌漑用水路（保津地区）——■圖(P67)

■所在地／龜岡市保津町

国の天然記念物・巨頭保津御舟に指定されているが、淀川水系のアユモドキについては分布・個体数が微減しており、本地区的水路は貴重な水域となっている。

オオサンショウウオの生息する犬飼川流域——■圖(P67)

■所在地／龜岡市曾我郷町

犬飼川流域の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオが生息し、底泥等を行っている貴重な流域である。

ホトケドジョウの生息する小溝（蔵田野地区）——■圖(P67)

■所在地／龜岡市蔵田野町

雨水が多く、流れがゆるやかで砂質であり、水深の浅い本地区的小溝は、生息地が限られ、希少価値の高いホトケドジョウの生息地として貴重な地域となっている。

ムササビの生息する愛宕神社の森——■圖(P67)

■所在地／龜岡市子守町

愛宕神社の森は、地域の人々に親しまれているムササビの生息する貴重な森である。

保津駅——■圖(P68)

■所在地／龜岡市保津町・後町 京都市右京区保津

龜岡市保津橋付近より右京区嵐山渡月橋付近に

至る保津川沿いの峡谷である保津峡。長年にわたる河岸の浸食作用により大峡谷になったもので、高さ25mもの大岩壁や奇石を纏めたような見事な断崖チャートの奇勝が見られ、6月にはイワツヅジの可憐な花が咲く。約13kmの急流奇岩が連続する中を船で下る「保津川下り」は有名で、一帯は府立自然公園になっている。

京見峠道「切削の断崖チャートの複曲」——■圖(P71)

■所在地／京都市北区大堀

北区京ヶ峰から杉坂に至る途中にある京見峠では、道沿いに露出した大岩壁に見事な断崖チャートの地層のたわみが見られる。含まれている酸化石（コノドント）や放射虫から中生代三疊紀からジュラ紀中期に形成されたと考えられている。

札の森——■圖(P72)

■所在地／京都市左京区下鴨長川町

札の森は、箕面川と高野川の合流点の下鴨神社境内に広がる約12haの森で、かつてここ一帯が山城原野であった頃の植生が今に残る森といわれている。

ケヤキ、エノキやムクノキ等の落葉広葉樹を中心とした複数の樹林の自然林で、ヒサマツミドリシジミの幼虫の食草であるウラジロガシも数多く見られ、その生息地として貴重な地域である。

チョウ類（ギフチョウ、オオムラサキ）の生息する岩倉一帯——■圖(P75)

■所在地／京都市左京区

オオムラサキは、クリ、ミズナラを中心とした複数の樹林の自然林で、ヒサマツミドリシジミの幼虫の食草であるウラジロガシも数多く見られ、その生息地として貴重な地域である。

阿弥陀寺の「古知谷のカエデ」——■圖(P73)

■所在地／京都市左京区大原古知谷町

■所有者（管理者）／阿弥陀寺

■測定値／幹周：272cm 高さ：18m

治水の沿岸に生育する孤立木として知られる阿弥陀寺のカエデ。植物名をイロハカエデ、又はタカオカエデといい、「古知谷のカエデ」の名で親しまれてきた。淀川に近く砂礫質と樹氷に富んだ土壤に適まれ、周辺にはリュウメンシング、ヤマアザサイなどが生息するやかな樹林地帯で、市内の天然記念物の指定を受けるとともに、巨樹・名木として登録されている。

キマダラルリツバメ、ゲンジボタルの生息する疏水（哲学の道）——■圖(P75)

■所在地／京都市左京区

疏水（哲学の道）一帯は、その筋走りにリブトシリシアゲアリに生育されるなど特異な生態を有していることで知られるキマダラルリツバメの生息地で、また、市内の天然記念物に登録されているゲンジボタルの生息地でもある。都市の中の白鳥として貴重な地域である。

ユリカモメの飛来する鴨川流域——■圖(P70)

■所在地／京都市左京区花園東町

鴨川にユリカモメが飛来飛び交う姿は大変美しい。京都の冬の風物詩となっている。

金閣寺の「イテイガシ」——■圖(P70)

■所在地／京都市北区金閣寺町

■所有者（管理者）／金閣寺

■測定値／幹周：451cm 高さ：20m

これまでに金閣寺を訪れる数多くの人々を見てきたイテイガシ。寺周辺にある圓滿院の中でも高木として貴重である。地表はスギゴケで覆われた平地地で、アカマツやカエデなどに囲まれている。土壌は濃緑の森林褐色土で、巨樹・名木として登録されている。

青蓮院の「クスノキ」——■圖(P74)

■所在地／京都市東山区草薙口三条坊町

■所有者（管理者）／青蓮院

■測定値／幹周：587cm 高さ：24m

青蓮院の「クスノキ」は、北門の南側の傾斜地上にあり、周囲の地表は苔で覆われている。数百年的樹齢を保って、当院の景觀に溶け込まながら今も時代のぬくもりを感じさせて憩々と枝葉を茂らせている。市内の天然記念物に指定されるとともに、巨樹・名木として登録されている。土壌は森林褐色土で、表土の苔は、クスノキの生育を助けている。

モリアオガエル、ムカシトンボの生息する北山（鞍馬、貴船一帯）——■圖(P74)

■所在地／京都市左京区

宗像神社の境内のクスノキのウロの中にアオバズクが営巣しており、社殿は猛禽類の生息する都心の貴重な森である。

「京見峠道」切削の断崖チャートの複曲——■圖(P71)

■所在地／京都市北区大堀

北区京ヶ峰から杉坂に至る途中にある京見峠では、道沿いに露出した大岩壁に見事な断崖チャートの地層のたわみが見られる。含まれている酸化石（コノドント）や放射虫から中生代三疊紀からジュラ紀中期に形成されたと考えられている。

ツバメの野営する向島銀月橋下流（宇治川）左岸のヨシ原——■圖(P74)

■所在地／京都市伏見区

大規模なヨシ原は毎年ツバメが南方の国へ帰っていくときの渡りの基地となっており、全国的にも知られている貴重なものである。

ヒサマツミドリシジミの生息する久多オグロ坂——■圖(P75)

■所在地／京都市左京区

オグロ坂一帯は、クリ、ミズナラを中心とした複数の樹林の自然林で、ヒサマツミドリシジミの幼虫の食草であるウラジロガシも数多く見られ、その生息地として貴重な地域である。

チョウ類（ギフチョウ、オオムラサキ）の生息する岩倉一帯——■圖(P75)

■所在地／京都市左京区

岩倉一帯は、ギフチョウ（治政統天然記念物）の付近の食草であるカンアオイ類の自生地であり、國際であるオオムラサキの生息地としても貴重な地域である。

キマダラルリツバメ、ゲンジボタルの生息する疏水（哲学の道）——■圖(P75)

■所在地／京都市左京区

疏水（哲学の道）一帯は、その筋走りにリブトシリシアゲアリに生育されるなど特異な生態を有していることで知られるキマダラルリツバメの生息地で、また、市内の天然記念物に登録されているゲンジボタルの生息地でもある。都市の中の白鳥として貴重な地域である。

鶴嶺山——■圖(P76)

</div

宇治田原町

極定寺——■(P98)

極定寺の「常緑・落葉混生林」——■(P98)

■所在地／宇治田原町大字極定寺

極定寺は、平安中期に創建された古刹である。おおらかで優雅な姿をせる山門や五輪塔、十一面觀音立像など貴重な歴史的遺産にふれることができる。

寺の背後の山はコナラ、アラカシ等の密林・落葉広葉樹の混交林で、両側山麓の自然景観がよく保存されている植物群落として知られ、府歴史的自然環境保全地域に指定されている。

ゲンジボタルの生息する田原川——■(P98)

■所在地／宇治田原町大字岩山ほか

田原川沿いにはゲンジボタルが生息し、地域の人々に親しまれている貴重な自然である。

宇治田原の貝化石層——■(P98)

■所在地／宇治田原町大字奥山田・瀬屋谷

宇治田原町の奥山田から瀬屋谷にかけての地域は、かつて海であったところで、約1500万年前(新生代第三紀中新世)にできた厚さ約20mの地層(貝化石層)は主に砂岩、泥岩、礫岩から成り、ルグレーバマグリ、アジビオ、カガミガイ、カキなどの貝化石やブナ、ヤマモモ等の樹木化石が含まれている。

笠置町

光明仙(光明山寺跡)——■(P98)

■所在地／山城町大字宇治田原

光明山寺跡は、町の東部の天神川上流の山あいの光明山にある。光明山寺は平安時代に開かれたと推測され、鎌倉時代には、奈良東大寺の重要な末寺であった。

寺の跡地は、山中に開けた平地で、水田となっており、周囲の竹林とあいまって、静かな環境が保持されている。

木津町

相楽神社——■(P99)

■所在地／木津町大字和漢小字清水

相楽神社の「ケヤキ」——■(P99)

■所有者／管理者／相楽神社

■測定値／幹周：370cm 樹高：27m

相楽神社は、正月に豆漿、糸引、餅玉、餡花、水飴等の普段作を頒う儀式が行われ、身近な氏神様として親しまれている。

境内は重要文化財である本殿などの歴史的建造物がケヤキやカシ、シイ等の大木や古木に囲まれ、都市の温む木津町域において豊かな自然環境が保持されている。

ケヤキの巨木は神木として古くから、地域の人々の信仰を秘めている。

地名の由来となった街道沿いの私道大切ゆかりの、櫻の井・柏の井と呼ばれる上下二つの清泉「二ヶ井」をはじめ、大筋の河を切った深切石など水とのつながりが深い。奥の傍らには、アカシの古木が生育し、付近には「手の森」と呼ばれた春日神社の森が往時の姿を今に伝えている。

笠置町

笠置山——■(P102)

■所在地／笠置町大字笠置

笠置山は、木津川に接し、全山岩峰巣から成る山中には奇岩・怪石が多数あり、古くからの修驗道場、信仰の山として知られている。

笠置寺や巨岩に刻まれた唐壁仏、南北朝時代の元弘の役の後醍醐天皇の行在所跡など歴史的遺産を残している。山城はアラカシやクヌギ、アオキ等が生育し、府立笠置山自然公園として保全されている。

有市町の「神のスギ」——■(P103)

■所在地／笠置町大字有市小字櫛川口

■所有者／管理者／慈樂寺

■測定値／幹周：620cm 樹高：40m

大らかな自然に包まれる笠置町の一画に立つスギの木は、即ち一の巨木として地域住民から「神のスギ」と呼ばれ親しまれている。

布目川——■(P103)

■所在地／笠置町大字飛鳥路

源を奈良県に発し、笠置町内で木津川に合流する布目川は、飛鳥路内では岩の間に曲線を描きながら流れれる清流となり。両岸の山々は四季折々の美しい彩りを見せることから南城は、町道定の他のハイキングコースとしても広く知られている。

和束町

百丈岩——■(P104)

■所在地／和束町大字御前

町の東部、大小の岩がいくつもそびえ立つ「鍵食谷」と呼ばれる美しい峡谷にある断崖の巨岩である百丈岩は、岩の上がちょうど8畳程の広さがあることから別名を「八帖岩」とも呼ばれ、地域の人々に親しまれている。近くにある大智寺の開祖大智院がこの岩の上で100日間の施押修行をされたと伝えられている。

鶴跡山——■(P104)

■所在地／和束町大字原山

鶴跡山は、役小角によって山頂に創建されたと伝えられる金剛寺を中心に、古くからの山古羅場として自然が保護されている。

東斜面は、奇岩・怪石が多く岩場として開かれ、アカマツ林、落葉広葉樹林の侵れた天然林が広がっている。山頂一帯及び行場は、府歴史的自然環境保全地域に指定されている。

加茂町

当尾——■(P100)

■所在地／加茂町大字西少・若原

加茂町の唐船の奈良市と境を接する当尾地区は、平安時代には「小田原」と呼ばれ、南都興福寺の別業として多くの修行僧が宿を結んでいた。

おりしも盛んであった淨土信仰を反映して、淨瑠璃寺の庭園は自然とみごとに融合した淨土世界を作り出している。うっとうとした木立に溶け込むように隠つ岩船寺の三重塔や、古道のそこそこに刻まれた石仏の優しさは、訪れる人々を和ませる。

ここでは歴史的遺産と自然環境が一体化になり、周辺は、府歴史的自然環境保全地域に指定されている。

海住山寺の「ヤマモモ」——■(P101)

■所在地／加茂町大字御前小字海住山

■所有者／管理者／海住山寺

■測定値／幹周：560cm 樹高：18m

海住山寺に根を張るヤマモモ。境内の山林に生育する大木の中でもとりわけ大きく、枝の一部が本坊の庭に張り出すほどで、訪れる人の目を引いている。自然環境保全基礎調査(巨樹・巨木林調査)における府内最大のヤマモモである。

井平尾——■(P101)

■所在地／和束町大字井平尾

井平尾は「井ノ平」とも呼ばれ、和束川が木津川に合流する付近をさす。盆地の西には奥山田があり、山腰が明る景勝を呈している。古来、奈良から伊賀・伊勢方面を結ぶ街道と和束・伊勢方面へ抜ける街道の分岐点としても栄えた。

八坂神社の「大スギさん」——■(P104)

■所在地／和束町大字中字宇喜谷

■所有者／管理者／八坂神社

■測定値／幹周：1,300cm 樹高：25m

「祇園さん」又は「大スギさん」の名で呼ばれる八坂神社のスギの木は、神殿の後方に生育する幹周13mにも及ぶ巨木である。樹齢1000年とも伝えられ、高く伸びた幹や枝は座々の階層にみわられたものの、今なおたくましく生育している。府指定の天然記念物でもあるこのスギは、地域のけり神として崇拝されており、町の象徴的存在でもある。毎年7月7日の祭日には盛大な例祭が行われ、歳末には地区的の隣組が神社とともにしめ縄を取り替えて来る年を祝う行事が行われている。

精華町

菜迎寺の「クスノキ」——■(P105)

■所在地／精華町大字植田小字南六ノ坪

■所有者／管理者／菜迎寺

■測定値／幹周：480cm 樹高：10m

菜迎寺のクスノキは丘陵地帯の奥に生育し、樹齢は不明だが幹周4.6mという巨木である。寺のシンボル的存在であり、ここを訪れる住民に古くから愛されてきた。

新殿神社——■(P105)

■所在地／精華町大字山田小字医王子

新殿神社は、木津川の支流山田川の北方で、相楽郡西部のなだらかな丘陵地の東端に位置し、室町時代に建立された木造をもつ、地域の氏神である。

シイやカシ等からなるこんもりとした常緑広葉樹の森の中の参道を進むと、本殿や重要文化財に指定されている十三重の石塔が静かに行んでいる。

南山城村

夢狂狹——■(P106)

■所在地／南山城村大字田山

夢狂狹は、木津川と名栗川の合流地点の峡谷で、深い谷の中に静かによこたわる深淵である。ここには平安時代の大和國司統之丞と名張郡司の娘夢姫の恋愛物語が伝えられ、夢狂狹の名も二人の名にちなんで付けられたといわれている。

六所神社——■(P107)

■所在地／南山城村大字野原小字開原

六所神社は、本殿や脇社が府の文化財に登録されている。境内の植物の質はスギ、ヒノキ等の針葉樹を中心とした森である。

うっとうした自然と建物が調和一体となっており、古くから地域の人々の信仰と自然への深い愛情で守られてきたことをうかがわせる。

ヤマセミの生息する高山ダム右岸堤

■所在地／南山城村大字田山

高山ダム右岸堤は、豊かな自然に囲まれ、山奥あるいは開拓にしかいないと言われるヤマセミの生息地として貴重な自然が保全されている。

相 楽

山城町

三上山——■(P98)

■所在地／山城町大字神童子

三上山は町の東部、サワガニの生息する鳴子川の源頭域であり、町内で最も自然の豊かな山である。地質的には風化花崗岩からなり、半溶湖まで森林の伐採等により大量の土砂の流出があり、山は荒廃していたが、耐久工事や緑化が進められ、現在の山容を呈している。

サワガニの生息する鳴子川、不動川南中・上流域——■(P98)

■所在地／山城町大字神田・平尾・神童子

今昔物語に出てくる「蟹の恩返し」で有名な蟹洞寺に見られるように、古くからこの地にはサワガニが生息し、地底の人々に親しまれ、流域は貴重な自然として保全されている。

ハッショウウツボの生息する湿地(田山地区)——■(P107)

■所在地／南山城村大字田山

府辺町山城少年自然の森の周辺の湿地帯は、府の天然記念物に登録されているハッショウウツボ(日本のトントボの中で最小の種類)の生息地として貴重な地域である。

不動の滝——■(P108)

■所在地／南山城村大字龍翁

不動の滝は、深山渓谷の美しい清流にある落差約20mの滝である。滝の中ほどには小さなほこらがあり、その奥の岩盤に不動明王が彫られており、地域の人々をはじめ、各地から参拝者を集めている。滝のハイキングコースとしても知られている。

権常寺の「ヒノキ」——■(P108)

■所在地／南山城村大字野原小字ノ丸

■所有者／管理者／権常寺

■測定値／幹周：500cm 樹高：20m

権常寺の境内にはヒノキの老木が長い時の流れを経て生育している。境内の中央に位置する大木は、地域そのものの歴史を物語る人々の自然の木でもある。十数年前まではカヤやマツの巨木もあったが老朽と虫害により枯れ、残されたヒノキへの人々の愛着は一層強くなっている。

京都の自然200選 部門別選定一覧

地域	市町村	植物部門	動物部門
丹後	峰山町	播磨寺の「シイ林」	ヒダサンショウウオ等の生息する標高山系の河川上流及びその周辺の湿地等 アベサンショウウオの生息する丹後半島
	大宮町	五十河の「内山ブナ林」	クマタカの生息する内山山系 アベサンショウウオの生息する丹後半島
	網野町	生王郡神社の「スダジイ」	チドリ類が飛来し、幾小貝類の生息する琴引浜 アベサンショウウオの生息する丹後半島
	丹後町	萬福寺の「文殊のマツ」	アユ、ヤマメ、アユカケ、カジカガエルなどの生息する宇川流域
	弥栄町	木橋の「スダジイ（荒神さん）」	アユ、ヤマメ、アユカケ、カジカガエルなどの生息する宇川流域 小動物（トンボ類、カジカガエル等）や野鳥（カッコウ、オオルリ等）の生息する味土野（ガラシャの里）
	久美浜町	平山の「ヒシ（ホーイのフシ）」 トウテイラン、ハイネズ群落（箱石砂丘）	オオハクチョウやコハクチョウの飛来する久美浜湾
	宮津市	成相寺の「庭スギ」	
	加悦町	浦の「千年ツバキ」	
	岩滝町	權現山の「大シイ」	コハクチョウの飛来する阿蘇海
	伊根町	青島の「シイ林」	
	野田川町	仲富寺の「コワヤマキ」	オオサンショウウオの生息する岩屋川
中丹	舞鶴市	金剛院の「千年ガヤ」	ウミネコの生息する皆島及び舞鶴湾一帯 オオミズナギドリの生息する冠島
	福知山市	長安寺の「薬師如来御靈木（授乳のイチョウ）」	サケの遡上する由良川
	三和町	轟水渓谷の「モミ」	ヤマセミの生息する川合川周辺
	夜久野町	大歳神社の「イチョウ」	チヨウ類（イチモンジチヨウ、コミスジ等）の生息する円満院付近
	大江町	南有路の「才ノ神のフジ」 天岩戸神社の「暖温帯植物群」	シジミチョウ類（エゾミドリシジミ、フジミドリシジミ、ウラクロシジミ）の生息する大江山
	城部市	光明寺の「幻の大トチ」 頭巾山の「ブナ林」	
中部	園部町	朝倉神社の「千葉の大スギ」	カワセミの生息する園部川流域（仁江地区）
	八木町	八木の「県生の大ケヤキ」 日吉神社の「タネスギ」	アユモドキの生息する灌漑用水路（西田地区）
	丹波町	九重神社の「アラカシ」 須知の「源水の大スギ」	
	日吉町	笛吹神社の「スギ」	
	瑞穂町	箕面八幡宮の「スギ・ヒノキ並木」	野鳥（シジョウカラ、キジ等）の生息する中台、八田区の山林
	和知町	仏生の「6種の木が宿るカツラ（七色の木）」 長老山の「イワカガミ群落」	
	京北町	白山神社の「ツクバネガシ」 八丁の「シャクナゲ群落」	
	美山町	大原神社の「ケヤキ」	リキノワグマ、ニホンカモシカ、オオタカ、クマタカ等の生息する芦生原生林 オオサンショウウオ、カジカガエル等の生息する標野川流域 鳥類（ヤマガラ、アカゲラ等）や魚類（オナニラミ等）の生息する由良川流域
	亀岡市	平の沢公園の「オニバス」 国分寺の「乳イチョウ」 糸能神社の「社叢林」	ムササビの生息する愛宕神社の森 ホトケドジョウの生息する小瀬（莊田野地区） アユモドキの生息する灌漑用水路（保津地区） オオサンショウウオの生息する大岡川流域

地形・地質部門	歴史的自然環境部門
磯砂山	權現山
雁ヶ崎 琴引浜 畠村断層	大野城跡（大野神社）
経ヶ岬 丹後の海岸地形（城島、立岩、筆石海岸段丘、屏風塔、犬ヶ岬、丹後松島）	上山寺
野間谷峡谷	
小天橋 兜山	大明神跡
天橋立 金引の滝 大ヶ原湿原	首甲崎の石疊道 由良の門（戸）
大江山	大師山
カマヤ海岸 津母海蝕洞の鐘乳石 布引の滝	大内跡 除福伝説の地（新井崎神社）
	雲岩寺跡（雲岩公園）
青葉山	金剛院 真名井の清水 由良の門（戸）
	天草寺
	大原神社
小倉玄武岩	
二瀬川溪流 大江山	元伊勢三社（豊大神社・豊受大神社・天岩戸神社）
早稻谷川上流域の海野（八反の滝、裏八反の滝、弁天の滝） 弥仙山 立岩	八幡山（高津八幡宮・高津城跡） 山家城址 丹波安国寺 頭巾山
もり渓	小向山と園部城跡
文覚池	城山（八木城跡）
琴浦	
	滴老谷
箕面鍾乳洞	清治志神社
權現の滝 由良川の河岸段丘	符露寺
澗又の滝 姿取山	常照皇寺 山國神社
由良川上流（美山川）	頭巾山
保津峡 精田野の薦青石仮晶	出雲大神宮 老ノ坂峠（山陰道）

地 域	市町村	植物部門	動物部門
京都市	京都市	阿弥陀寺の「古知谷のカエデ」 琳定寺の「花背の三本スギ」 金閣寺の「イチイガシ」 青蓮院の「クスノキ」	水生生物（ミズグモ、水生植物等）が豊富し、カモ等の水鳥の営巣する湿地 ユリカモメの飛来する鴨川流域 モリアオガエル、ムカシトンボの生息する北山（鞍馬、貴船一帯） ヒサマツミドリシジミの生息する久多オグロ坂 チョウ類（ギフチュウ、オオムラサキ）の生息する岩倉一帯 キマダラルリツバメやゲンジボタルの生息する淀水（哲学の道） アオバズクが営巣している宗像神社の森 ツバメの野営する向島駅月橋下流（宇治川）左岸のヨシ原
南 部	向日市	西ノ岡丘陵の「竹林（孟宗竹）」	
	長岡京市	光明寺の「ビャクシン」	ゲンジボタルの生息する小栗川
	大山崎町		
	宇治市	東笠取の「カヤ」	クロウミズクの生息する山城総合運動公園野鳥の森及びその周辺域 カワセミの生息する天ヶ瀬ダム湖（鳳凰湖） 野鳥（コミミズク、ケリ等）の生息する巨椋池干拓地
	城陽市	寺田小学校の「クヌギ」	水生動物（イタセンバラ、スッポン等）の生息する木津川右岸域
	久御山町	斐斐神社の「クスノキ」	野鳥（コミミズク、ケリ等）の生息する巨椋池干拓地
	八幡市	石清水八幡宮の「クスノキ林」 石清水八幡宮の「タブノキ」	チョウ類（ミスジチョウ、ホシミスジ等）の生息する男山周辺域
	京田辺市	作岡神社の「スダジイ」	小動物（タヌキ、ウサギ等）や野鳥（キジ、ヒヨドリ等）の生息する甘美園山
	井手町	木津川堤防沿の「国道のエノキ」	ゲンジボタルの生息する南谷川
	宇治田原町	琳定寺の「常綠・落葉広葉樹混生林」	ゲンジボタルの生息する田原川
相 桑	山城町		サワガニの生息する鳴子川、不動川等中・上流域
	木津町	相楽神社の「ケヤキ」	
	加茂町	海住山寺の「ヤマモモ」	
	笠置町	有市の「神のスギ」	
	和束町	八坂神社の「大スギさん」	
	精華町	東迎寺の「クスノキ」	
	南山城村	福覚寺の「ヒノキ」	ハツチョウトンボの生息する湿地（田山地区） ヤマセミの生息する高山ダム右岸域

地形・地質部門	歴史的自然環境部門
「京見峠道」切妻の層状チャートの裾曲 八丁平 保津峡	船岡山 乳の森 花背大悲山 琵琶湖疏水（山科城） 斐ヶ岡 嵯峨野（大覺寺周辺） 小塩山 醍醐山
	向日神社
	長岡天満宮
桂川・木津川・宇治川三川合流地	天王山
	白山神社 興聖寺
鴨谷の滝	氷室神社と参道の松並木 上津屋の渡し跡（上津屋橋周辺）
	前川堤の桜並木（東一ロ） 上津屋の渡し跡（上津屋橋周辺）
桂川・木津川・宇治川三川合流地	男山 上津屋の渡し跡（上津屋橋周辺）
虚空蔵谷の滝 飯岡丘陵	草路城跡（作岡神社）
龍王の滝	高神社
宇治田原の貝化石層	琳定寺
三上山	光明仙（光明山寺跡）
	相楽神社
	当尾 井平尾
布目川	笠置山
百丈岩	鷲峰山
	新殿神社
不動の滝 夢結峠	六所神社

京都府[緑と文化の基金]とは

京都の優れた自然環境や文化遺産などを守ること、そして、自然と親しくふれあう場をつくり、環境保全への意識を高めることによって、より豊かな京都を未来へ引き継いでいくために設置されました。

基金の総額は100億円。全国最大の規模を誇っています。

ふれあい、育み、伝えます。

新しい発想で取り組みます。

これまで保全の対象になっていたなかつたものにも目を向け、守っていくことに新しい道を開いたのが、この基金の特色です。また、現存するものだけでなく、すでに途絶えてしまったものの復元や、失われようとしているものの保全にも取り組んでいきます。

みんなの意識で守ります。

より豊かな京都の未来をつくっていくには、府民一人ひとりの方が必要です。自然や文化を大切に守っていこうという意識を互いに高めあい、具体的な行動に結びつけていくことこそ、いまを生きる私たちに求められているのではないかでしょうか。

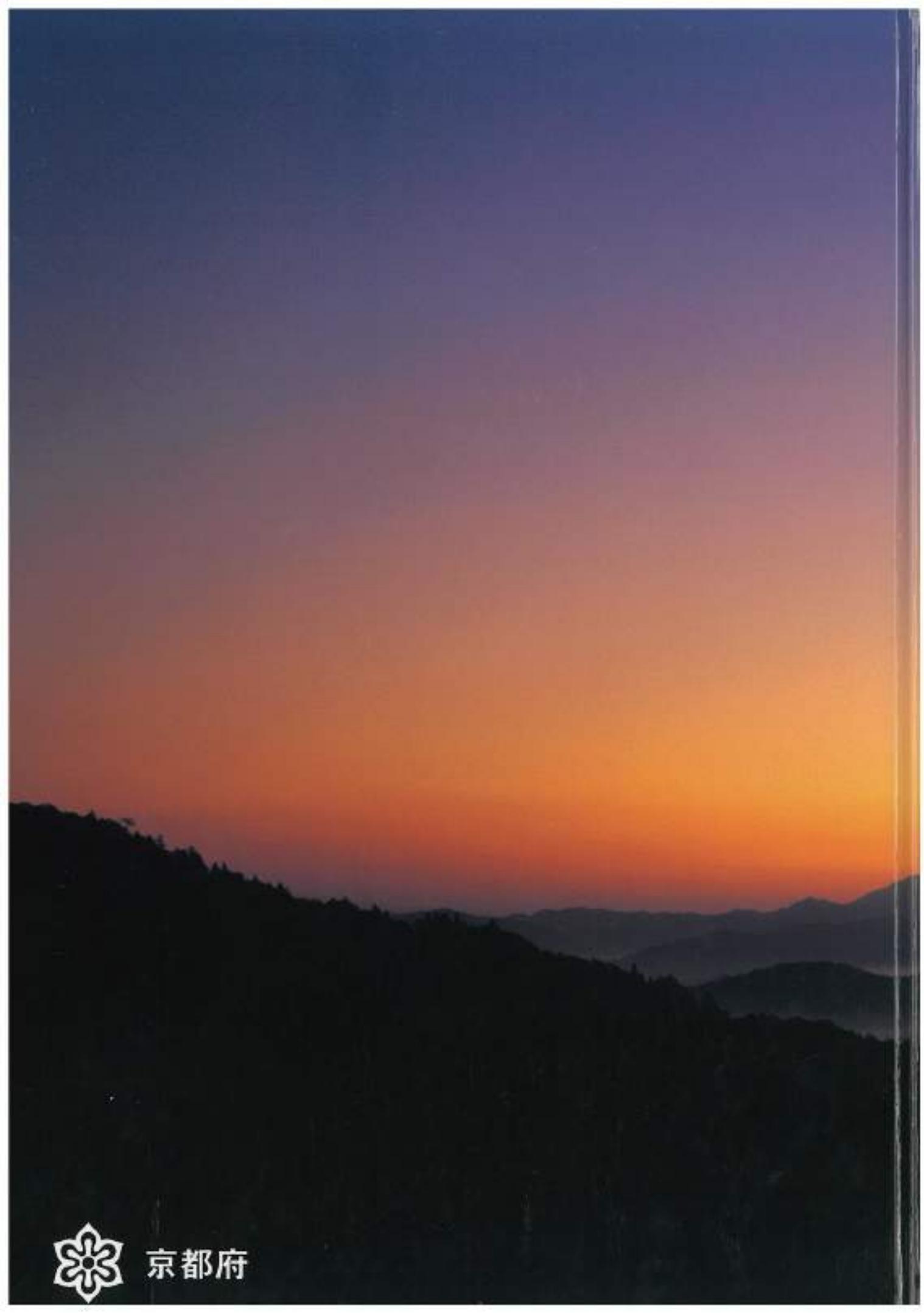
未来への想いをこめて。

あなたの身近なところにも、対象になる自然環境や文化遺産がきっとあるはずです。あまり知られていない場所だけど、大事に守り継ぎたい——そんなとっておきの場所などを、ぜひお知らせください。みなさんの想いと行動が、この基金を育てていくのです。



KYOTOの美を次代に伝えるために。
緑と文化の基金

みんなで活かそう100億円。



京都府